

EB

ENTERTAINMENT
BIBLE

エンターティメントバイブル

MS大図鑑



①一年戦争

②グリプス戦争編

MSのことならこのEBシリーズで完璧チェック。
キミはMS大図鑑を3冊そろえているかな? MS
Vまで収録されて資料価値120%だ!!

価格680~700円 ● 内容紹介は含まれていません

発売中

SDガンダム公式カタログ

ついに出了! 最も新しいSDガンダム総カタログ
これさえあれば、SDの全てがわかるぞ!!

定価 720円(本体 699円)

ENTERTAINMENT BIBLE .3

機動戦士ガンダム

MS大図鑑

[PART.3アクシズ戦争編]



EB
ENTERTAINMENT BIBLE

EB
ENTERTAINMENT BIBLE

3

機動戦士
ガンダム

MS大図鑑

PART.3
アクシズ戦争編

SANDA

機動戦士ガンダム MS大図鑑

【PART.3アクシズ 戦争編】



【Mobile Suit GUNDAM 0080～War in the pocket.～】
 【GUNDAM SENTINEL】
 【OOUBLE-FAKE】
 【Mobile Suit GUNDAM～Char's Counter Attack～】
 【C.C.A MSV】

定価 720円
 (本体699円)

ISBN4-89189-019-3 C0276 P720E



バンダイ文庫

ゲームブックシリーズ

好評既刊 各刊480円

●この価格に消費税は含まれません



- ①機動戦士ガンダム ハートレイバー 開封! 江新ワリイバー
- ②トップをねらえ! 燐えろ! 国際マジーン兵器大会!!
- ③機動戦士ガンダム0080 消えたガンダム NT
- ④SDガンダム ガジャボンウォーズ

新刊
**スパイラルゾーン
 ガンヘッド**
 定価500円(本体485円)



機動戦士ガンダム
モビルスーツ

MS大図鑑

3

【アクシズ戦争編】

Illustration by Kenichi Ishibashi

GUNDAM WAR HISTORY

【ガンダム戦史】

1.ペズンの反乱

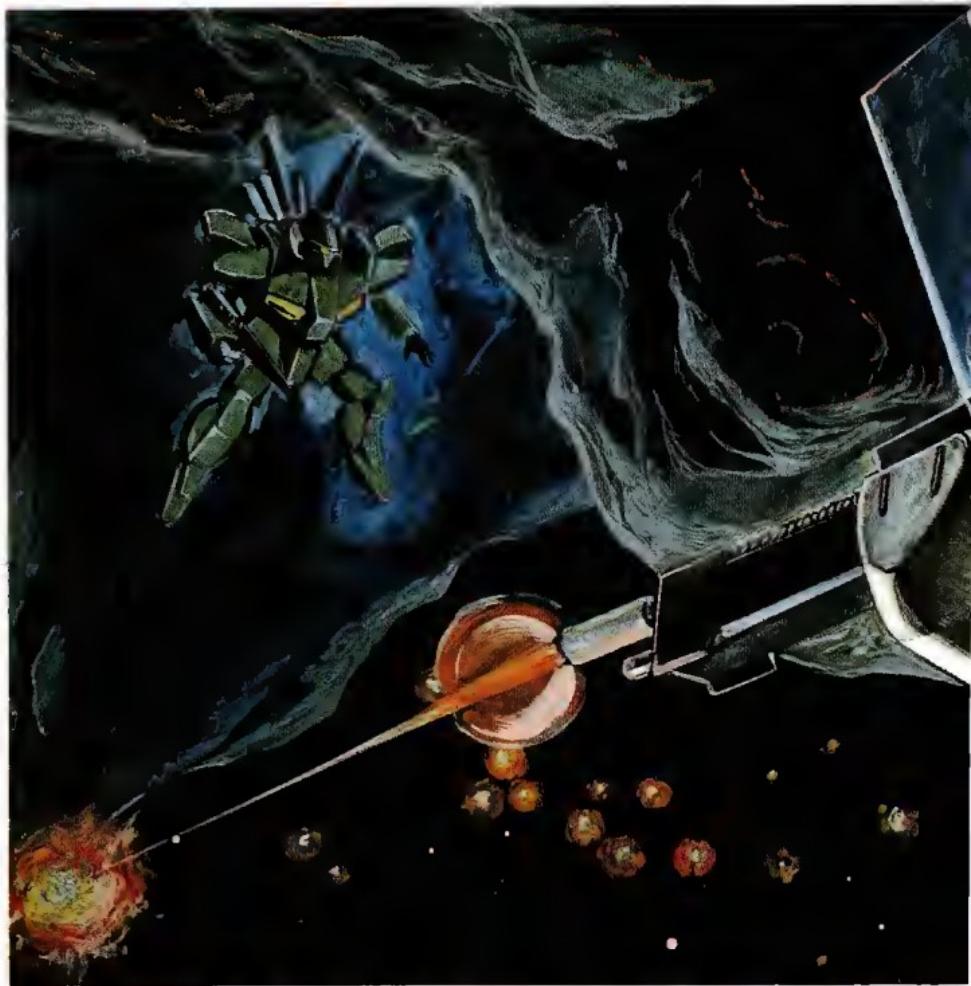
UC0088年2月22日、

地球連邦軍内部の急進派であり、ジオン残党狩りに名を借りたスペースノイド弾圧の急先鋒でもあつたティターンズは、事実上崩壊した。そのため連邦軍はエウーゴが主導権を掌握することになるが、それをおもととしたティターンズ教導部隊の一部青年将校が、2月24日「ニューディไซズ」を名乗り、訓練部隊として駐留していたラグランジエ4に位置する小惑星ペズンにおいて反乱を起こし、その宙域を制圧した。彼らはペズンに配備されていた連邦製ジオンタイプのRMS-114-1ゼク・アイン多数と建造途中のRMS

小惑星ペズンにおけるニューディサイズと、連邦軍の駐留部隊の戦闘では、新兵器のRMS-141ゼク・アインが威力を発揮した。教導部隊の本拠でもあり、制圧は短時間で終了している。

【第三章『アクシズ戦争』と『第2次ネオ・ジオン抗争』】

イラスト/岡本英郎



142ゼク・ツヴァイ数機分のパーティをもつて装備としていた。

ネオ・ジオンへの対策と軍組織の再編成のために主力部隊を割けない連邦軍は、3月23日に、討伐隊として“ α 任務部隊”を編成し、ニューディサイズの制圧にあたらせた。 α 任務部隊は新造艦のアーガマ級強襲用宇宙戦艦ペガサスIIIを含む5隻を先遣艦隊とし、状況しだいで大規模な艦隊の派遣も検討していた。

α 任務部隊とニューディサイズはペズンの空域近くで長距離戦を開戦したが、その時点でニューディサイズ艦隊はペズンを脱出しておらず、安全圏に達すると同時に徹底抗戦の意思を示すため、ペズンに仕掛けた核爆弾を爆発させ、事実上の宣戦布告とした。

GUNDAM WAR HISTORY

【ガンダム戦史】



2. エアーズ市の攻防

月面都市制圧!

3月28日、ニューディサイズ討伐のため旧ソロモンから発進した連邦軍宇宙艦隊司令官ブライアン・エイナー提督率いる艦隊が、任を離れ月面の自治都市エアーズに向かい、ニューディサイズと合流した。α任務部隊の先発隊は、エイナー艦隊が持ってきたORX-013ガンダム Mk-II V(G-V)始めとするMS部隊の前に敗退した。そのため本隊の到着をまって、4月1日、エアーズ市への降下作戦に踏み切る。上空で大規模な艦隊戦が繰り広げられる中、MSZ-006C1ゼータプラス、MSZ-010BFazz、MS-A-0011Ex-S Ex

0088年4月2日、エアーズ市上空で繰りひろげられたEX-SガンダムとガンダムMK-Vの戦い、どちらも連邦製のインコム兵器搭載のMSで、アナハイム製ガンダムとオーガスタ製ガンダムのコンセプトの違いが明確に現れている。



EX-Sガンダムを含むMSA-07ネロ、ジムIIIの編隊による降下部隊がエアーズ市の上空から侵入を開始した。だが、インコム兵器を駆使するGVによって阻まれ、FAZZ機が全滅、EX-Sガンダムも壊滅的な打撃を受けるが、激戦の末、辛うじてGVを殲滅する。以降、物量に押され劣勢となつたニューディไซズにネオ・ジオンから援助の申し出があるが、ティターンズと同じ存立基盤、主義をもつエアーズ市、ニューディไซズは、申し出を拒否した。そしてマス・ドライバー基地を占拠し、兵員を脱出させたのち、ゼク・ツヴァイを投入し最後の抵抗を試みたが、4月5日、ニューディサイズは本隊に投降し、戦闘は終結した。

GUNDAM 【ガンダム戦史】 WAR HISTORY



3. 民間防衛隊

0090年7月25日、サイド6でコロニーの再建作業中の民間修理会社モノトーン社のスタッフが、反地球連邦組織NSPの過激派カラードに襲撃された。そのとき、スタッフがガンダムに酷似した作案用MS、MWS19051G-Dガンダムファーストを使用していたことにより、ネオ・ジオンの過激派偽装陽動部隊にマークされてしまう。

この部隊は開発中の実験機の実戦試験部隊としても機能しており、戦艦からNT専用MSまで多様な装備を持ち、反地球連邦組織に武器の供与も行っていた。

モノトーン社のスタッフ及

0090年12月15日、NSPのカラード隊を援助している過激派偽装陽動部隊のグワジン級の戦艦対NSP 穏健派のザクⅢ後期型と共に戦線を張るアラハスのDガンダムサード。ズサC改が向え撃つ。



び連邦軍のファクトリー「チム・アラハス」は、カラードと不オ・ジオンの襲撃を数回に渡つて受けることになった。アラハスの技術スタッフは、その対抗策として、Dガンダムを徹底的に改造し、RGX-D3 Dガンダムサードを作り上げた。

同年12月15日、ネオ・ジオンの地球寒冷化作戦を知り、離反したカラードの穩健派がアラハスに味方し、ネオ・ジオンの陽動部隊とカラード過激派との決戦が行われた。規模そのものは、2つの大戦と比べようもないが、反連邦組織と連邦軍間の戦闘としては、戦後最大のものであった。

この他にも0090年から0093年にかけて反連邦組織は数多くのテロを引き起し

GUNDAM WAR HISTORY

【ガンダム戦史】



4. シヤアの反乱

0092年12月22日、突如として難民収容コロニーのスヴィートウォーターを占拠した艦隊は、シヤアを総帥としたネオ・ジオンの復興を宣言した。しかし連邦政府は何の対策もせず、2カ月が過ぎた。2月27日に実質的な宣戦布告があつたにもかかわらず、連邦は事態を認識しておらず、沈黙したままだった。3月3日、ネオ・ジオン艦隊はスヴィートウォーターを発進し、5th（ファイフス）・ルナへ進路をとったため、連邦軍の外郭新興部隊であるロンド・ベルもそれを追つた。

翌日、5th・ルナをめぐり、ネオ・ジオンとロンド・ベ

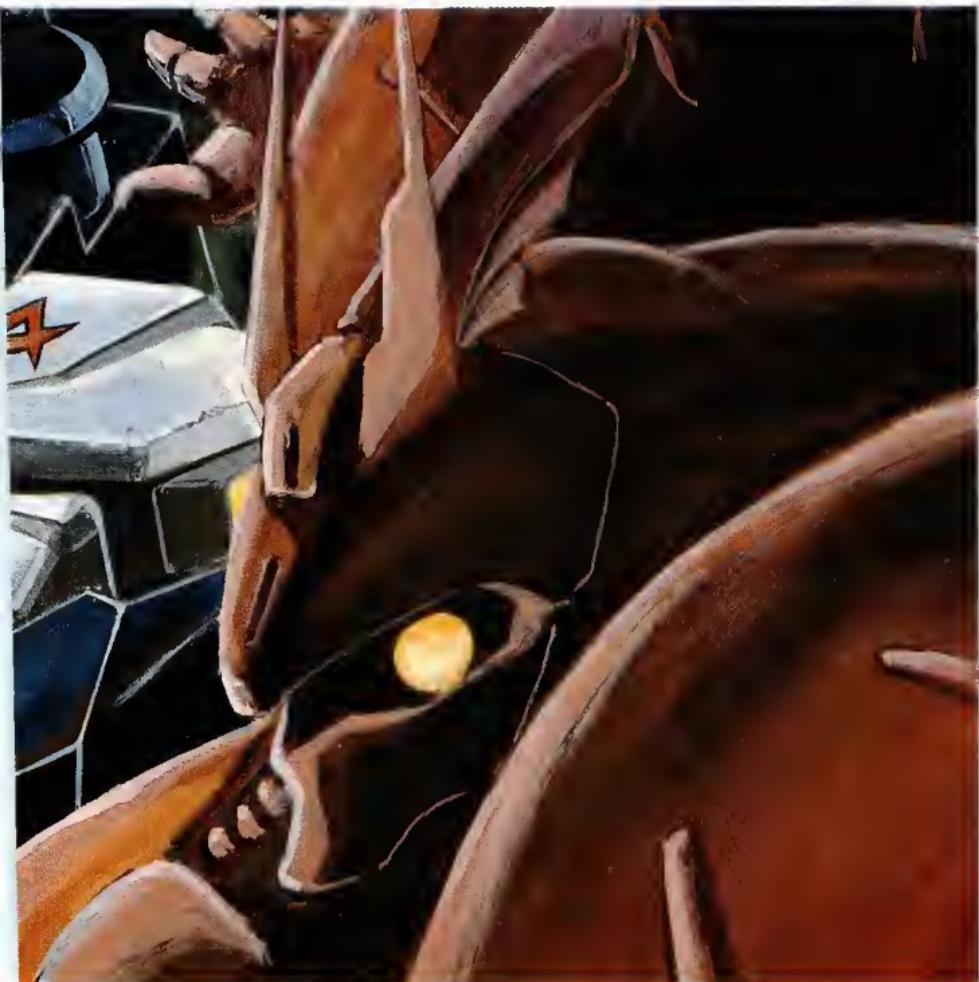
0093年3月4日、5thルナにおける攻防戦で、アムロの乗るリ・ガズィはヤクト・ドーガとは互角に戦えたが、シャアのサザビーが介入したことにより、撤退せざるを得なくなる。



ベルのMS部隊が激戦を繰り広げたが、ロンド・ベルの戦力は決して充実しておらず、AMS-119ギラ・ドーガの大部隊とNT専用重MSのMSN-03ヤクト・ドーガの前に、量産型のRGM-89ジエガンの部隊とRGZ-91リガズイでは歯が立たなかった。5th・ルナは地球に降下を始め、地球連邦本部があるチベットのラサを目指して落下していく。だが、連邦政府は、極秘のうちに本部を他の場所に移転していた。そのため、連邦壊滅という事態はまぬがれものの、周辺住民に5th・ルナ落下の事実を公表していなかつたため、多くの人命が失われた。

GUNDAM WAR HISTORY

【ガンダム戦史】



5. アクシズ落下

5th・ルナの闘いにおいて、戦力不足を痛感したロンド・ベルのMS部隊隊長のアムロ・レイ大尉は、アナハイム・エレクトロニクスのフォン・ブラウン工場で建造中のRX-93 レガンドムをテストもそこそこで実戦に投入する。

3月6日、極秘裏に行われた和平協定に乗じて、ネオ・ジオン艦隊は、3月12日に投降を装いルナツーを襲撃、熱核兵器を奪取。同時にアクシズを奪回し、核汚染を含む地球寒冷化作戦を発動した。ロンド・ベル隊は、アクシズの核パルス・エンジン点火阻止に向かうが間に合わず、MS隊の主力であるレガンドムも

0093年3月12日、アクシズにおけるレガンド・ガンダムとサザビーの格闘。MSの限界まで、白兵戦を展開する2機は、一方で、MSの性能の向上がどこまで進んだかをも証明している。



ヤクト・ドーガや超大型MAのNZ-1333 α アジールに足留めされる。ロンド・ベル隊は、アクシズを地球突入軌道からそらせるため、旗艦ラーカイラム艦長のブライトを含む工作部隊をアクシズ内部に潜入させ、ワーカーを駆使して分断工作を開始する。ヤクト・ドーガを倒し、混戦空域を離脱したレガンド・ガンダムは、核兵器を満載したムサカの4番艦を破壊し、アクシズ上でシヤアの乗るMSN-04サザビーと激戦を繰り広げる。双方が装備していたビット兵器はすでに消耗し、MS同士の格闘戦を行う。両機ともにサイコ・フレーム搭載のためか、あたかも人間そのもののように闘っていた。やがて、アクシズ分断が始まった。



未知の力によって、かろうじて
その姿をとどめた地球。だが、第
2次ネオ・ジオン抗争の意味する
ところを認識しないかぎり、悲劇
はまた繰り返されることだろう。

ネオ・ジオンの... 6. 終戦

α・アジール、リ・ガズイの
撃沈と前後して、傍観を続け
ていた連邦軍の各駐留部隊の
MS隊が、連邦本部からの命
令もないまま自発的に集結を
始めた。一方、アクシズの分
断は成功したものの、分断時
の爆発によって後部の岩塊は
減速されてしまい、地球落下
は免れない状態であった。サ
ザビーを撃破したレガンダム
はアクシズ下面に回り込み、
すべての噴射ユニットを点火
させた。さらに、集結したM
Sまでがアクシズに取り付い
たが、原因不明の光の幕より
排除されてしまう。そして、
アクシズは軌道をそれ、地球
は冷却化を免れたのである。

MS名鑑

ガンダム“アレックス”、ジム・ナイパーII

RX-78NT1-FA
ガンダムNT1・FA



- ① 同、チョバムアーマー仕様
- ② 連邦軍
- ③ ポケットの中の戦争
- ④ $1/144$ 予定

RX-78NT1
NT専用ガンダム“アレックス”



- ① NT専用試作型モビルスーツ
- ② 連邦軍
- ③ ポケットの中の戦争
- ④ $1/144$ 予定

RGM-79SP
ジム・スナイパーII



- ① 宇宙戦用量産型モobilスーツ
- ② 連邦軍
- ③ ポケットの中の戦争
- ④ 未定

RX-77D
ガンキャノン量産型



- ① 中距離支援用量産型モobilスーツ
- ② 連邦軍
- ③ ポケットの中の戦争
- ④ 未定

①分類、②所属、③登場、④模型対応表

ケンブファー／ネロ

MSA-0011
SガンダムMS-18E
ケンブファー

- ①汎用試作型可変モビルスーツ
 ②連邦軍
 ③ガンダム・センチネル
 ④ $1/144$

- ①強襲用試作型重モobilスーツ
 ②ジオン軍
 ③ポケットの中の戦争
 ④ $1/144$

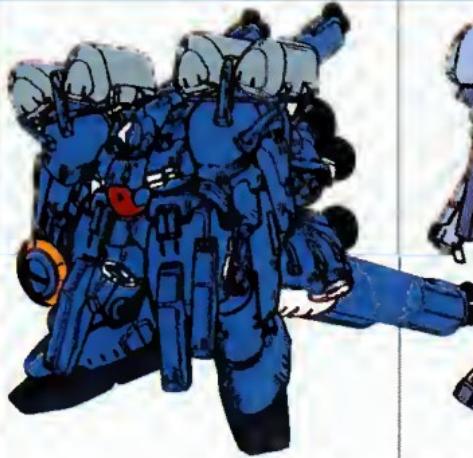
MSA-007
ネロMSZ-006C1
Ζプラス (C型)

- ①汎用量産型モobilスーツ
 ②連邦軍
 ③ガンダム・センチネル
 ④—

- ①攻撃用量産型可変モobilスーツ
 ②連邦軍
 ③ガンダム・センチネル
 ④ $1/144$

ゼク・アインーガンダムMK-V

RMS-142
ゼク・ツヴァイ



- ① 攻撃用試作型重モビルスーツ
- ② ニューディサイズ
- ③ ガンダム・センチネル
- ④ —

RMS-141
ゼク・アイン



- ① 汎用量産型モobilスーツ
- ② ニューディサイズ
- ③ ガンダム・センチネル
- ④ —

ORX-013
ガンダムMK-V



- ① 汎用試作型重モobilスーツ
- ② ニューディサイズ
- ③ ガンダム・センチネル
- ④ —

AMX-007
ガザE



- ① 攻撃用量産型可変モobilスーツ
- ② アクシズ
- ③ ガンダム・センチネル
- ④ —

ロガンドムファースト→ジェガン改

MWS-19051G-2

ロガンドムセカンド



MWS-19051G

ロガンドムファースト



- ①汎用カスタム・メイド・ワーカー
一改造機②連邦軍(モノトーン・マウス社)
③ダブル・フェイク
④-

- ①汎用カスタム・メイド・ワーカー
一②連邦軍(モノトーン・マウス
社所有)③ダブル・フェイク
④-

RGM-89B

ジェガン改



RGX-D3

ロガンドムサード



- ①攻撃用試作型モビルスーツ
②連邦軍
③ダブル・フェイク
④-

- ①汎用試作型モビルスーツ
②連邦軍
③ダブル・フェイク
④-

<p>AMX-011C ザクIII後期型</p> 	<p>AMX-102C ズサ・カスタム</p> 
<ul style="list-style-type: none"> ①汎用量産型モビルスーツ ②カラード ③ダブル・フェイク ④— 	<ul style="list-style-type: none"> ①攻撃用試作型モobilスーツ ②カラード ③ダブル・フェイク ④—
<p>MSN-X4 バギ・ドーガ</p> 	<p>AMX-003S ガザ〇改</p> 
<p>ニュータイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ①NT専用試作型モobilスーツ ②ネオ・ジオン ③ダブル・フェイク ④— 	<ul style="list-style-type: none"> ①汎用量産型モobilスーツ ②カラード ③ダブル・フェイク ④—

RX-93

νガンダム (フィン・ファンネル装備)



RX-93

νガンダム



ニュータイプ

- ① NT専用試作型モビルスーツ
- ②連邦軍
- ③逆襲のシャア
- ④ $^1/100$ 、 $^1/144$

ニュータイプ

- ① NT専用試作型モビルスーツ
- ②連邦軍
- ③逆襲のシャア
- ④ $^1/144$

FA-93HWS

νガンダム (ヘビーウェポンシステム装着型)



RX-93

νガンダム (フィン・ファンネル装備)



ニュータイプ

- ①NT専用試作型モビルスーツ
- ②連邦軍
- ③CCA-MSV ニューキャストモデル
- ④ $^1/144$ (N C M)

ニュータイプ

- ①NT専用試作型モobilスーツ
- ②連邦軍
- ③CCA-MSV
- ④—

RGM-89
ジエガン



- ①汎用量産型モビルスーツ
- ②連邦軍
- ③逆襲のシャア
- ④¹/₁₄₄

RGZ-91
リ・ガズイ



- ①攻撃用試作型モビルスーツ
- ②連邦軍 ③逆襲のシャア
- ④¹/₁₄₄ (NCMでB W S 発売)
バツク ウエポンシステム

MSN-03
ヤクト・ドーガ(ギュネイ専用)



- ニュースタイプ
- ①N T専用試作型モobilスーツ
 - ②ネオ・ジオン
 - ③逆襲のシャア
 - ④¹/₁₄₄

MSN-04
サザビー



- ニュースタイプ
- ①N T専用試作型モobilスーツ
 - ②ネオ・ジオン
 - ③逆襲のシャア
 - ④¹/₁₄₄

AMS-119

ギラ・ドーガ(一般兵用)

MSN-03

ヤクト・ドーガ(クエス専用)



- ①汎用量産型モビルスーツ
②ネオ・ジオン
③逆襲のシャア
④ $1/144$

- ニュータイプ
①NT専用試作型モビルスーツ
②ネオ・ジオン
③逆襲のシャア
④ $1/144$

NZ-333
 α ・アジールAMS-119
ギラ・ドーガ(レン専用)

- ニュータイプ
①NT専用試作型モビルアーマー α
②ネオ・ジオン
③逆襲のシャア
④ $1/550$

- ①汎用量産型モobilスーツ
②ネオ・ジオン
③逆襲のシャア
④ $1/144$

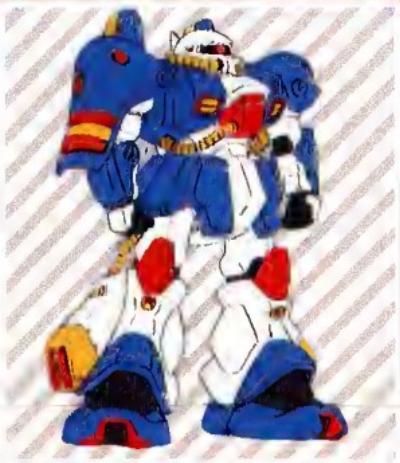
ホビー・ハイザック・ジエガン重装改

RGZ-91B
リ・ガズィ・カスタム



- ① 攻撃用試作型可変モビルスーツ
- ② 連邦軍
- ③ CCA-MSV
- ④ —

ホビー・ハイザック



- ① ホビー用モビルスーツ
- ② 民間（ロンデニオン）
- ③ 逆襲のシャア
- ④ —

RGM-90
ジエガン重装型



- ① 砲撃戦用試作型モobilスーツ
- ② 連邦軍
- ③ CCA-MSV
- ④ —

RGM-89S
スターク・ジエガン



- ① 砲撃戦用試作型モobilスーツ
- ② 連邦軍
- ③ CCA-MSV
- ④ —

AMS-190S
ギラ・ドーガ改



- ①汎用試作型モビルスーツ
- ②ネオ・ジオン
- ③CCA-MSV
- ④—

AMS-120X
ギラ・ドーガ (サイム試験タイプ)



- ①N T専用試作型モビル
- ②ネオ・ジオン
- ③CCA-MSV
- ④—

NZ-222
サイコ・ドーガ



- ①N T専用試作型モビラーマ
- ②ネオ・ジオン
- ③CCA-MSV
- ④—

AMS-119
ギラ・ドーガ(重武装仕様)



- ①汎用(砲撃戦用)量産型モビル
- スーツ②ネオ・ジオン
- ③CCA-MSV
- ④—

スペースシップ&ファイターネーム鑑

ホワイトベース～コロンブス

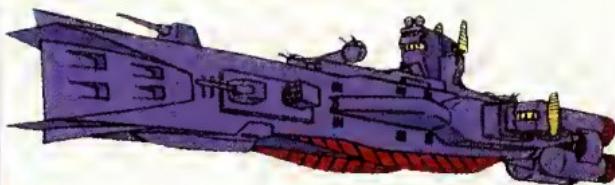
ペガサス級強襲宇宙揚陸艦

ホワイトベース



サラミス級巡洋艦

サラミス



マゼラン級戦艦

マゼラン



輸送艦

コロンブス



①連邦軍

②機動戦士

ガンダム

③ミノフスキ

一クラフトに

より大気圏内

巡航可能。

ペガサス級の

2番艦

①連邦軍

②機動戦士

ガンダム

③ブースター

装備により、

大気圏離脱可

能。戦後、MS

運用のため

改装された

①連邦軍

②機動戦士

ガンダム

③連邦軍の

主力艦。同型

艦に“ルザル”

がある。やはり

戦後改装さ

れる

①連邦軍

②機動戦士

ガンダム

③MS積載

能力のないサ

ラミス、マゼ

ランに随伴す

るために建造

された

スペースシップ&ファイターナメ鑑

ムサイ級軽巡洋艦
ムサイ



- ①公国軍
- ②機動戦士
ガンダム
- ③公国軍の
主力艦。シャ
アの艦はキシ
リア少将から
譲り受けたも
のである

チベ級重巡洋艦
チベ



- ①公国軍
- ②機動戦士
ガンダム
- ③戦前は戦
艦として位置
付けられてい
たがグワジン
の登場と共に
重巡とされた

グワジン級戦艦
グワジン



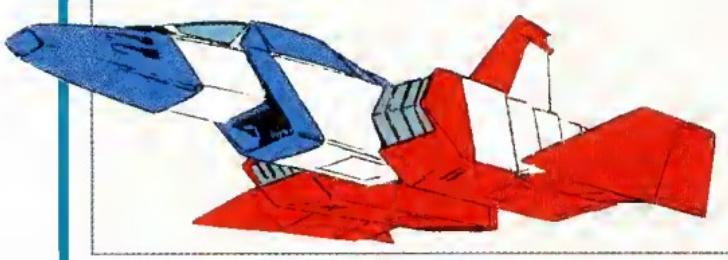
- ①公国軍
- ②機動戦士
ガンダム
- ③公国軍の
旗艦。同型艦
として“グレ
ート・デギン”
“グワバン”
がある

戦闘空母
ドロス



- ①公国軍
- ②機動戦士
ガンダム
- ③一年戦争
時最大の宇宙
艦艇。要塞ク
ラスの火力を
有する

パプア→コア・ファイター

<p>補給艦 パプア</p> 	<p>①公国軍 ②機動戦士 ガンダム ③旧式艦。足 が遅く、武装 貧弱だ。MS の積載は3機 が限度</p>
<p>機動巡洋艦 サンジバル</p> 	<p>①公国軍 ②機動戦士 ガンダム ③大気圏突 入が可能。シ ャトル的な艦 艇。大気圏内 飛行時間も短 い</p>
<p>輸送艦 パゾク</p> 	<p>①公国軍 ②機動戦士 ガンダム ③大戦末期 に就役した新 型輸送艦。 MSを16機 積載可能</p>
<p>FF-X7 コア・ファイター</p> 	<p>①連邦軍 ②機動戦士 ガンダム ③大気圏内 外両用戦闘機。 RXシリ ーズMSのコ クピットに変 形する</p>

スペースシップ&ファイターナイフ

コア・ブースター



- ①連邦軍
- ②機動戦士
ガンダム
- ③FF-X7
に熱核ロケットエンジンを
搭載したブースターを装備
した重戦闘機

Gファイター



- ①連邦軍
- ②機動戦士
ガンダム
- ③RX-78用
サポートシステムのABパ
ーツのみで構
成された汎用
戦闘機

Gスカイ・イージー



- ①連邦軍
- ②機動戦士
ガンダム
- ③同、サポー
トシステムの
Bパーツと
FF-X7によ
って構成され
た戦闘機

ペガサス級強襲撃空母
トロイホース



- ①連邦軍
- ②ポケットの
中の戦争
- ③ペガサス級
4番艦。兵装
を抑え、MS
積載・運用を
重視した設計
である

コア・ブースター→トロイホース

グラーフ・ツェッペリン

ティベ級重巡洋艦

グラーフ・ツェッペリン



- ①公国軍
- ②ポケットの中の戦争
- ③戦後末期に新造された艦艇。推力、火力共に格段の向上をとげている

ムサイ級軽巡洋艦

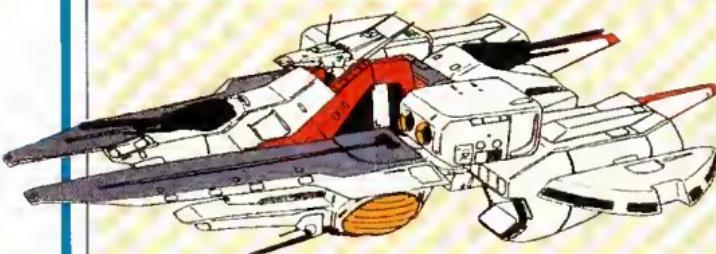
ジークフリート



- ①公国軍
- ②ポケットの中の戦争
- ③同じく末期に建造された新設計艦。同型艦にヴァルキューレがある

強襲用機動巡洋艦

アーガマ



- ①エウゴ
- ②乙ガンダム
- ③バリュート装備により大気圏突入が可能。非戦闘時には居住プロックが回転する

マゼラン級駆逐艦

アイリッシュ



- ①エウゴ
- ②乙ガンダム
- ③エウゴが独自に建造した新型艦。アーガマと同系の設計である

スペースシップ&ファイターナンク

アレキサンドリアームサイ改

アレキサンドリア級巡洋艦
アレキサンドリア



アレキサンドリア級巡洋艦
ハリオ



サラミス級巡洋艦
サチワヌ



ムサイ級軽巡洋艦
通常ムサイ改



①ティターンズ
②Ζガンダム
③一年戦争後、初めて就役した新造艦。ムサイの設計を取り入れている

①ティターンズ
②Ζガンダム
③武装を若干強化したタイプ。サラミス(改)級よりもあらゆる面で勝っている

①ティターンズ
②Ζガンダム
③改装艦。MSデッキが増設された。エウゴ、連邦軍でも使用されている

①ジオン共和国軍
②Ζガンダム
③改装艦。基本性能に大きな差はない

チベ級巡洋艦 チベ改	 <p>①ジオン共和国軍 ②Ζガンダム ③改装艦。艦首をMSデッキに改造している</p>
大型輸送艦 ドゴス・ギア	 <p>①ティターンズ ②Ζガンダム ③ティターンズの旗艦。MSデッキが母艦と戦闘空母的性格が濃い</p>
超大型輸送艦 ジュピトリス	 <p>①ティターンズ ②Ζガンダム ③木星ヘリウム輸送艦。同型艦にジュピトリスIIがある</p>
超大型駆艦 グワダン	 <p>①ネオ・ジオン(アクシズ) ②Ζガンダム ③アクシズの旗艦。グワジン級戦艦の発展型</p>

スペースシップ&ファイターナンバー

ロンバルディアーグワンバン

アレキサンドリア級巡洋艦
ロンバルディア



- ①ティーンズ
- ②Ζガンダム
- ③MS 積載量を増した新造艦。巡航性能も向上させている

FXA-05D
Gディフェンサー



- ①エウゴ
- ②Ζガンダム
- ③RX-178用サポートシステム。MSを乗せた輸送形態をGフライヤーと呼ぶ

機動戦艦
ネエル・アーガマ



- ①エウゴ
- ②ガンダムZZ
- ③コロニーレーザー級の威力を持つハイメガ砲を主砲として搭載する

グワジン級戦艦
グワンバン



- ①ネオ・ジオン(アクシズ)
- ②ガンダムZZ
- ③第1次ネオ・ジオン抗争の初期に仮旗艦となる

エンドラーメガライダー

ムサイ級軽巡洋艦
エンドラ



- ①ネオ・ジオン
- ②ガンダムZZ
- ③ネオ・ジオンの主力艦。同型艦にサンドラ、ミンドラがある

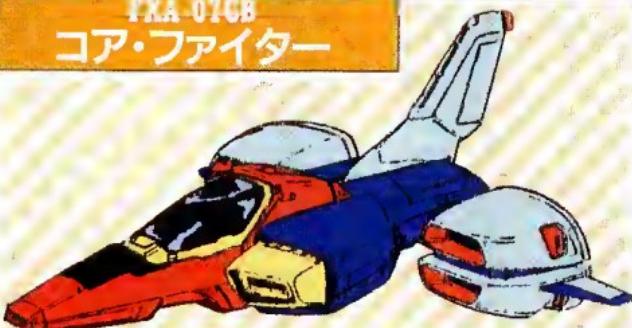
機動戦艦
サダラーン



- ①ネオ・ジオン
- ②ガンダムZZ

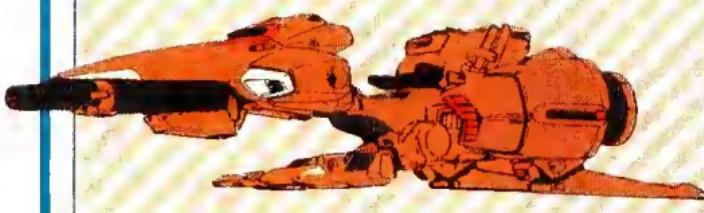
③大気圏突入、大気圏巡回が可能。地球侵攻作戦用に建造された

FMA-01GB
コア・ファイター



- ①エウゴ
- ②ガンダムZZ
- ③MSZ-010のシステムの中核をなすコア・ロックが変形した汎用戦闘機

MS用高速機動型支援兵装
メガライダー



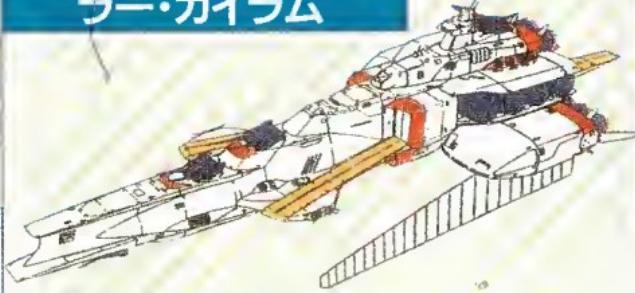
- ①エウゴ
- ②ガンダムZZ
- ③MSサポートシステム。MSを乗せて戦闘可能。ハイメガ砲を装備する

スペースシップ&ファイターナンバー

ラ・カイラム～ムサカ

機動戦艦

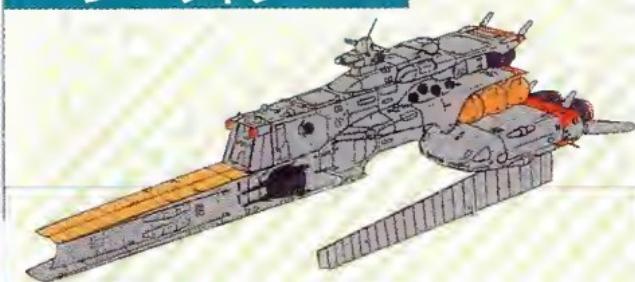
ラ・カイラム



- ①連邦軍
- ②逆襲のシャア
- ③ロンドベル隊の旗艦。戦闘ブリッジが別にある

クラップ級巡洋艦

ラ・チャター



- ①連邦軍
- ②逆襲のシャア
- ③90年代の主力艦。ラ・ギエム、ラ・ザイムなどがいる

グワジン級戦艦

レウルーラ



- ①ネオ・ジオン
- ②逆襲のシャア
- ③第2次ネオ・ジオン抗争における旗艦。戦闘ブリッジがある

ムサイ級軽巡洋艦

ムサカ



- ①ネオ・ジオン
- ②逆襲のシャア
- ③90年代に入り秘かに建造されたもの。ネオ・ジオンの主力艦



モビルスーツ

MS開発史

MS Development History

●UC80年代後半から90年代にかけてのMSは、技術の流出や機体の譲渡、強奪が相継ぎ、明確な分類は非常に困難である。ここでは各作品ごとに機体の解説をする。

Illustration by Hitoshi Fukuchi.

1. α任務部隊のMS(センチネル)

ティターンズの実質的崩壊の後もエウーゴが主流となつた連邦に抵抗し続けるユーティサイズに対する討伐部隊

として編成されたα任務部隊は、当時恐龍的な進化をしていた実験機や試作機が多数配備されている。連邦自体が疲弊し、ネオ・ジオンが、依然存在している当時の状況下では、主力部隊を身内のイザコザに割くわけにはいかなかつたからだ。しかし、これらの機体のもつポテンシャルは高く、第2世代MSを数だけ捕えた部隊よりは充実した実力を持つ部隊となつていて、また、MSA-0011Sガンダムは、第4世代のMSと呼

ぶにふさわしく、強力なジエレータを4基持ち、インコム・システムと強力な火力を備えたTMSとなつていて、さらにALICE(発展型論理・非論理認識装置)と呼ばれる画期的なコンピューターを搭載しているため、一時的にはパイロットの代行も可能で、EX-1SやBstといった様々なオプション装備にもスムーズに対応できる。ただし、この機能に限つては、イ

ンコムなどの人工的サイ

ミニード

スを宇宙用に再々設計したMSZ-006C1Zプラス

は、TMSとして考えれば安価でもあり且つ面上でのヒット

アンドアウエイ等特殊な局面

で非常に有効な能力を持つて

いる。再突入も可能で、コス

トパフォーマンスの高い機体

である。さらに、当時開発中

であつたMSZ-010の先

行量産機であるFA-101

ムは、難航していた変形シス

テムを排除し、当初からプラ

ンとして存在していた重装備

の追加装甲を施し、有効性を

試験するため遠距離支援砲

撃用MSとして数機が投入さ

れている。武装はすべて固定

式であり、区別のためFAZ

Z「ファツツ」と呼称されて

いる。頭部ハイメガキヤノン

と機体中央のハイメガ砲はダ

ミーだが、半年後に完成する

ZZガンダムのフルアーマー

タイプと較べても、材質や形

状が多少異なるだけで、能力

的にはほとんど差がない。しか

も右肩にマウントされている

大型のハイパー・メガ・カノ

ンはMSが単体で持つ武器と

しては最高出力を誇る。MS

A-1007ネロは、非常にボ

テンシヤルの高いジム系のM

Sで、試作中のガンダム系M

S2機を参考に製作されてい

る。肩口にオプション用のム

ーバブル・フレームがあり、高

性能なチューンアップが可能

である。バリエーション

ン用のムーブメントが組み

込まれていて、頭部に装備さ

れていたソーラーパネルが

取り外され、代わりに

ソーラーパネルが装備さ

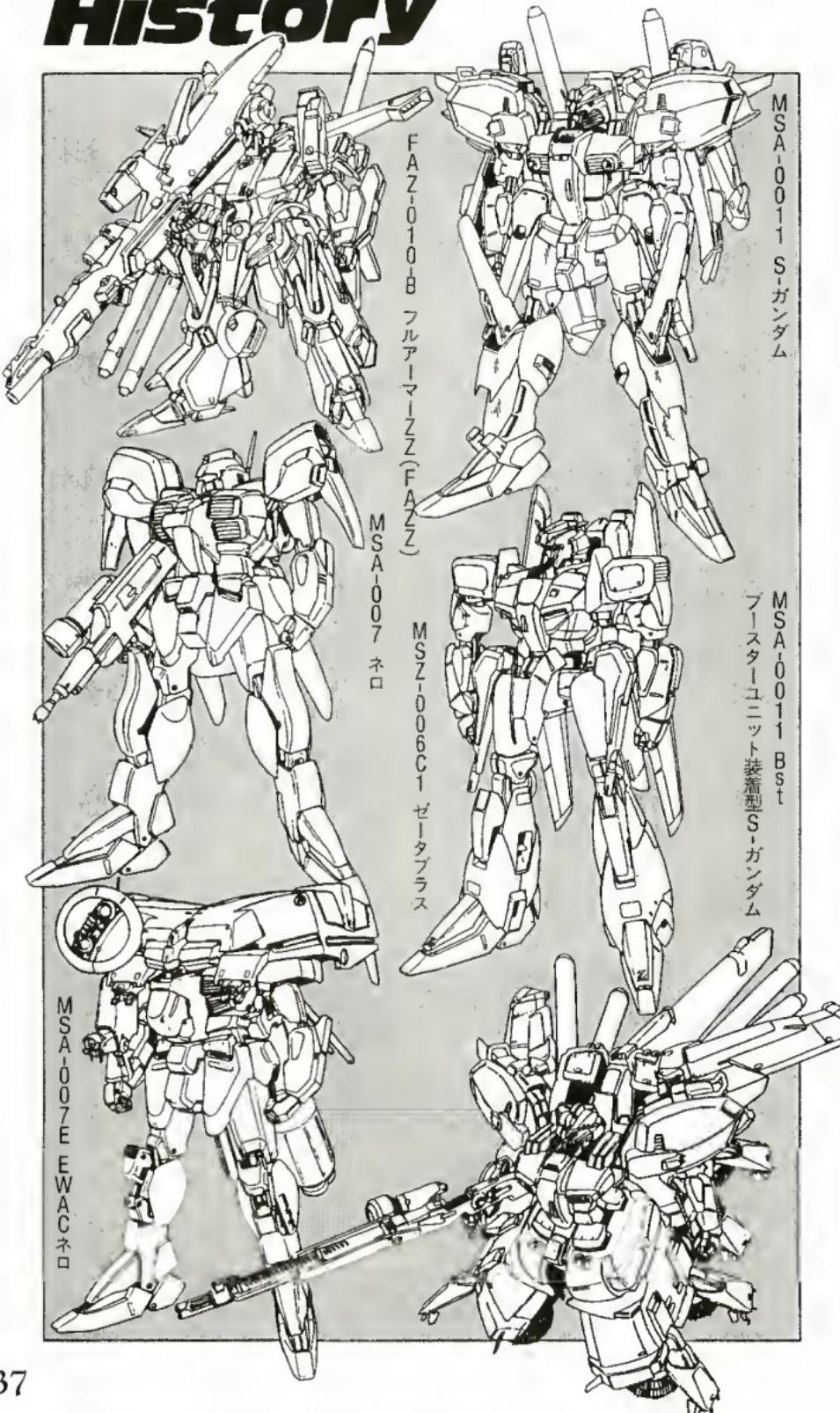
れていた。また、頭部に装備さ

れていたソーラーパネルが

取り外され、代わりに

ソーラーパネ

MS Development History

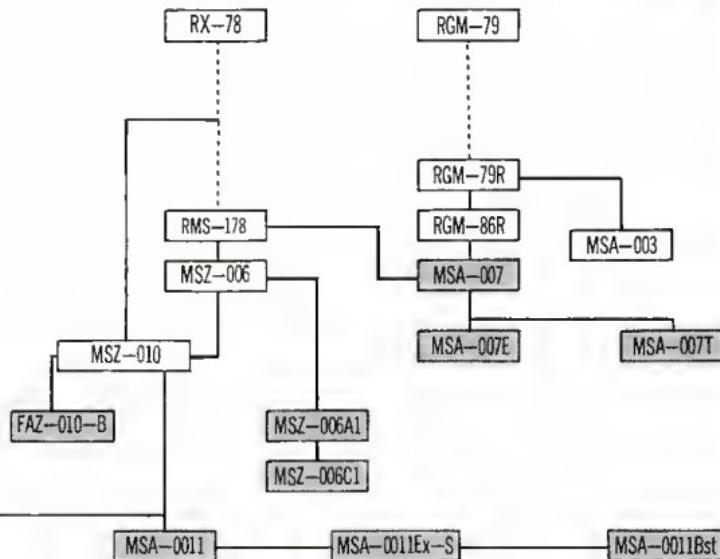


2. ニューディサイズのMS(センチネル)

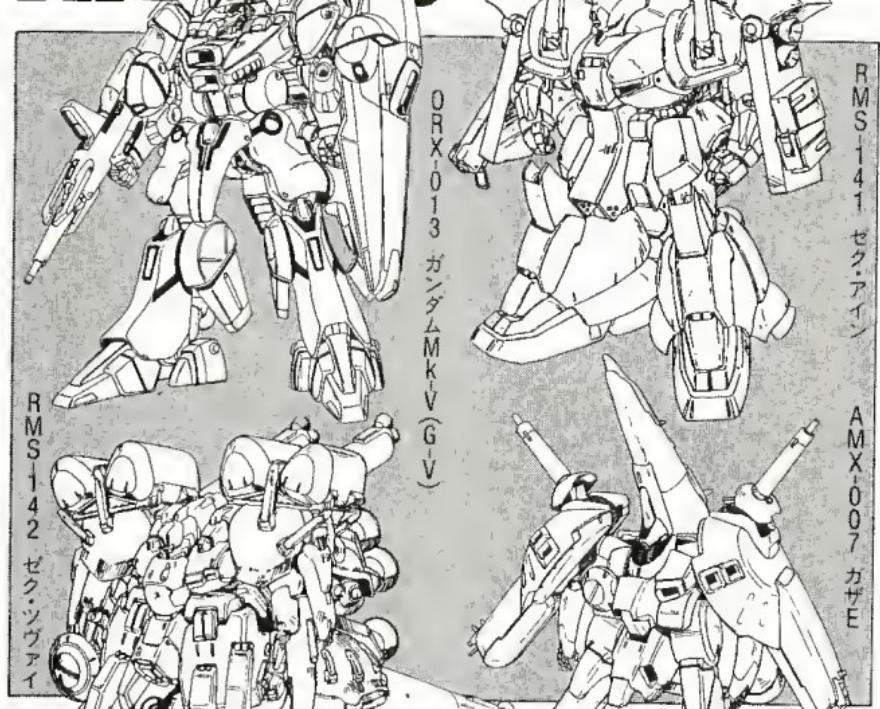
エイノー提督の反乱により、ニューディサイズにもたらされたRX-013 ガンダムMK-1Vは、オーガスタ研究所がMRX-009サイコガンダムの小型版として数機を開発した準サイコミュ搭載MSである。NT能力のないパイロットでも操作できるインコムを装備しており、オールレンジ攻撃が可能。エアーズ市の攻防戦では、アナハイムガンダム対オーガスタガンダムの闘いが展開されたことになる。その後ニューディサイズ敗北とともに、ネオ・シンク、マラサイに続く連邦製のザクタイプMSである。ニューディサイズの主力MSであり、操縦しやすく、設計がシンプルで、肩アーマーに設置された多目的ラッチャウントシステムにより、装備の変更のみでガンナータイプ、マレイイヤータイプとして使用可能である。さらにRMS-144ゼク・ツヴィアイは、重武装と高機動の両立をもとめた最強の機体である。

AMX-007 ガザEは、AMX-008ガ・ゾウムと同時に開発されたもので、ガ・ゾウムに比べ、航行能力を重視した設計となっている。この闘いでは示威行動を取ったのみであつた。

センチネルMSの開発経路



MS Development History



MS-06F

RMS-106

RMS-108

RMS-141

RMS-142

AMX-102'

AMX-003

AMX-004

AMX-007

MSN-02

MRX-009

MRX-010

ORX-013

●この表はMSのおおまかな開発経路を示したものです。省略された機体がかなりあります、御了承下さい。

3. アラハス、NSPのMS(ダブルフェイク)

UC0090年代に入り、反連邦運動は過激にエスカレートしていった。度重なる戦争により破壊されたコロニー等の再建計画が着手され、空コロニー等はテロ組織のアジトに利用される事も多く、再建作業には連邦の護衛がつくようになる。もともと、MS自体が、プチMS等のワーカーから発展したものであり、MS規模の機動作業機への改造もそう難しくはなかつたため、ハンドメイドのMSも数機製作されることになる。M WS-19051G □ガンドムファーストも、そのつた機体のうちのひとつで、製作者の趣味が高じてガンダムタイプのMSとなっている。

が、内部構造などは、破壊されたMSの部品やワーカーを流用したものである。だが機動性や運動性は相当優秀であった。Dガンダムと呼ばれるこの機体の名称は製作者の名を取り、"ダリーズガンダム"の意味である。開発当初は作業用の機材を武器として使用していたが、この修理作業チームが"ガンダム"を持つていたため、過激派にマークされ、それを援助していたネオ・ジオオン勢力にも追撃されることになる。RGX-03 □ガンダムサードは、Dセカンドを経て、連邦の技術者が手を加えた機体で、Dガンダムを運用していた民間修理会社モノトーン護衛隊の連邦軍ア

ラハス隊に編入されることになり、実際の武装も携帯するようになる。機体自体も改装され、当時の連邦の量産機と同等以上の性能を持つている。アラハス隊に配備されているDGM-89B ジエガン改は、コクピット回り等を改造して、立ち上がりと操作性が向上している。追撃するNSPのカラード隊とネオ・ジオンの過激派偽装部隊は、新兵の実験部隊としても機能しており、ドーガ・タイプの試験機やMタイプMSの宇宙用等様々な機体が投入されており。またNSPが使用するAMX-015のマザーファンネルシステムに機動力を持たせる構想を具体化したことになる。ユニットが小さく隠密性に秀れているが、パイロットの負担が重い。この時期投入された実験機があつたからこそMSN-04、NZ-13などは、高い完成度を達成できたといえる。

オンライン側から譲渡されたりしたのであり、戦力的にも実際の軍隊に引けを取ることはなかつた。MSN-X4バギーは、ファンネルの運用を根本から考え直したもので、2機のモビル・ビットを装備している。AMX-004GやAMX-015が、装備したファンネルの数に比例した戦果をあげられなかつたことを反省したものであるが、AMX-015のマザーファンネルシステムに機動力を持たせる構想を具体化したことになる。ユニットが小さく隠密性に秀れているが、パイロットの負担が重い。この時期投入された実験機があつたからこそMSN-04、NZ-13などは、高い完成度を達成できたといえる。

MS Development History



4.ロンド・ベルのMS(逆襲のシャア)

UC-0093当時、反連邦組織等の運動は非常に活発で、ネオ・ジオン復活の機運もあり、潜在的な脅威は増す一方であった。にも関わらず、た対策は外郭新興部隊ロンド・ベルの設立だけだった。連邦軍内で具体的に講じられた対策は外郭新興部隊ロンド・ベルの設立だけだった。

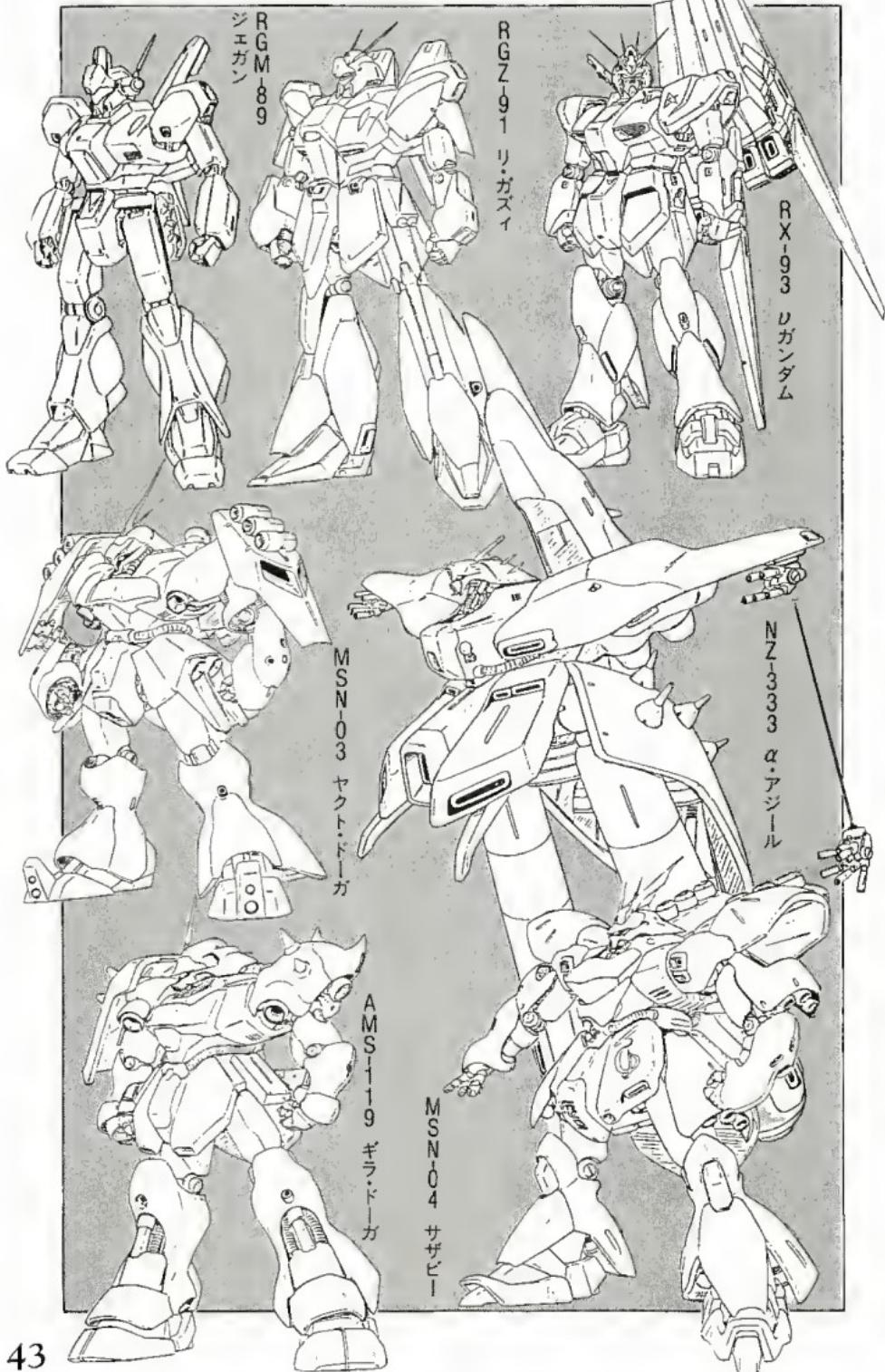
S(逆襲のシャア)
構を排除し、武装モジュール
のニクスによつて試作されたも
ので、量産化を妨げる変形機
は、MSZ-1006Zガンダムの量産機
としてUC0091にアナハイム・エレクトロ
ニクスを機体周辺に展開可能であ
る。RGZ-191リ・ガズイー
ーは、アイデイアによるもので、メ
ガ粒子砲として使用できる他
に、Iフィールド発生器とし
ても機能し、ビーム・バリア
ーを直接機体に直接作用する。
封じ込めたもので、駆動系に
直接、パイロットの意志を伝え
ることができ、機体の追従性
が大幅に向上した。フイン・
ファンネルは、アムロ大尉の
直感。パイロットの意志を伝
えることができる。サイコ・
チップを金属粒子のレベルで

SZ-1-006、006C1等に匹敵し、スペースファイターフormationでの運動性、長距離航続能力、火力など、量産機としては思えない性能を發揮するが、完成までの時期に大規模な戦闘もなく、小規模なゲリラ活動のみが頻発している状況だ。そのため、他のMSと比較してコストが割高だったこともあり、量産化は見送られた。名称の由来は「リファイン・ガンダム・ゼータ」。試作機の1機のみがロンド・ベル隊に配備されたい。RGM-89ジエガンは、ジム系の発展型MSである。機体の設計にあたっては、MSA-1-003、

007、なども含め、いわゆるジム系MSのほとんどを参考している。連邦軍の量産機はRG M-86Rに至るまでほとんど連邦軍内で開発、生産されていたが、この機体はアナハイム・エレクトロニクスで製作、量産されている。主力を務める第2世代MSとして非常に優秀な機体である。

総力戦における主力は第2世代と呼ばれるMSが依然としてその地位を占めており、戦略において不可欠な戦力だが、戦局を決定する戦闘は既に第4世代のMSによつて展開しており、その範疇を超える機体も出現している。現在想定できる第5世代以降のMSの機能としてはミノフスキーラクラフトの搭載、宇宙空間との往復能力などがある。

MS Development **History**



5. ネオ・ジオンのMS(逆襲のシャア)

MSN-04サザビーは、NT専用MSとして開発された。ネオ・ジオンを再興したシャアは、自軍のNT研究所に開発を命じたが、製造、実験施設が不充分だったため、基本的な設計を除いた開発、製造はアナハイム・エレクトロニクスのグラナダ工場に委ねられた。当初、AMS-119をベースにサイコミュニステムを搭載させる予定であったが、それで作られたMS N-03は、実用には耐えられるものの、要求された性能には達せず、新たに大型の機体に変更された。その過程で開発されたサイコ・フレームを採用することにより、新聞発の装甲材の導入と相乗効果

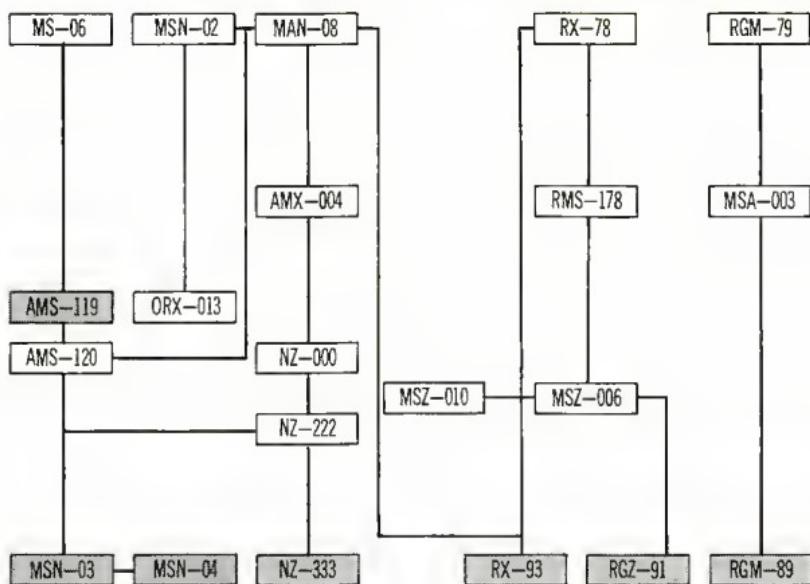
が生まれ、軽量化と同時に多数のロケットモーター、アボジモーターの内蔵が可能となり、他に類をみない機動性を獲得することができた。この機体はジオン系MSの集大成であり、かつ完成された機体である。尚、サイコ・フレームの技術は、シャア本人により、意図的にアナハイム・エレクトロニクスのグラナダ工場から漏洩させたものとされる。MSN-04の開発途上で生まれたMSN-03やクト・ドーガは、前述の通り、AMS-119をベースとして2機のみが製造されている。ムーバブル・フレームはAM S-119のものを流用しているが、大型のジエネレータ

を搭載しているため、出力が高い。しかし、本来大型のサイコミュシステムを小型化して組み込んだため、機能的には不充分な点もあった。サザビーと同型のファンネルを6基装備している。AMS-119ギラ・ドーガは、グリップス戦争後期に開発された機体を原型として、操縦系などに手を加え、MS-106の設計思想に基づき、汎用性を持たせたネオ・ジオン軍の主力戦車機である。性能的には連邦軍のRGM-89と同程度だが、旧式化の観は否めない。

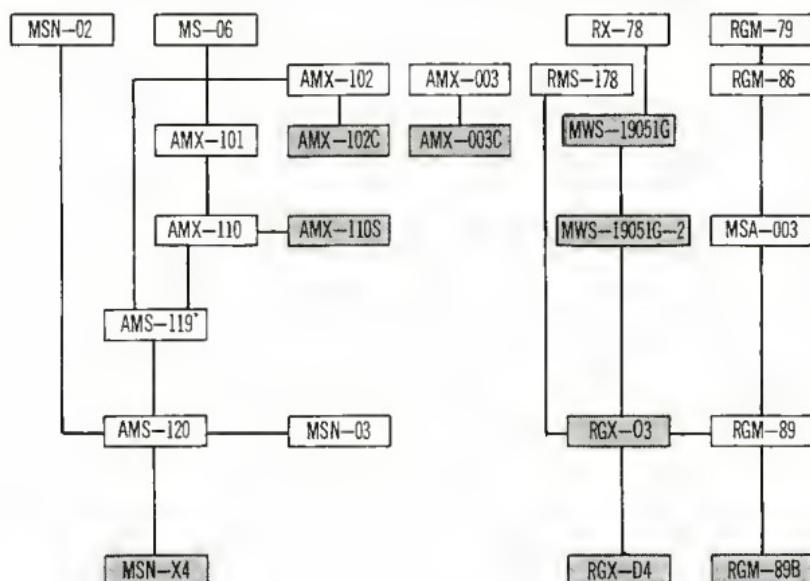
NZ-1333アジールは、多くのNT用MS、MAを参考に、ネオ・ジオンが総力をあげて開発した超大型MAである。この機体は、主に対艦戦用に開発された機体で、武装も戦艦級である。この機体自体を巨大なパワープラントと呼ぶことができ、巡洋艦級のボディの大半が、パワージェネレーターと推進器、周辺器機で占められており、武装の占める比率は意外に小さい。ただし、この機体は武装自体が大型であるため、威力は絶大である。脚部に相当するスツルムスラスターユニットは巨大なプロペラントタンクと推進器が一体となつたもので、燃料を消費し切った段階で投棄される。MSN-02に似て歩行ユニットがないよう見えるが、完成した機体である。このサイズでの歩行はさほど意味のないものだ。ファンネル9基と有線サイコミュ式メガアーム砲等を装備し、機動兵器としては最強である。

MS Development History

逆襲のシャアMSの開発経路



ダブル・フェイクMSの開発経路



ALICE

[MS用語辞典①]

A L I C E [Advanced Logistic & Incon-

た。

Sequence Cognizing Equipment] S.ガ

ンダムに搭載された発展型

論理・非論理認識装置。R

X-78-2に搭載してい

るが、エネルギーの消費が

膨大なため、長時間の使用、

あるいはシステムの小型化

をさらに発展させたもので、

戦闘の状況をも判断し、一

定レベルの人格さえ持つて

いたといわれる。しかし、

同じ時期に開発がスタート

したNTの研究が進み、強

化人間などのほうが確実な

成果を上げ、人間的な機械

を作るよりも機械的な人間

を作るほうが廉価で容易だ

という判断があつて、研究

は凍結されている。

ヒースロウを司令兼旗艦へ

ガサスIII艦長とする。

AMBAAC [Active Mass Balance Auto-

mat] 腕や足など機体の一部

を高速度で運動させ、その

反作用によつて機体の姿勢

を制御する方法。宇宙空間

においては、バーニアによ

る姿勢制御を行うよりも効

率がよく、推進材を必要と

しない点からもMSなどに

広く採用されている。

アーム・レイカーノ AMBAC

アーム・レイカーノ [Arm Laser]

MSのコクピットにある操縦レバーのこと。従来のステイックよりも少ないアクションでより多くの操作が行える。ポールの上にカツプが載ったような構造で、保持性も向上している。

ノーフィード [No Feed]

MSのコクピットにある操縦レバーのこと。従来のステイックよりも少ないアクションでより多くの操作が行える。ポールの上にカツ

プが載ったような構造で、

保持性も向上している。

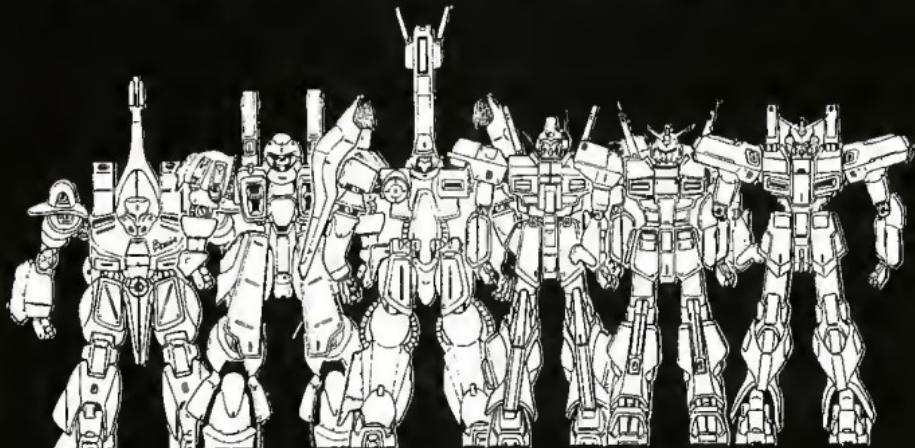
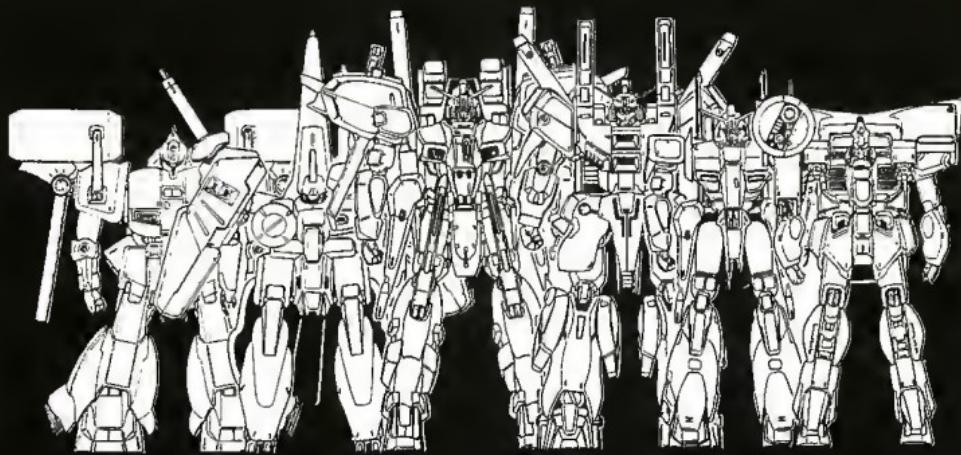
アラハス [Alphas]

サラミスを改装したファクトリーベース。アナハイムの要望とモートーン社の提携で作られた調査開発、情報収集艦。大規模なコンピューターシステムを持ち、プリッジに

アラハス

[Alphas]

アラハス</



モビルスーツ

MS性能比較

An Ability symmethy of M.S.

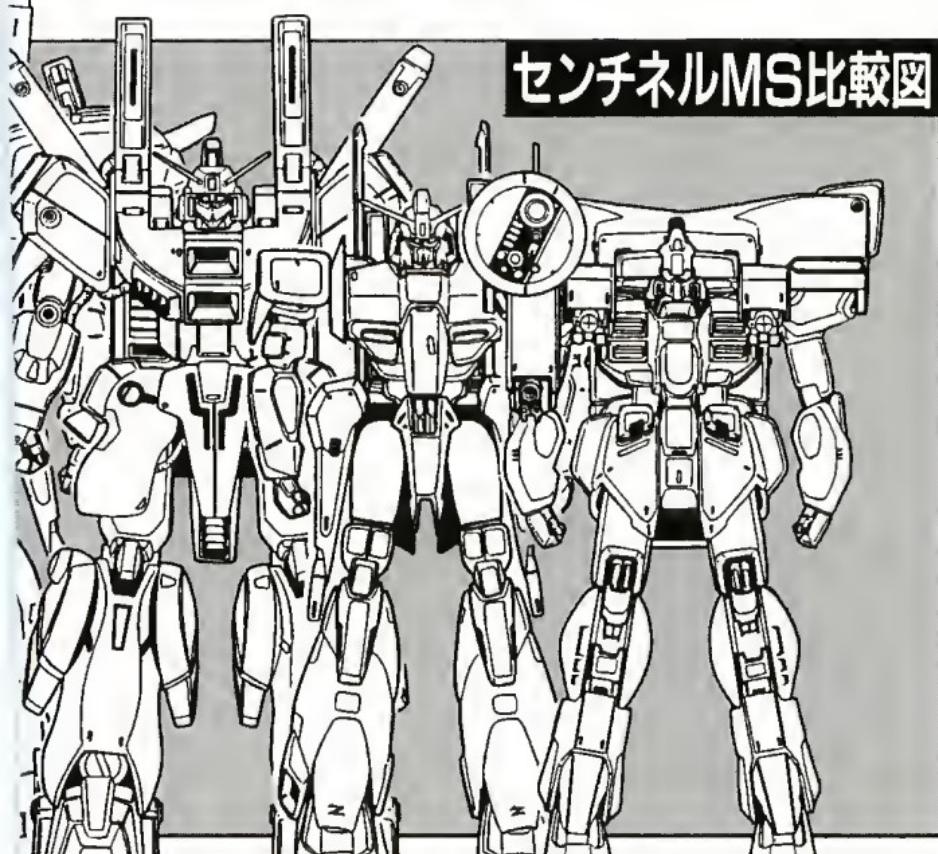
●立体物、コミックと、アニメーションの枠を超えた様々な作品の中で、MSも数多くのバリエーションを持つに至った。代表的な作品の中から主要MSのデータスペックをはじめて一挙に発表する。

Illustration by Hideki Hoshino.

1. ガンダム・センチネル モビルスーツ

スラスター総推力 (kg)	センサー有効半径 (m)	武装
143600	18800	バルカン×8、大腿部ビームカノン×2、背部ビームカノン×2、インコム、ビームサーベル×2、ビームスマートガン
1182000	18800	同上、さらに、リフレクターインコム、ビーム偏向器、背部ビームカノン×2(計4)
2140000	18800	バルカン×8、背部ビームカノン×4 ビームスマートガン、インコム
124200	21000	バルカン×2 大腿部ビームカノン×2 ビームサーベル×2、ビームスマートガン
40800	12000	バルカン×2、ビームライフル、ビームサーベル×2
66400	12000	バルカン×2、ビームライフル、ビームサーベル×2
40800	625000	バルカン×2、ビームライフル
88000	15000	ビームサーベル×4、ビームライフル(グレネードランチャー)、速射型スマートガン、マシンガン、クレイバズーカ、他
1890400	20300	バルカン×2、ビームサーベル×2、武装ポッド×3、マシンガン、速射型スマートガン、ロケットランチャー×6
111200	12000	ビームライフル、ビームサーベル×2、インコム×2、ビームカノン×2、(ミサイルポッド×4)
59300	11690	ビームカノン×2、バインダー武装ポッド×2、ビームサーベル×2、ナックルバスター

センチネルMS比較図

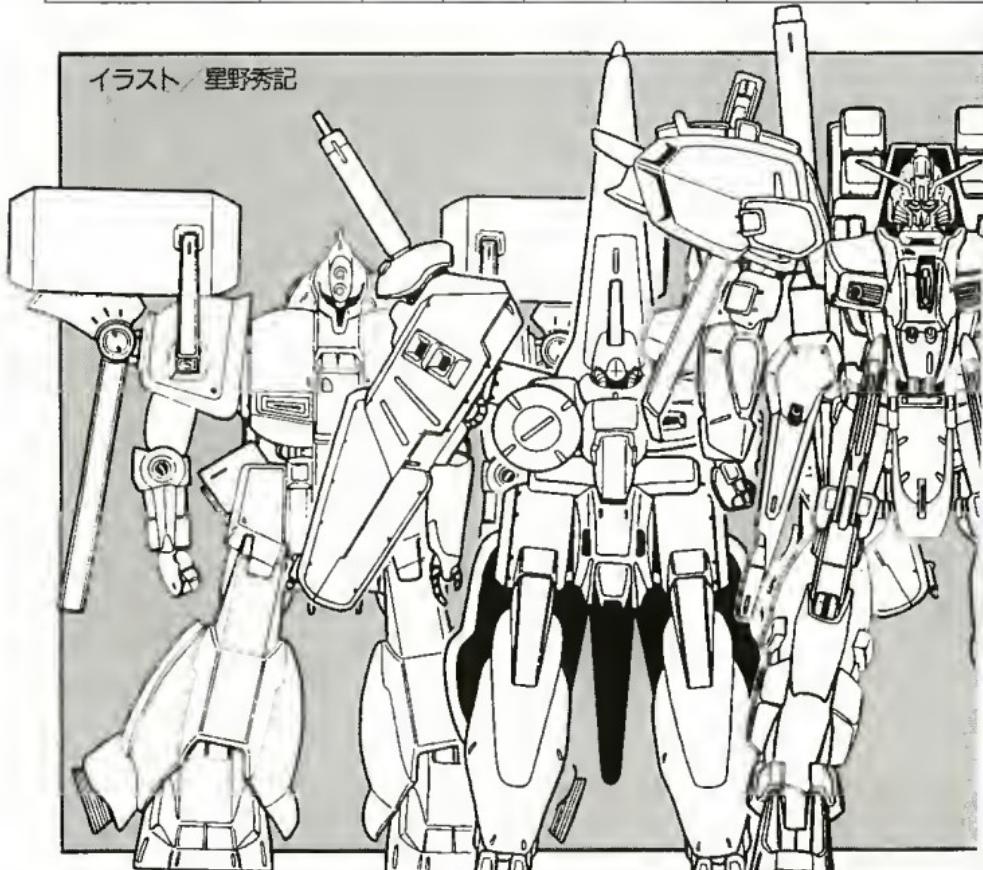


RX-013 ガンダムMK-V MSZ-006C1 Zプラス(C型) MSA-007E EWACネロ

MS性能比較

愛称	型式番号	全高(m)	頭頂高(m)	本体重量(t)	全備重量(t)	ジェネレータ出力(kw)	
S-ガンダム	MSA-0011	25.2	21.7	38.4	73.0	7180	
Ex-S ガンダム	MSA-0011Ex	25.9	21.7	69.2	162.5	7180	
Bst-S ガンダム	MSA-0011Bst	19.2	15.7	82.2	220.1	12250	
Zプラス	MSZ-006C1	22.1	19.9	36.2	77.0	2070	
ネロ	MSA-007	20.0	19.0	34.1	60.5	1650	
ネロトレーナー	MSA-007T	20.9	19.0	38.2	61.7	1650	
EWAC ネロ	MSA-007E	22.0	21.3	43.6	79.2	1650	
ゼク・アイン	RMS-141	19.2	19.2	37.6	72.5~87.3	2100	
ゼク・ツヴァイ	RMS-142	27.4	25.2	88.2	151.7	7330	
ガンダムMk-V	ORX-013	25.4	22.8	39.8	85.3	5320	
ガザE	AMX-007	24.8	16.3	34.8	68.2	2280	

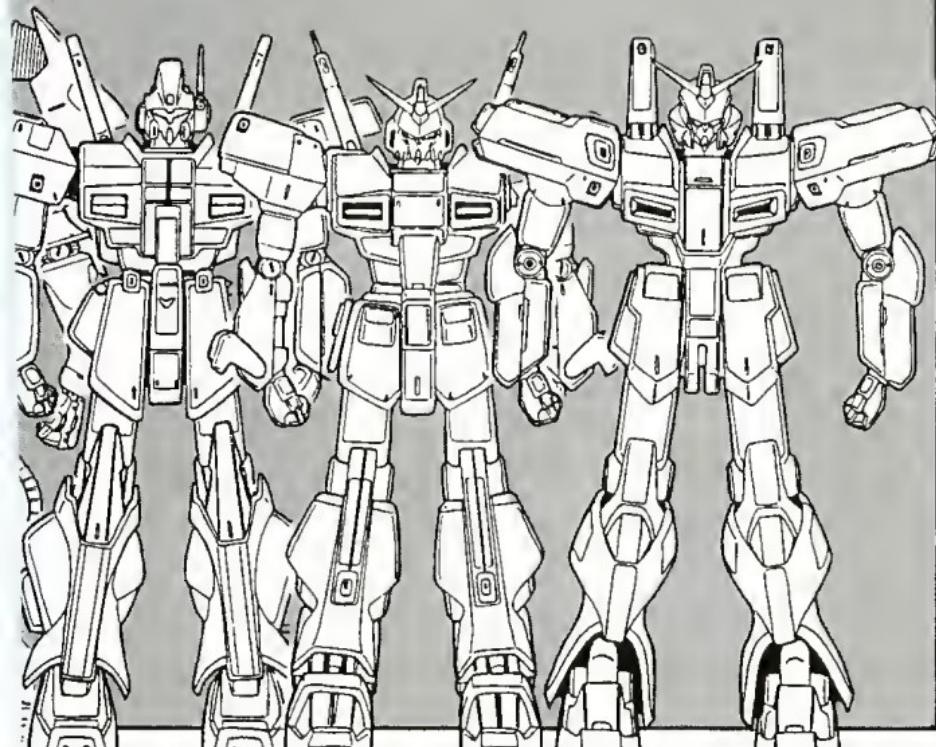
イラスト／星野秀記



2. ダブルフェイク モビルスーツ

スラスター総推力 (kg)	センサー有効半径 (m)	武 装
52050～98350	—	リペッターガン、大型トリモチ弾、マグネットアンカー、ドリルガン、ダミー(MS、岩)各種有線式爆薬
53580～99510	—	コードコネクテッドライフル、ビームサーベル×2
64296～119412	14200	ビームライフル、ビームサーベル、Gブラストナックル
72658～137251	14200	ビームライフル、ビームサーベル、G・クルーザーユニット(メガキャノン×2、ビーム砲×2)
83600	14200	ビームライフル、ニードルショットパック、ビームサーベル、他
129800	10800	ビームサーベル、専用銃ガンスピア、攻撃用バックAk-90S
212800	9850	メガ・マシンガンSPS、ビーム砲×2
100059	9989	ビームサーベル×2、ナックルバスター、ビーム砲×2
72000	16400	ビームライフル、ビー・ビット×2(モビルビット) スプーン・ビット×8(ピクセル)

ダブルフェイクMS比較図



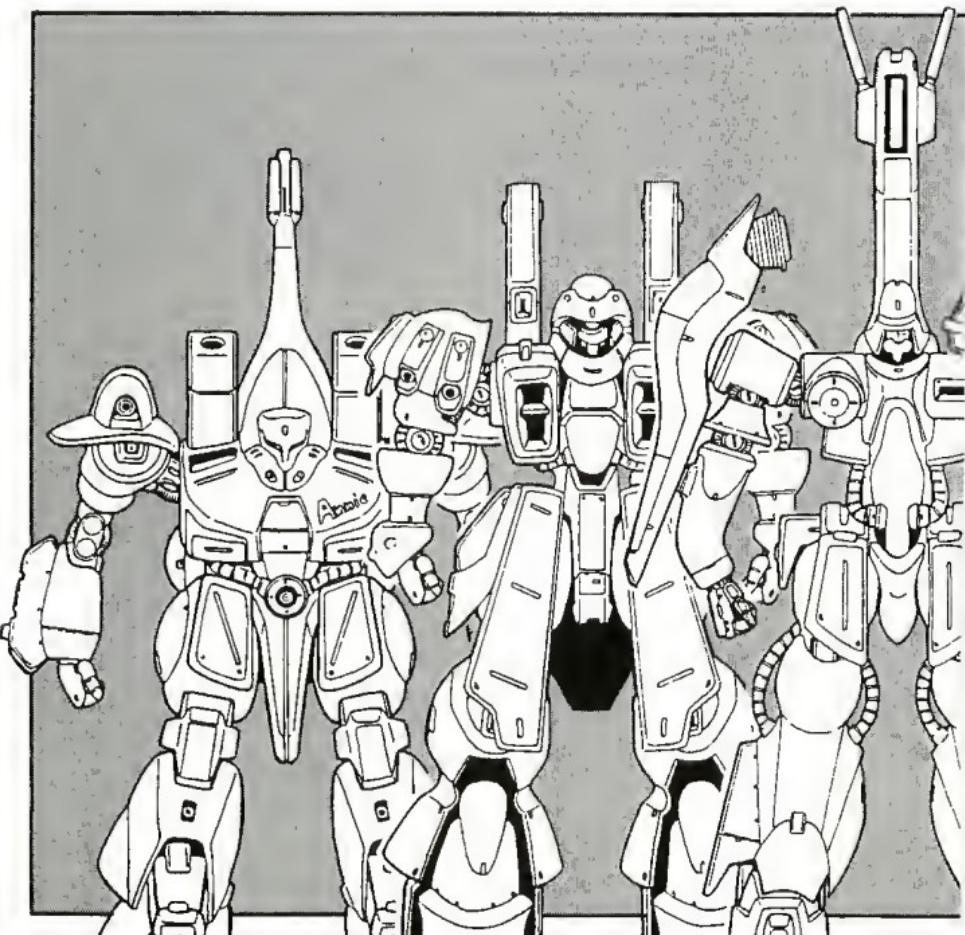
RGM-89B ジェガン改

MWS1905G-2
D ガンダムセカンド

RGX-D3 D ガンダムサード

MS性能比較

愛称	型式番号	全高 (m)	頭頂高 (m)	本体重量 (t)	全備重量 (t)	ジェネレータ出力 (kw)	
Dガンダムファースト	MWS1905G	20.5	18.9	53.4	53.4	1820	
Dガンダムセカンド	MWS1905G-2	20.5	18.9	42.2	52.8	2002	
Dガンダムサード	RGX-D3	21.2	19.5	41.5	55.5	2528	
Dガンダムフォース	RGX-D4	21.2	19.1	41.2	96.8	2763	
ジェガン改	RGM-898	22.3	19.5	19.5	49.2	2350	
ズサ改	AMX-102C	24.3	15.0	22.5	61.8	2250	
ザクIII後期型	AMX-011C	21.0	21.0	42.5	69.2	12950	
ガザC改	AMX-003S	18.5	18.5	29.2	75.2	2020	
バキ・ドーガ	MSN-X4	22.1	18.5	21.7	48.3	3110	



3. 逆襲のシャア モビルスーツ

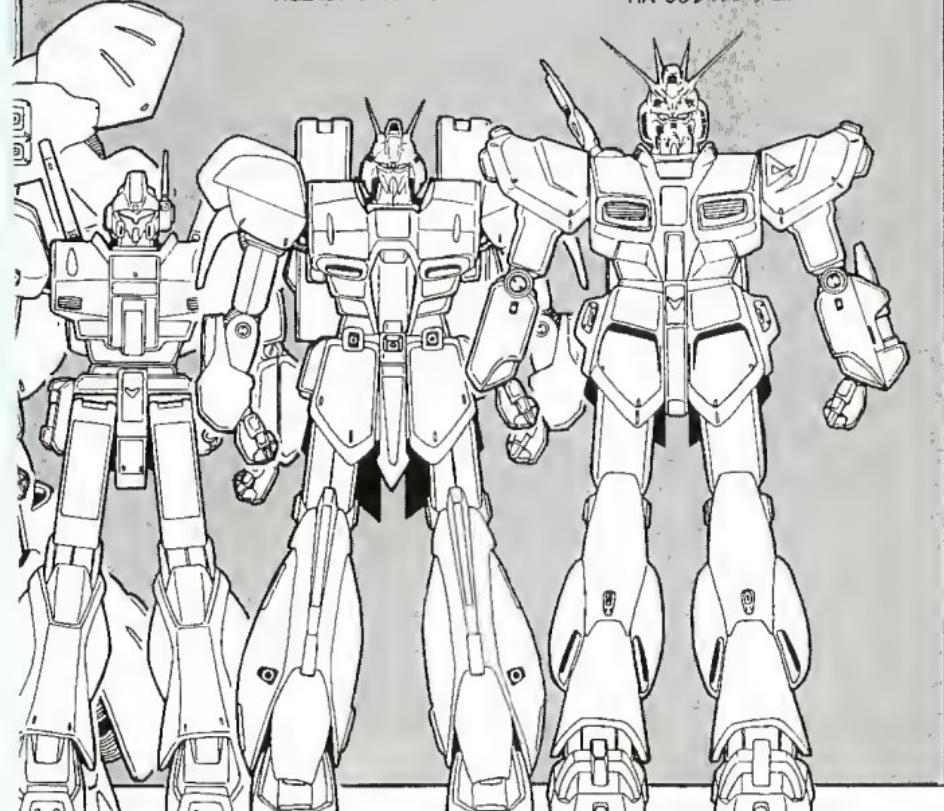
スラスター総推力 (kg)	センサー有効半径 (m)	武装
54000	16400	ビームマシンガン、ビームソードアックス、グレネードランチャー、スツルムファウスト
82000	16400	ビームアサルトライフル、ビームサーベル、メガカトリングガン、メガ粒子砲×4(シールド)ミサイル×6
133000	22600	ビームショットライフル、ビームトマホーク、ビームサーベル、ミサイル×3、ファンネル×6
2217500	23800	バルカン砲×2、メガ粒子砲、有線サイコミュ式メガアーム砲×2、ファンネル×9
48700	14200	ビームライフル、ビームサーベル、バルカン砲×2、ハンドグレネイド×3、2連装ミサイルランチャー
67600	14200	ビームライフル、ビームサーベル×2、グレネイドランチャー×4、バルカン砲×2、バックウェポンシステム
97800	21300	ビームサーベル×2、ハイバーバズーカ、ビームキャノン、バルカン砲×2、ミサイル×4、フィンファンネル×6

逆襲のシャア MS比較図

RGM-89
ジェガン

RGZ-91 リ・ガズィ

RX-93 νガンダム



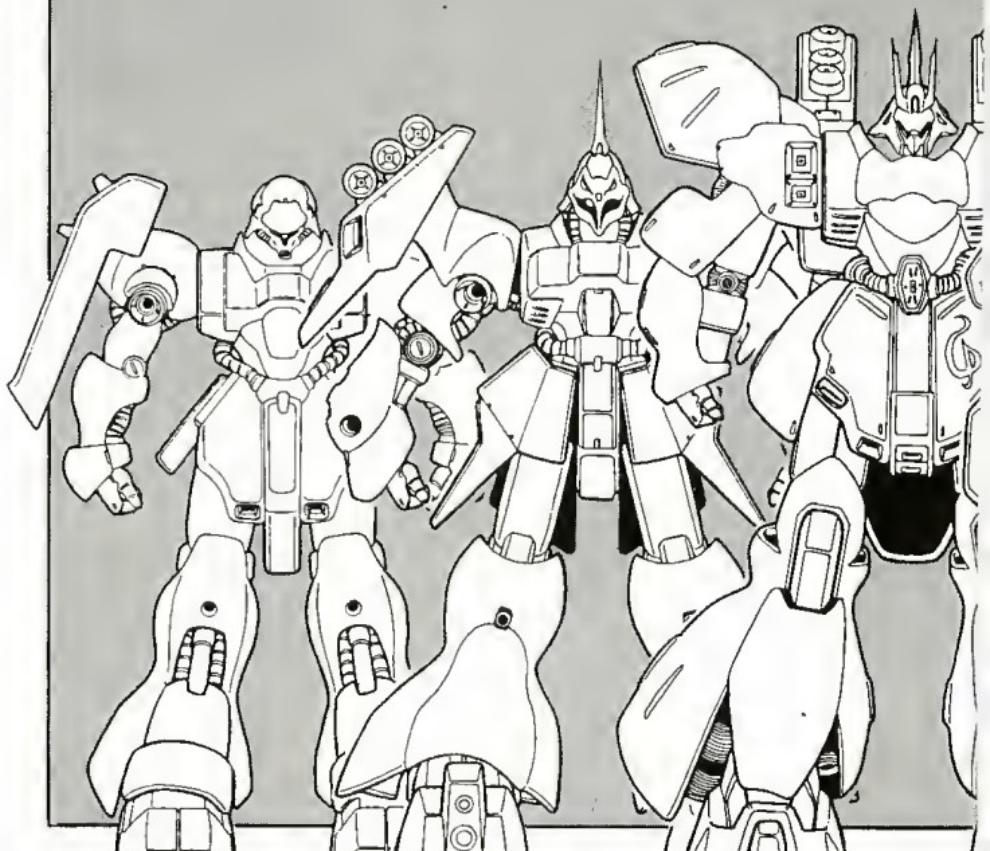
MS性能比較

愛称	型式番号	全高(m)	頭頂高(m)	本体重量(t)	全備重量(t)	ジェネレータ出力(kw)	
ギラ・ドーガ	AMS-119	20.0	20.0	23.0	50.8	2160	
ヤクト・ドーガ	MSN-03	21.0	21.0	28.0	64.6	3340	
サザビー	MSN-04	25.6	23.0	30.5	71.2	3960	
α-アジール	NZ-333	108.26	58.4	128.6	267.4	19830	
ジェガン	RGM-89	20.4	19.0	21.3	47.3	1870	
リ・ガズィ	RGZ-91	21.5	20.5	24.7	55.2	2550	
νガンダム	RX-93	23.0	22.0	27.9	63.0	2980	

AMS-119 ギラ・ドーガ

MSN-03 ヤクト・ドーガ

MSN-04
サザビー



つた私設軍隊養成組織の俗
称。

核ハルス・エンジン

【Nuclear pulse】

小規模な核爆発を連続的に発生させ、その超巨大な衝撃波による圧力によつて推力を得るシステム。

工アーズ市→サイコ・フレーム

【Karezawa City】

月の裏側に位置する超保守的な自治都市。カイザー・パインフレード市長のもと、連邦

軍の主導権をエウーゴが握つたことを不満としてニューディーズと合流する。

工グム

【Kogumu】

旧エウーゴから離反した反地球連邦組織。軍の覇権を握つたことで有名無実となつたエウーゴに不満を持つ、過激派やテロリストが中心となつて構成している。ネオ・ジオンの援助もあつたとされている。

ユーディサイズ討伐のため編成されたα任務部隊の主力として派遣された、旧ソロモンに駐留のマゼラン改級のブル・ランを旗艦とす

フレームのこと。サイコミニシステムとして機能させるには親機となる装置が必要であるが、これによつてMS機体内に占めるサイコミニ装置の大幅なスペースを節約することができる。

【Karezawa City】

月の裏側に位置する超保守的な自治都市。カイザー・パインフレード市長のもと、連邦

工グム

【Kogumu】

旧エウーゴから離反した反地球連邦組織。軍の覇権を握つたことで有名無実となつたエウーゴに不満を持つ、過激派やテロリストが中心となつて構成している。ネオ・ジオンの援助もあつたとされている。

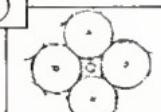
ユーディサイズ討伐のため編成されたα任務部隊の主力として派遣された、旧ソロモンに駐留のマゼラン改級のブル・ランを旗艦とす

サイコ・フレーム

【Psycho frame】

SPの最強のテロリスト部隊。カスタムメイドのムサイやガザC改、ガザW、ズサカスタム、ザクIII後期型などを持つ。

サイコ・フレーム構造図



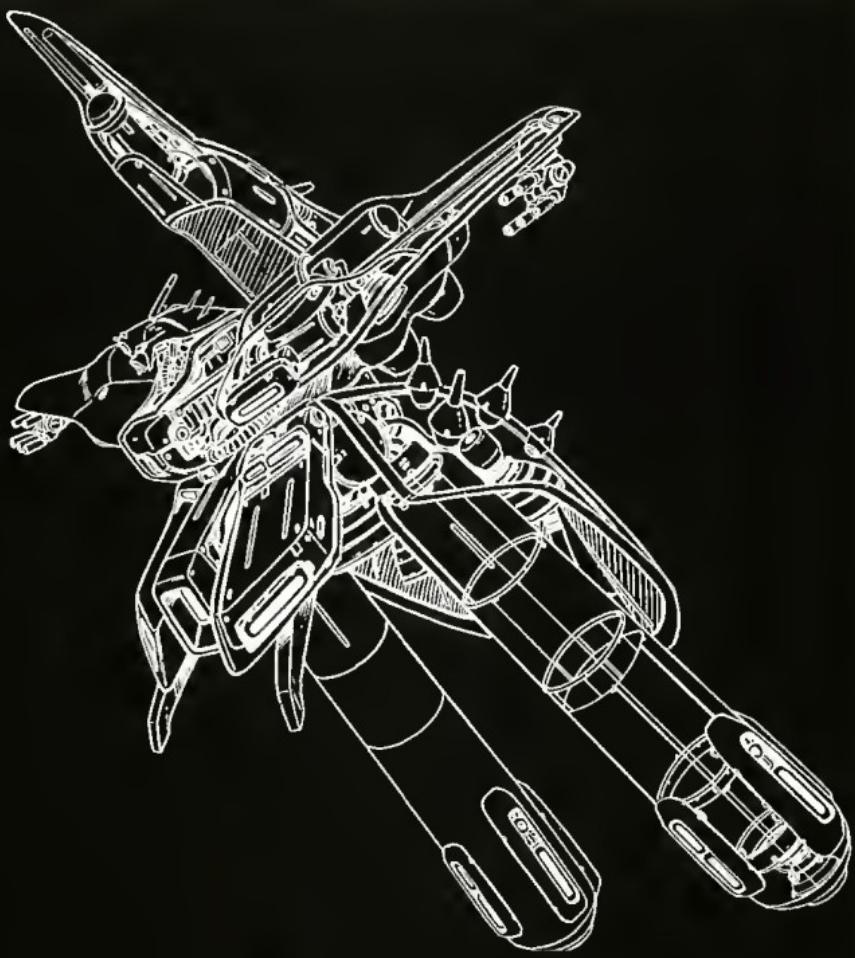
サイコ・チップ拡大図

【NSP】

【Neosecium Project】

1960年代に起きた公民権運動のひとつから名を取

れたNSP。旧世紀



ガンダム オフィシャル レポート

GUNDAM Official Report

●ネオ・ジオンがシャアによって復活するまでの期間になにがあったのか？ そして兵器はどう変わっていったのか？ その疑問にお答えしよう

Illustration by Hitoshi Fukuchi.

ガンダム・オフィシャル・レポート、1

歴史

History

U.C.0090~0093

グリップス戦争後

U.C.0087年に端を発するグリップス戦争から始まつた。地球圏すべてを巻き込んだ混乱は、一年戦争以来蓄積していた諸問題が噴出したものだと見ることができる。

0089年1月17日にハマーン戦争と呼ばれる第一次ネオ・ジオン抗争が終結してから事態は鎮静したように見えたが、連邦は何の対策も講じておらず、度重なる戦争で生じた難民に対する救済措置もおざなりなものだった。実際にはアースノイドとスペースノイド間の軋轢は少しも解消されておらず、8月25日には各コロニーの自治権を無視した規制も加えられた。この時期の反地球連邦運動はかつてのサイド3のときのようにな

狂騒状態には至らなかつたものの、広くスペースノイド全体会に敷衍されたものとなつていき、連邦政府に対する反感も徐々に人々の中に醸成されていった。0088年前後のティターンズの台頭や月面都市エアーズの市民を巻き込んだニューヨーク・サイズの行動などが、連邦に対する印象を決定づけた側面も否定できない。

こうして、スペースコロニーは反乱分子や過激派の温床となつていった。連邦による不穏分子の追及は人々の手によつてはばまれ、ネオ・ジオン復活は水面下で着々と進行していく。

0092年12月22日、難民収容コロニーのスウィートウォーターを艦隊により占拠し、ネオ・ジオンの復活を宣言するシャア・アズナブル。別個に活動していた反連邦組織をまとめあげ、その活動の拠りどころとしてスペースノイドの支持を獲得した。過激派の行動は独立したものであつたとされるが、彼の暗躍はあつただろうと考えられる。



イラスト、福地 仁

History

歴史

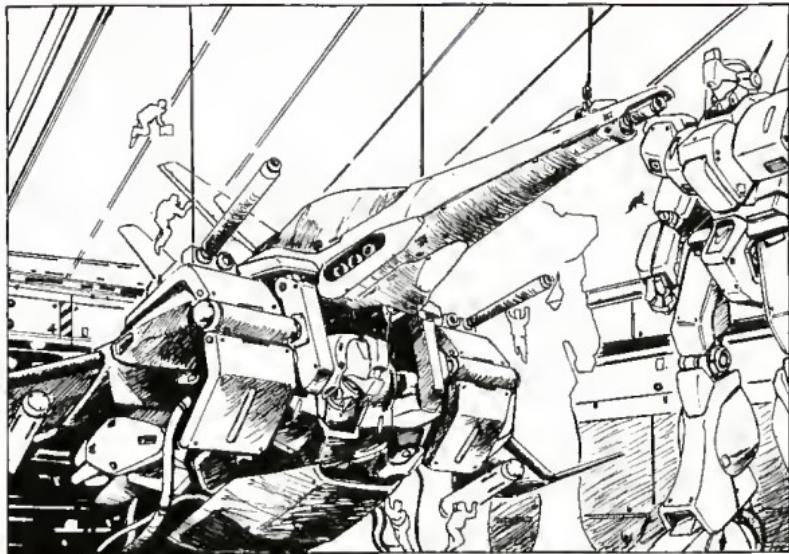
年・月・日	事柄
0087-03-02 04-29 05-11 06-29 08-10 08-17 10-12 11-16 12-07 12-14	エゥーゴ、グリップスより試作MS3機を強奪。 最後の木星エネルギー輸送船ジュピトリス地球圏に帰還。 エゥーゴ、地球連邦軍ジャブロー基地を攻撃。 ティターンズ、ホンコン・シティを襲撃。 ティターンズ、アポロ作戦発動。フォン・ブラウン市を襲撃。 エゥーゴの指導者、ブレックス・フォーラ准将暗殺。 アクシズ、地球圏に帰還。
0088-01-18 02-02 02-22	エゥーゴ、ダカールの連邦会議を占拠。全世界にティターンズの悪を訴える。 ティターンズ、グリップス2のコロニーレーザーによってサイド2・18パンチを破壊。 ティターンズ、サイド2・21パンチを毒ガス攻撃。住民は全員死亡。
02-24	アクシズ、ゼダンの門の旧ア・パオア・クーを破壊。
02-29	エゥーゴ、メタルシルトローム作戦発動。艦隊戦によりグリップス2を占拠。
03-23 03-28 03-29 04-01 04-02 04-04 04-05	エゥーゴ、アクシズ、ティターンズの三つともえの艦隊戦。ティターンズ敗北。コロニー レーザー破壊。エゥーゴも戦力の大半を失う。シャア・アズナブル行方不明。 惑星ペズンにおいて、ティターンズ教導部隊の一郎青年将校が“ニューディサイズ”を名 乗り反乱を起こす。 ネオ・ジオン、各サイドに制圧部隊を送る。 連邦軍、ニューディサイズ討伐部隊前衛艦隊α特務部隊を編成。 ペズン、占領部隊の核爆弾により爆発。ソロモン駐留のエイノー艦隊、反乱軍の討伐に発 進するが、連邦軍の指揮を離れ、装備と共にニューディサイズと合流。 エイノー艦隊、月裏面のエアーズ市に降下。 エアーズ市の上空で攻防戦が展開される。FAZZ部隊全滅。ニューディサイズ、マス・ドラ イバー基地を占拠。 エアーズ市武装解除。ニューディサイズ、マス・キャッチャーを利用し脱出。ネオ・ジオ ン、ジオン残党のトワニング隊と合流。 ニューディサイズ、低軌道中継ステーション、ペンタを制圧。 α特務部隊、任務終了。
06-06 08-01 08-29 10-31 11-14 12-25	【ティターンズの反乱（グリップス戦争）】終結 ネオ・ジオン、先遣部隊を地球に降下させる。 ネオ・ジオンの本体、地球侵攻。 ネオ・ジオン、ダカールを占拠。旧公国軍、ティターンズ残党を配下に治める。 ネオ・ジオン、ダブリンにコロニーを落とす。 地球連邦政府、ネオ・ジオンにサイド3を譲渡。ネオ・ジオンの戦力、地球より撤退する。 ネオ・ジオン内でグレミー軍が反旗を翻す。
0089-01-16 -17	アクシズ、コア3に激突。 エゥーゴ、ネオ・ジオンを制圧。ハマーン・カーン戦死。ミネバ・ザビ行方不明。【ハマー ン戦争（第1次ネオ・ジオン抗争）】終結。
01-16	木星エネルギー輸送再開。ジュピトリスII発進。
05-01 08-25	連邦軍、大質量アステロイドの管理体系を再編成。
0090-01～ 02-03 03-21	連邦軍、スペースノイド寄りのコロニーに対し経済制裁等の引き締め強化。 エグム、NSP等、反地球連邦組織の活動活発化。 難民収容施設として、スウィート・ウォーターを改造
07-15	NSPのカラード隊、サイド6、再建中のテキサスコロニーを襲撃。連邦軍のアラハス隊、モ ノトーン社のスタッフと合流。
10-15 11-23 12-15	サイド2でアラハス隊とカラード隊、戦闘。 民間会社モノトーンのスタッフが連邦軍のテストパイロットに抜擢。
0091-02-06 02-27	NSP 積健派、アラハスと合流。ネオ・ジオンの過激派偽装陽動部隊と交戦。 NSP 解散宣言。 過激派偽装陽動部隊、木星へ。
0092-08～ 12-13 12-22 12-25	連邦軍、本部をチベットのラサへ移動。 ネオ・ジオン、地球連邦軍に対し攻撃を示唆。 シャアを総帥とする艦艇、スウィート・ウォーターの占拠を宣言
0093-02-27 03-03 03-04 03-06 03-12	連邦軍、ロンド・ベル隊を増強。 ネオ・ジオン総帥のシャア、インタビュー番組内で事実上の宣戦布告。 ネオ・ジオン艦隊スウィートウォーターを発進。 5thルナ、連邦軍本部所在地チベットのラサに激突。 ネオ・ジオン軍と連邦軍、サイド1、ロンティニオンにおいて、極秘裏に和平交渉。 ネオ・ジオン艦隊、投降を偽装しアクシズを奪回。地球へ降下させるが失敗。 【アクシズ戦争、シャアの反乱（第2次ネオ・ジオン抗争）】終結

History

歴史

第2次ネオ・ジオン抗争

0090年にはいり、反地
球連邦組織の活動は、激化し
ていった。



ラー・カイラム内でB・W・Sを取り付けるRGZ-91リ・ガズィ。B・W・Sの構想 자체は88年当時にMSZ-006CIに続いて検討されていた。

邦への妨害工作も顕著になつた。テロや小規模な戦闘が頻発し、その対応をせまられた連邦は、同年3月21日付けで、外郭新興部隊ロンド・ベルを再編し、装備と人員の拡充を行なつた。当時、地球連邦軍の宇宙軍の艦艇は各サイドのコロニーと月軌道内にあるいくつかの小惑星に、内乱防止のためとしての駐留部隊となつて分散していた。そのため、実働部隊が必要となり、ロンド・ベルが再編されたのである。しかし、組織としての規模は依然として小さく、空コロニーなどが点在する月軌道内外の暗礁空域などの探索は物理的に不可能であった。また、当時の連邦軍の戦略は有事を想定しておらず、国家規模の戦争には到底、迅速な対応ができるものではなかつ

た。

0092年12月22日にシャアのスウェートウォーター占拠宣言が発せられてから事態は急変した。連邦政府自体が取ってきた場合の手続きの検討度だつたが、地球連邦政府の高官であるジョン・バウアー（0089年当時にジエガンタイプの量産を強行したのも彼である）の指示もあり、12月25日に、ロンド・ベル隊の増強が行われ、組織的にも実戦部隊として機能できるようにな再編成された。大気圏周回用ガルダに配属されていたブライト・ノアも、それまでのペル隊に編入された。しかし、それでも戦力は十分ではなかつ

歴史

つた。Ζガンダムをはじめとして、百式まで、ガンダムと名が付くすべてのMSが永久保存の名目で連邦の手により秘匿され、その保管場所までが不明な状態だった。そのため、ロンド・ベル隊に配備されていたMSは、ジエダやジエガンといった量産機のみだった。一年戦争から第1次ネオ・ジオン抗争に至るまで、総力戦や物量戦を除く重大な戦局でのNT専用MSの重要性を熟知していたロンド・ベルのMS隊々長アムロ・レイ大尉は、ネオ・ジオンがNTを戦闘に投入してきた場合を想定して、Ζガンダムの量産機であるリ・ガズイを作成したが、それでも戦力不足であると判断し、アナハイム・エレクトロニクスのフランク・ラウンド工場の協力を取

り付け、サイコミュ搭載のΖガンダムを開発した。

0093年3月3日に、スィートウォーターを発進したネオ・ジオン艦隊は、フィフス・ルナに向かった。ロンド・ベル隊が到着したときにはすでに遅く、フィフス・ルナは核パルス・エンジンを作動させ、地球連邦本部があるチベットのラサへ降下を開始した。連邦本部はすでに移転していたが、ラサ周辺に甚大な被害がもたらされた。3月6日、極秘に行われた和平交渉で不オ・ジオンは巨額なアクリシズ売取金を提示。アクシズの譲渡と武装解除を交換条件とし、連邦との交渉を締結する。3月12日、ルナツーの空域で艦隊の武装解除と投降を行なう予定のネオ・ジオン艦隊は協定を破つてルナツー

0093年3月12日、地球落下の軌道に入ったにも関わらず、コースを外れ引力圈外へ抜けるアクシズ。原因は不明だが、その時アクシズが発光していた、地球を光が包みこんだ、などの不確定情報が多数あった。



History

を制圧し、保管してあつた核兵器を奪取、時を同じくして別動隊がアクシズを奪回した。ルナツー制圧隊の到着を待つて、アクシズは地球に降下を開始する。もしこの作戦が成功すれば、地球は居住不能になる。ロンド・ベル隊も秘密裏に核兵器を調達し、激戦を繰り広げた。

大気圏内の核爆発は回避できただもの、双方におびただしい死傷者が出了。そこに、それが留隊から援護がかけつけたが、戦略的には余りに遅すぎた。だがなんらかの理由により、アクシズは落下的コースを外れ、ネオ・ジオンの地球寒冷化作戦は失敗した。

ガンダム・オフィシャル・レポート、2

通常兵器

Weapon

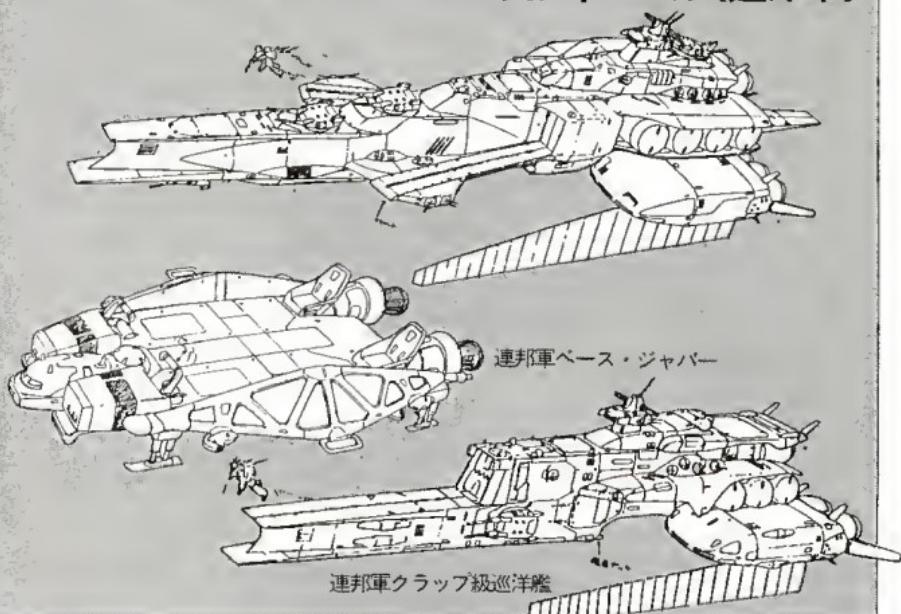
U.C.0090~0093

ロンド・ベルの戦力

この時期の通常兵器については、歴史的な背景を抜きに語ることはできない。地球連邦政府が、第1次不オ・ジョン抗争以来、組織としてのたて直しを行なつていなかつた。反地球連邦組織などの活動が激化してはいたが、連邦は小規模なテロ以外の脅威はないとの判断した。通常兵器の新たな配備はおろか開発も実質的には凍結され、戦力的にはグリップス戦争終結當時と比べて大きな変化はない。特に宇宙戦艦などはテロ鎮圧のためとして各サイドに分散し、艦隊としての再編成さえ遅々として進まなかつたのである。一応の対策として、外郭部隊のロンド・ベル隊は編成されていたものの、各コロニーの

連邦軍ロンド・ベル隊旗艦 ラー・カイラム

ロンド・ベル(連邦軍)



Weapon

通常兵器

反乱分子の搜索など、どうだい無理な相談であった。

● 宇宙艦ラー・カイラム

ロンド・ベル隊の旗艦。一年戦争以来、対MS戦での艦橋の被弾率は高く、その対策として80年代後期以降は、

ダミープリッジや戦闘ブリッジなどを装備することが多くなっている。2連装大型砲5門、ミサイル発射管6門、側方発射管、大小火器多数、ふたつのMSカタパルトを持つ。

● クラップ級巡洋艦

ロンド・ベル隊の主力艦。ラー・チャター、ラー・ギエム、ラー・ザイム、クラップなどが就役している。2連装大型砲2門、ミサイル発射管6門、側方発射管、後方発射管、大小火器多数、MSカタパルトをひとつ装備している。

● ベース・ジャバー

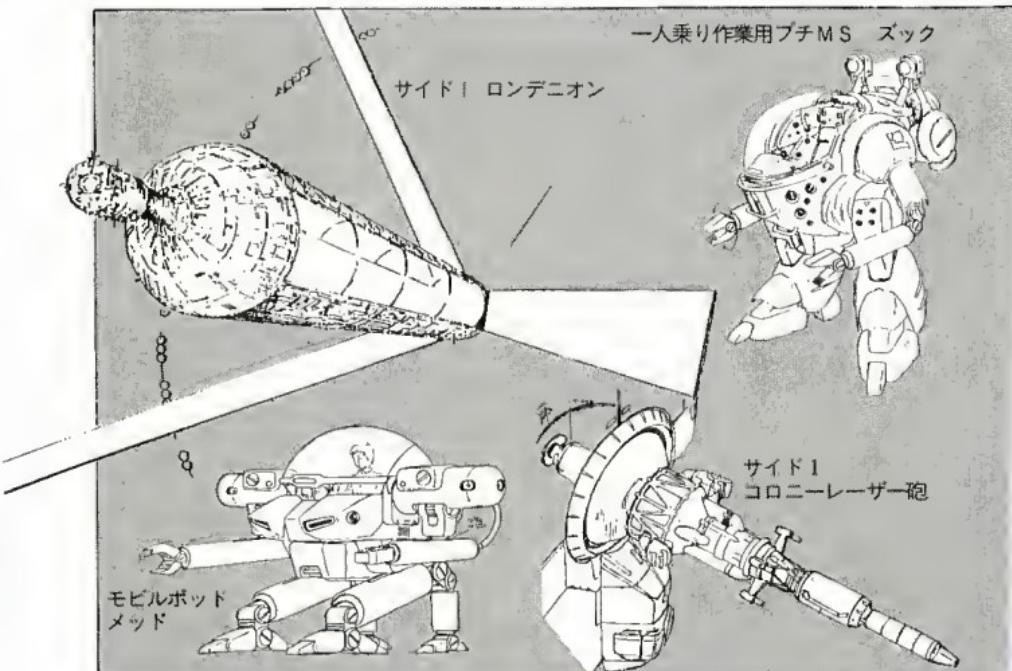
大気圏内で使用されていた無人のS・F・Sを宇宙用に再設計したもの。通常はMSから操縦するが、連絡艇としての設備も追加装備している。モビル・ポッド“ズック”どちらも普通のワーカーで兵舎と呼べる代物ではないが、アクシズ分断工作に威力を發揮した。ズックは元々補修用の装備。メッドは民間のものを徴用した機体である。

● サイド・レーザー砲

ロンドニオンコロニーのシリンドラーの径部分に装備され、100mの砲身を持つ巨大兵器。効果は絶大だが距離に比例して威力は減衰する。

● ロンデニオン

サイド1にあるロンド・ベル隊の本拠コロニー。数少ない協力的なコロニーである。



Weapon

通常兵器

ネオ・ジオンの戦力

ネオ・ジオンの再興は、第一次ネオ・ジオン抗争のときに、単純に旧公国軍が復活したものだということはできない。この時期の“ジーク・ジオン”的スローガンはザビ家に対する忠誠を誓うものではなく、スペースノイドのあるべき未来を説いたジオン・ズム・ダイケンをたたえる宇宙生活者たちの希望そのものであつた。逆にいえば、地球連邦政府に対する不満や反感は、それほど広く、深く、人々のなかに存在していたことになる。表立った軍組織としてのネオ・ジオンが存在しないなくとも、宇宙生活者の中に潜在的な支持者や協力者が多数存在することにより、兵器の拡充や開発は連邦の追

及から逃れることができた。さらに、ジオンの残党が連邦の組織に潜り込み、シャアのような人物が立つのを待つて初めて、シャアを総帥とするネオ・ジオンは復興することができたのだ。

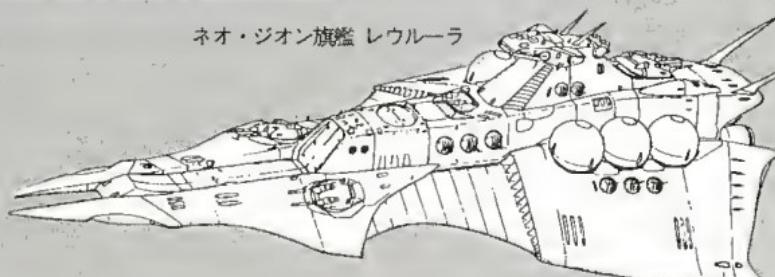
● グワジン級戦艦 レウルーラ

ネオ・ジオンの旗艦。グワダン、グワンパンの中間的な装備。外観をもつ大型艦である。例に漏れず戦闘ブリッジをもつ。2連装大型砲5門、2連装砲2門、ミサイル発射管6門、アンチ・ミサイル・ミサイルランチャー大小火器多数、上下でふたつのMS力タバートを持つ。

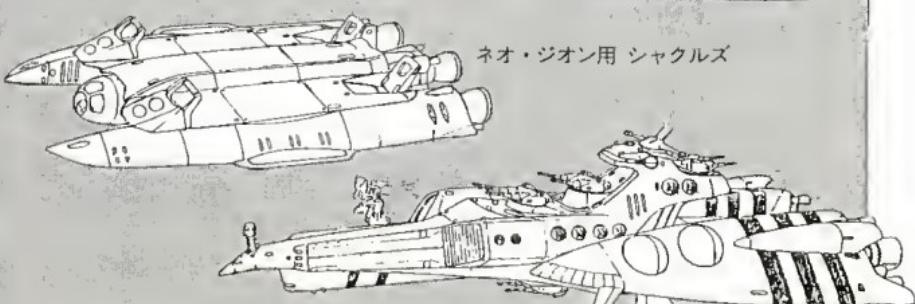
● ムサイ級軽巡洋艦 ムサカ

ネオ・ジオンの主力艦。電撃作戦の展開が可能なようエンジンの出力を向上させて

ネオ・ジオン旗艦 レウルーラ



ネオ・ジオン用 シャクルズ



ネオ・ジオンムサカ級軽巡洋艦

通常兵器

おり、そのため巨大な放熱

フィンを持っている。13番

艦まで建造されている。

2連装砲4門、ミサイル発射管6

門、大小火器多数、斜めに設

置されたふたつのMSカタパ

ルトを持つ。

● シヤクルズ

エウーゴ系のS・F・Sの

設備を使って作られたため、

そのままの名称で呼ばれる。

グリップス戦争当時のものより

大型で、航続距離も延長され、

一人乗り用のコックピットも

増設されている。

● 5th (ファイフス) ルナ

スペース・コロニー建設の

ため地球圏に搬入された小惑

星のひとつ。移動のための核

パルスエンジンを4基搭載し

ている。ネオ・ジオンはこれ

を質量弾として使用し、地球

連邦本部があつたチベットの

ラサを壊滅させた。

● アクシズ

一年戦争終結後、ジオン残

党が拠点としていた小惑星。

第一次ネオ・ジオン抗争終結

後は、連邦に管理されていた。

ルナツーを急襲し、核兵器

を手にいれたネオ・ジオンの

手によって核パルスエンジン

が復活し、5thルナを上回

る質量弾として、核兵器を満

載したムサカの4番艦とともに

、地球寒冷化の切り札とし

て投入された。

● スワイート・ウォーター

ネオ・ジオンの本拠地。連

邦が、ふたつの異なる密閉型

と解放型のコロニーをつなぎ

合わせて、難民収容のために

作ったコロニー。ロンデニオ

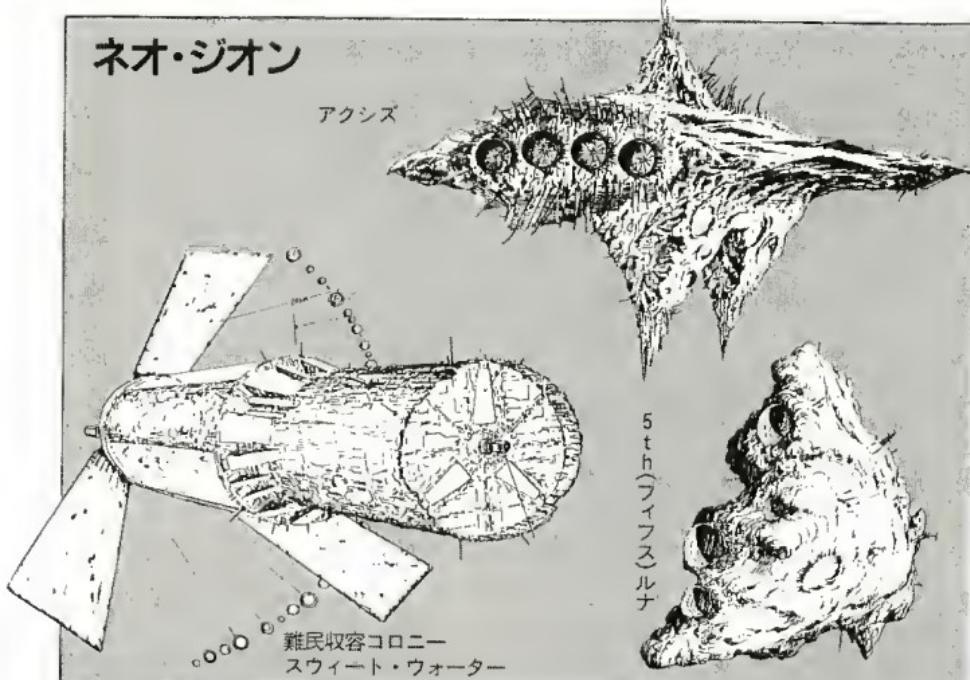
ンと同じく兵器と呼べるもの

ではないが、住民はネオ・ジ

オン賛同者で占められている。

ネオ・ジオン

アクシズ



Weapon

機動兵器

Mobile Weapon

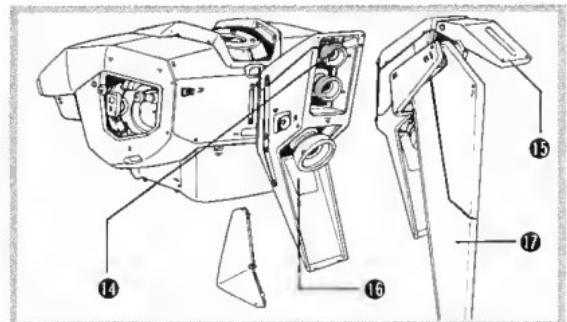
U.C.0089~0093

攻撃用試作型モビルスーツ

Zプロジェクトによって開発されたMSZ-1006 Zガンダムの設計案によつて、その後のMS開発全体にもたらされた恩恵は計り知れないものがある。Zガンダムの持つムーバブルフレームの基本構造は、コピーが容易で他の構造とは比較にならないほど強度を持たせることができるものだ。あれだけ多くの可動箇所を持ちながら、ウェイブライダーとしての機能も持ち合わせたTMSとして運用可能なMSが設計可能たとは、当時の技術者たちは考えていなかつたからだ。これは構造材の質の向上とも相まって、より高い効率を持つた内部構造のレイアウトを実現させることとなり、以後のMSのは

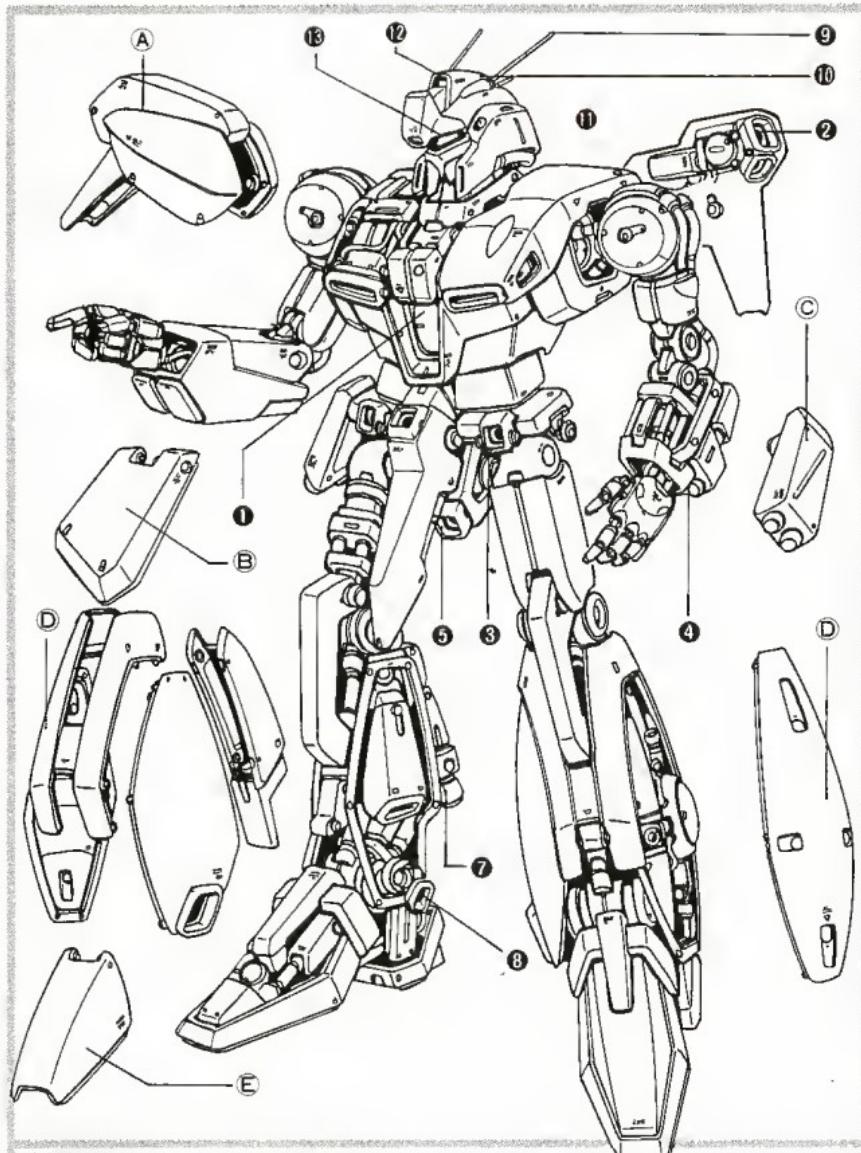
とんどが、どこかにこの構造を取り入れているといつても過言ではない。しかし、Zガンダムは本格的に量産されることにはなかつた。それは、TM Sとしてそのまま量産するには、あまりにコストがかかりすぎるからだ。

RGZ-19リ・ガズイは、ZガンダムのMS形態時のみの構造をコピーして設計されたもので、一般の量産機は足元におよばないスペックを達成しているものの、単体での攻撃力はZガンダムの総合戦力には達しなかつた。そのため、Zガンダム開発当時考案、試作されたバリエーションの中から、R型とよばれるBWSに搭載された大口径メガビームキャノンと2基のビームキャノンによつて、第4世代MS並の攻撃力を持つてゐるが、NT用の装備としてはバイオセンサーを仮設してあるだけなので、厳密にいえば、だということはできない。



Mobile Weapon

機動兵器



攻撃用試作型モビルスーツ
[RGZ-91] リ・ガズィ

【各部名稱】 ①ショルダー・アーマー ②スカート・アーマー ③グレネード・ランチャー
④レッグ・アーマー ⑤インステップ・カバー
⑥コクピット・ハッチ ⑦ショルダー・アボジモーター
⑧前方用アボジモーター ⑨前方用アボジモーター
⑩下方用アボジモーター ⑪スラスター
⑫スラスター・ハッチ ⑬スラスター・ノズル
⑭スラスター・ノズル ⑮スラスター・ノズル
⑯スラスター・ノズル

ター ⑧ レッグ・アボジモーター ⑨ 通信アンテナ ⑩ レーダー警戒アンテナ ⑪ バルカン砲 ⑫ 射撃用レーザー・センサー ⑬ ソインアイ（メインカメラ） ⑭ ブースター・ノズル ⑮ ブースター・ハッチ ⑯ スラスター・ノズル ⑰ スタビライター

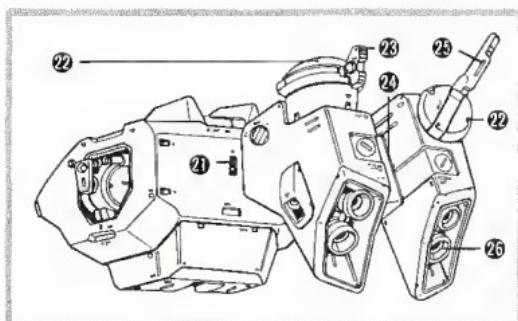
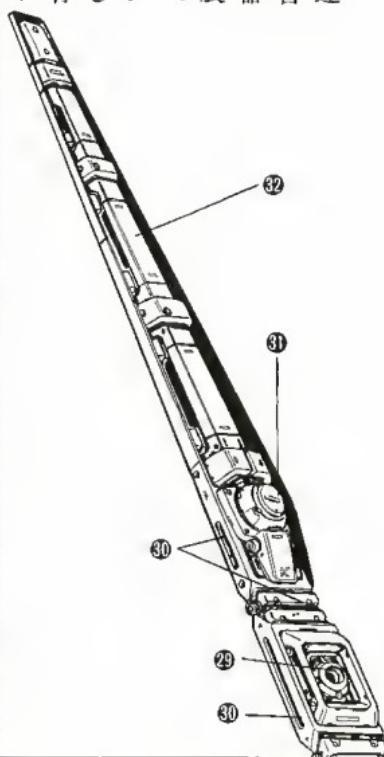
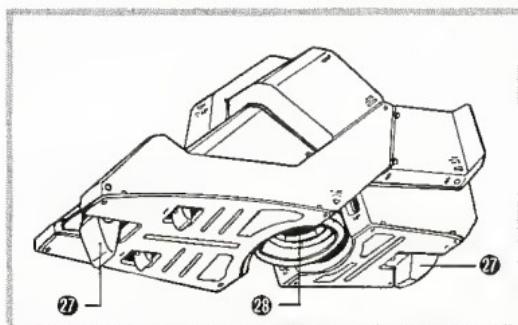
Mobile Weapon

機動兵器

NT専用試作型モビルスーツ

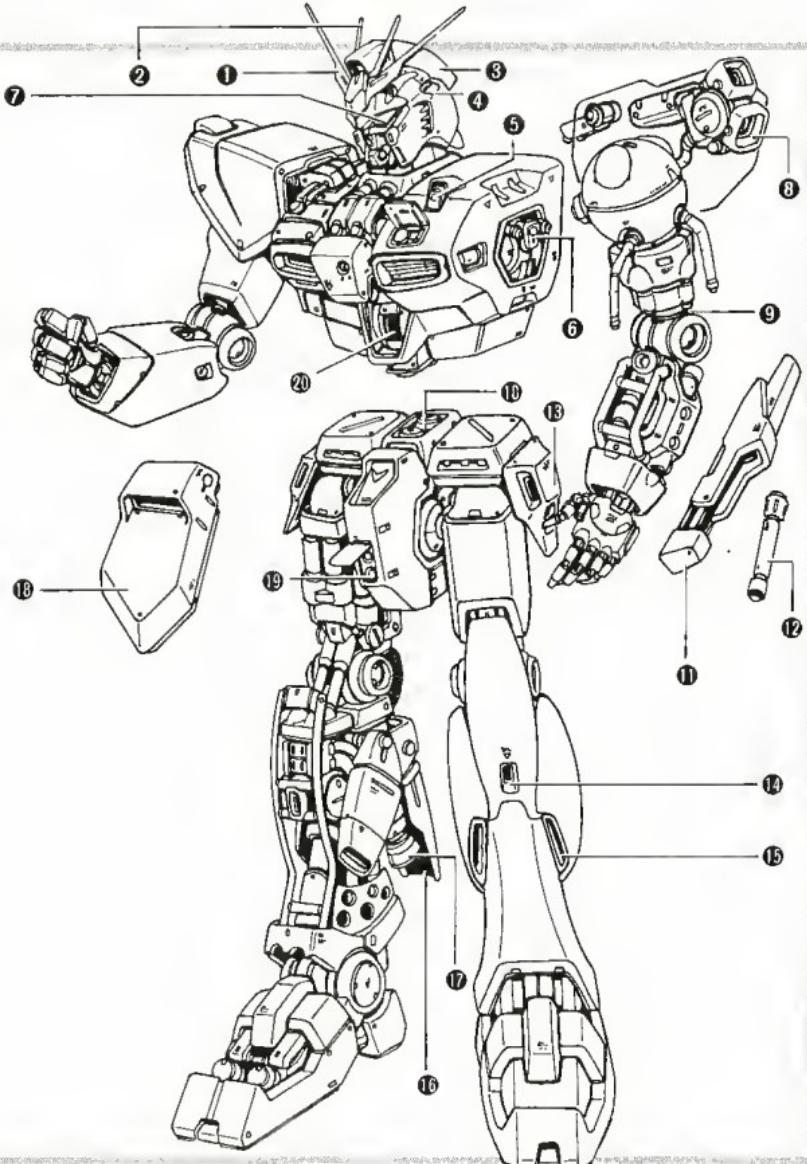
歴代のガンダムタイプの機体の最大平均値を出し、新素材を使って再設計されたのが、このRX-93 νガンダムである。画期的な新素材のサイコ・フレームと、既存のビット兵器の概念を覆すファイン・ファンネルを装備したこの機体は、対NT専用機としても他と一線を画すものがある。サイコ・フレームがコクピット周辺を始め各駆動制御系に配置され、機体の追従性が格段に向上しており、パイロットの思惟と一緒に機体が作動する。6基搭載されたファイン・ファンネルは、解放型のメガ粒子加速帯と小型のジェネレータを内蔵し、それ自体が3ブロックからなる羽根状のACユニットでもあるた

め、燃料の消費が少なく、運動性と稼働時間が大幅に改善されている。さらにこの兵器の特徴は、ビームバリアの展開が任意に可能であることだ。通常、機体に装備されるI斐イールド発生器と原理は同じだが、ファンネルの配置で有効面を変えられるので、ビーム兵器に対しては、実質的にウイーク・ポイントが存在しないといえる。敵のビット兵器がこのフィールド内に干渉するとサイコ・ウェーブが逆流し、生理的なダメージを受けることがある。アナハイム・エレクトロニクスのフォン・ブラウン工場で作られ、短い製作期間だったにもかかわらず、ガンダムタイプのMSのなかで、最強の機体となつている。



Mobile Weapon

機動兵器



NT専用試作型モビルスーツ [RX-93] リガンダム

【各部名称】①通信アンテナ②マルチセンサー③バルカン砲④排きょう口⑤レーザーセンサー⑥マニピュレータージョイント⑦メインカメラ⑧ショルダーアポジモーター⑨流体モーター⑩コネクティングポート⑪ビームサーベルホルダー⑫スペアビームサーベル⑬4方向アポジモーター⑭ニーアポジモーター⑮レッグアポジモー

ター⑯スラスタークーバー⑰スラスターノズル⑱スカートアーマー⑲エクステンションポート⑳コクピット㉑バックパックコネクター㉒ターレット㉓フィンファンネルジョイント㉔専用マウント㉕ビームサーベル㉖スラスター㉗スパイク・クロード㉘スラスターノズル㉙メインスラスター㉚バニアスラスター㉛ジェネレーター㉜ボンディングユニット

Mobile Weapon

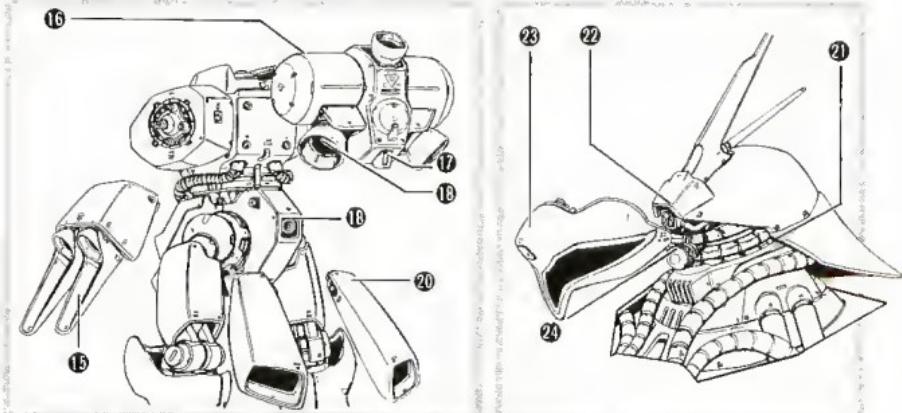
機動兵器

NT専用試作型モビルスーツ

0090年代当時のネオ・ジオンの生産能力では、NZ-1333の製作に総力をあげていたこともあって、量産機以上の性能のMSを製作することは不可能に近かつた。AMS-1119ギラ・ドーガは、グリップス戦争後期に開発された機体が原形機で、操縦系などに改良を加えて現在の量産バージョンとなつた。このMSN-103ヤクト・ドーガは、量産機であるAMS-1119をベースとして開発された、NT専用重MSである。開発はアナハイム・エレクトロニクスのグラナダ工場で行われた。AMS-1119のムーバブルフレームを流用し、約1・6倍の出力を持つ大型のジェネレータを搭載し、各種アビ

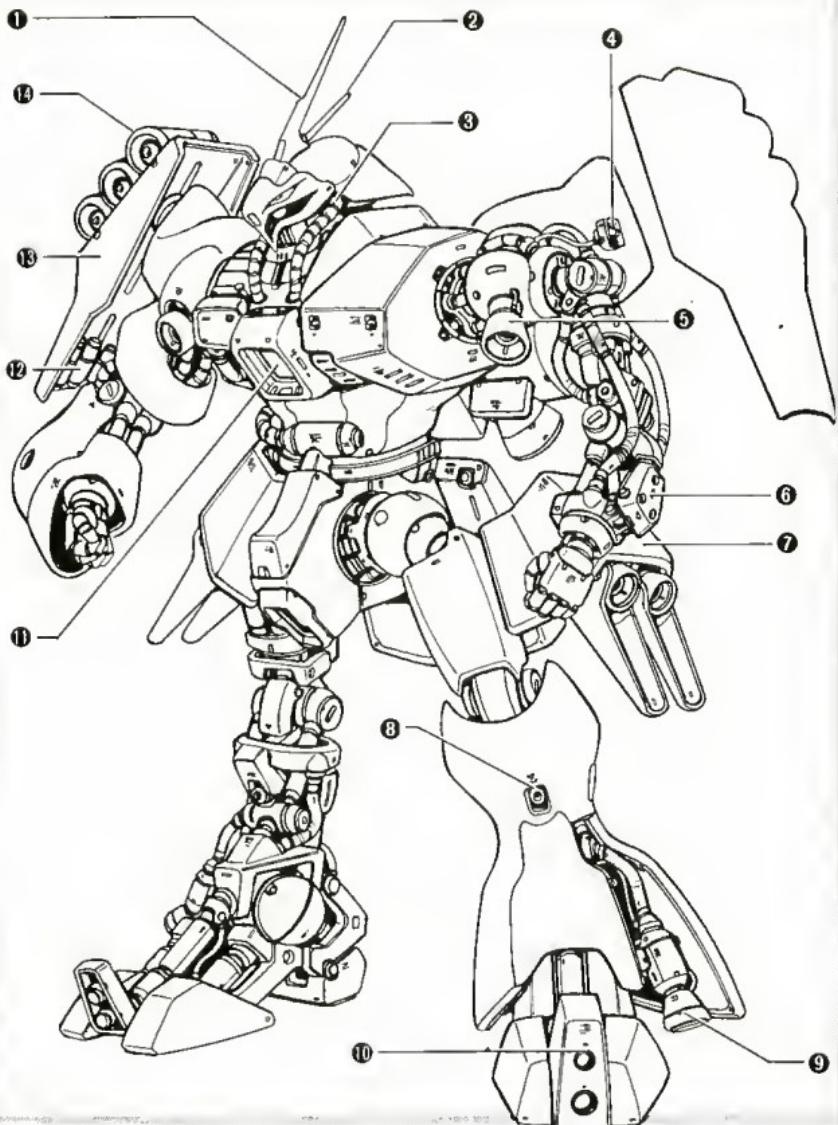
オニクスのレイアウトも変更されていて、装甲材もチタン合金セラミックス複合材から変更されている。だが、ベースとなつた機体が、元々サイコミュ搭載を想定した機体ではなかつたため、搭載に際してサイコミュニに必要とされる装置自体を小型化したが、そのため機能的に不十分な点がでてきた。そこで、小型化のために省略された機能を代替するためにサイコ・フレームが開発されることになった。逆に、このサイコ・フレームが組み込まれたために機体の追従性が向上し、厳密にいえば改造機であるにもかかわらず、要求された能力をかなりの水準で達成していた。しかし、開発当初に目標とされたレベルはクリアできず、2機が試作されただけだつた。

この機体は通常のMSと較べても、かなり高い戦闘能力を持っていて、ビームアサルトライフル、ヒートナイフ付きビームサーベル、ビームガトリングガンなど武装が充実している。オプションシールドには1基あたり9・3メガワットの出力を持つ4基のメガ粒子砲が内蔵され、接近戦で威力を發揮する。最大の武器は両肩のショルダーアーマーに装備されている6基のファンネルである。1基あたり10・6メガワットの出力をもち、サイコ・フレーム採用により追従性と即応性が向上している。



Mobile Weapon

機動兵器



NT専用試作型モビルスーツ [MSN-03] ヤクト・ドーガ

【各部名称】 ①通信アンテナ ②レーダー警戒アンテナ ③動力パイプ ④ショルダーアームマウントラッチ ⑤ショルダーアポジモーター ⑥オプションシールドマウントラッチ ⑦サイドスカートアーマー ⑧アポジモーター ⑨スラスタークロケットモーター ⑩センサー ⑪コクピットハッチ ⑫小型ミサイ

イル ⑬ファンネルポートシールド ⑭ファンネル ⑮スタビレーター ⑯プロペラントタンク ⑰後方カメラ ⑱可変スラスターノズル ⑲アポジモーター ⑳リアスカートアーマー ㉑モノアイガイドレール ㉒レーザーセンサー ㉓カメラシールド ㉔メインカメラ

Mobile Weapon

機動兵器

NT専用試作型モビルスーツ

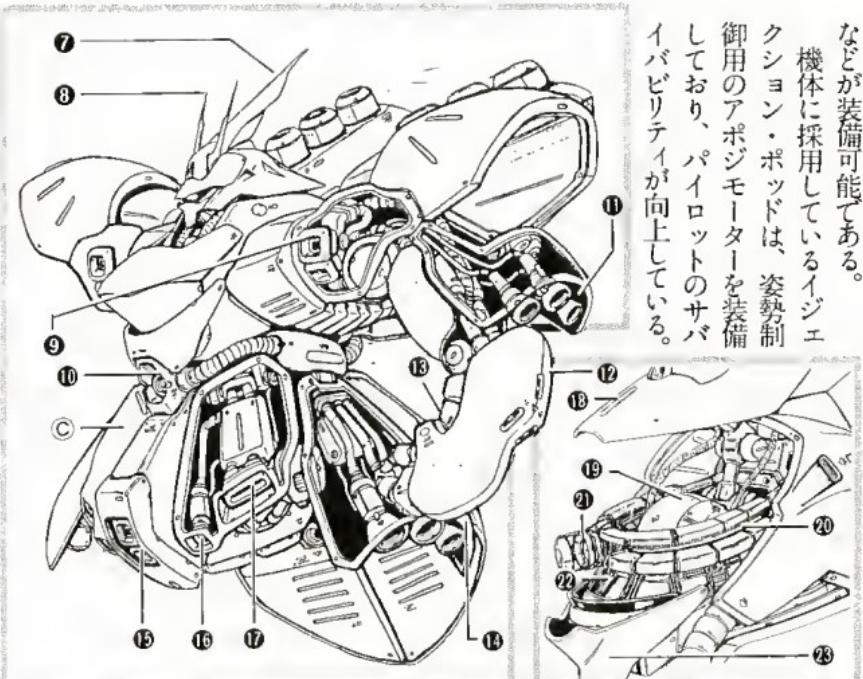
第4世代に分類されるMSの条件は、サイコミュを操縦系に組み込み、メガコンデンサー直結型のメガ粒子砲を搭載していることである。このMSN-04ザザビーは、まさに第4世代と呼ぶにふさわしく、ジオン系MSの中もつとも理想的なバランスのとれたものであり、かつ完成された機体といえる。MSN-03の開発中にうまれたサイコ・フレームによつて、構造材そのものにサイコミュ能力を持たせることに成功し、設計段階からこの素材の導入を想定していたため、MSN-03をはるかに上回る追従性を獲得している。しかし、この技術にはいまだ未解明の部分が多い。また、この機体はガン

ダリウム系合金の新開発によって装甲材の強度が増し、機体の耐弾性を落とすことなく装甲を薄くでき、軽量化とともにプロペラントの増量が可能となつたため、機体の持つ機動性が飛躍的に向上した。

さらに、高出力のジェネレータを搭載したことにより、メガ粒子砲の稼動が可能になつていて。

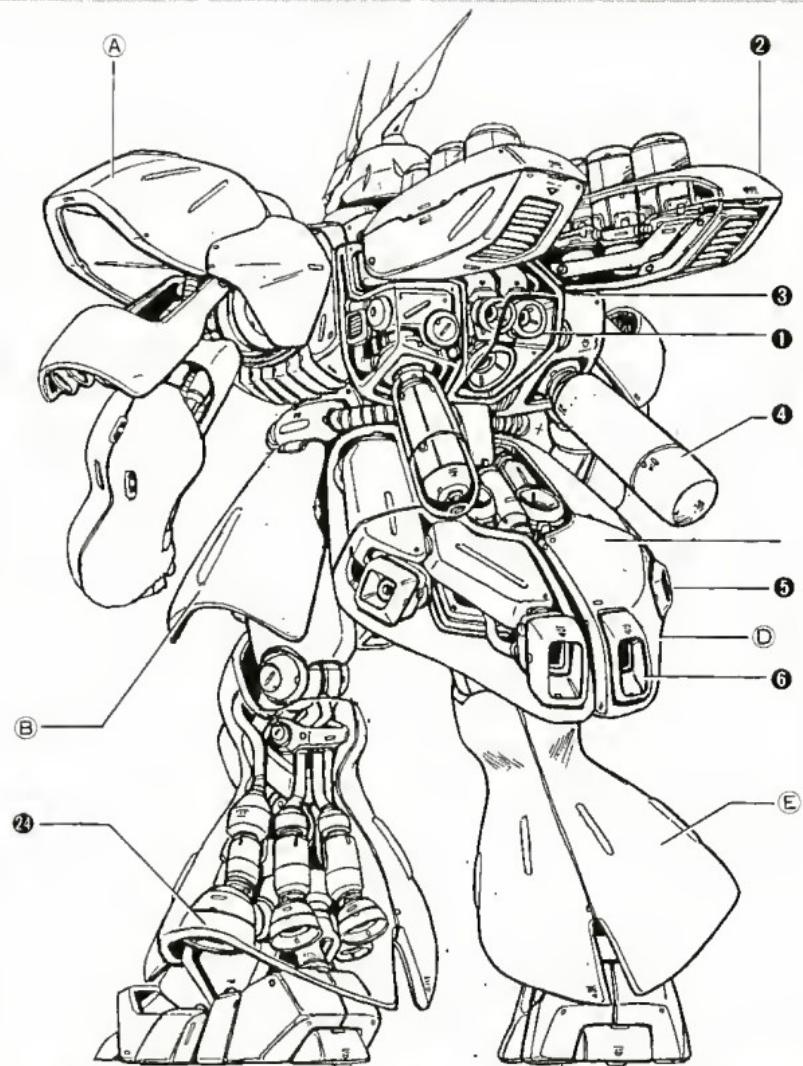
この機体のボテンシャルにあわせ武装面も充実しており、MSN-03と同タイプの6基のファンネルと、腹部に装備された8・8メガワットの出力を持つメガ粒子砲が装備されている。オプションとしてビームトマホーク、ビームサーベル、シールドにマウントされた3機の小型ミサイル、そして10・2メガワットの出力のビームショットライフル

などが装備可能である。
機体に採用しているイージェクション・ポッドは、姿勢制御用のアポジモーターを装備しており、パイロットのサバイバビリティが向上している。



Mobile Weapon

機動兵器



NT専用試作型重モビルスーツ [MSN-04] サザビー

【各部名称】 ①ショルダー・アーマー ②側部スカート・アーマー ③前部スカート・アーマー ④後部スカート・アーマー ⑤レッグ・アーマー ⑥背後ブースター ⑦ファンネル・コンテナ ⑧バック・パック ⑨プロペラントタンク ⑩後方アボジモーター ⑪通信アンテナ ⑫レーダー警戒アンテナ ⑬前方用アボジモーター ⑭メガ粒子砲 ⑮ショルダー・

バーニア ⑯シールド・マウントラッチ ⑰ビームサーベルホルダー ⑱側部スカート・バーニア ⑲前部下方用アボジモーター ⑳前部スカートアボジモーター ㉑頸部バー ㉒インジェクション・ポッド ㉓モノアイレール ㉔メインカメラ ㉕モノアイカバーバイザー ㉖フェイスガード ㉗脚部バーニア

機動兵器

NT専用試作型モビルアーマー

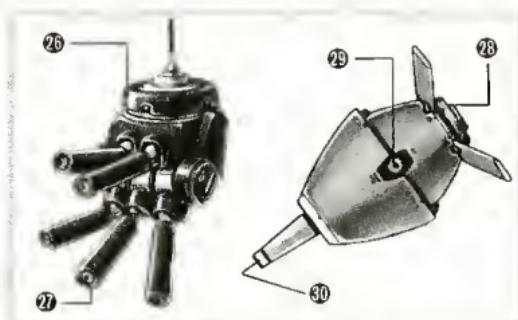
NZ-1-3333 αアジールは、形式番号からしてもNZ-1-000クイン・マンサの後継機ということができるが、実際には、一年戦争当時から連続と続くジオンのNT専用機動兵器を集め大成したMAとなっている。主としてMSN-102、ジオング、MAN-108エルメスをはじめ、AMX-1004キュベレイなどの優秀な機体を参考にして建造された。脚部に装着された巨大なスツルムスラスターユニットは、2槽式のプロペラントタンクと推進器をひとつにしたものであり、圧倒的な加速性能を本機にもたらす。ユニット單体で地球の周回軌道にのれるだけの推力を獲得でき、戦闘空域に到達する時間を極端に

短縮することが可能だ。戦闘時このタンクはデッドウエイトになるので、戦闘空域に到達あるいは燃料を使い切ったということができるが、実際には、一年戦争当時から連続と続くジオンのNT専用機動兵器を集め大成したMAとなっている。主としてMSN-102、ジオング、MAN-108エルメスをはじめ、AMX-1004キュベレイなどの優秀な機体を参考にして建造された。脚部に装着された巨大なスツルムスラスターユニットは、2槽式のプロペラントタンクと推進器をひとつにしたものであり、圧倒的な加速性能を本機にもたらす。ユニット單体で地球の周回軌道にのれるだけの推力を獲得でき、戦闘空域に到達する時間を極端に

5本でひとつの標的を狙つた場合、63メガワットもの出力を持つことになる。そして、腰部スカートアーマーに9基時点で投棄する。脚部がなく未完成に見えるが、強襲用として開発されたため、不要と判断されたのである。頭部の額には6千発／分のバルカン砲2門と、側頭部に2連装バルカン砲2門、口部に出力19.5メガワットのメガ粒子砲(接近戦用に拡散、収束選択可能)を持ち、この頭部の装備だけで充分MSを粉砕することができます。有線サイコミュ式メガアーム砲は、ひとつユニットだけで12.6メガワットの出力を持つおり、オールレンジ攻撃が可能。マニピュレーター状の5本の砲身はそれぞれ独立して標的を狙うことができる。片腕のユニット

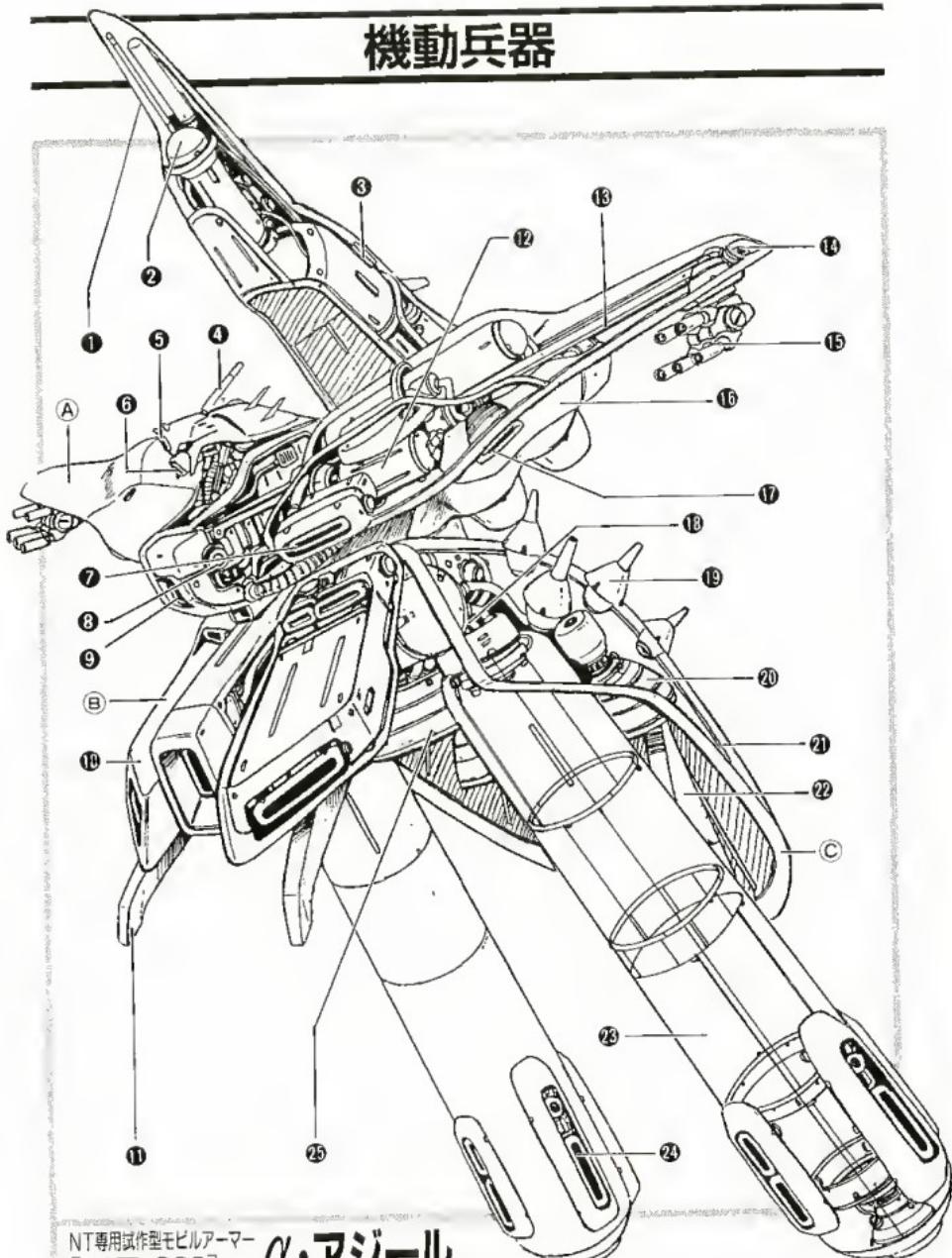
5本でひとつの標的を狙つた場合、63メガワットもの出力を持つことになる。そして、腰部スカートアーマーに9基時点で投棄する。脚部がなく未完成に見えるが、強襲用として開発されたため、不要と判断されたのである。頭部の額には6千発／分のバルカン砲2門と、側頭部に2連装バルカン砲2門、口部に出力19.5メガワットのメガ粒子砲(接近戦用に拡散、収束選択可能)を持ち、この頭部の装備だけで充分MSを粉砕することができます。有線サイコミュ式メガアーム砲は、ひとつユニットだけで12.6メガワットの出力を持つおり、オールレンジ攻撃が可能。マニピュレーター状の5本の砲身はそれぞれ独立して標的を狙うことができる。片腕のユニット

5本でひとつの標的を狙つた場合、63メガワットもの出力を持つことになる。そして、腰部スカートアーマーに9基時点で投棄する。脚部がなく未完成に見えるが、強襲用として開発されたため、不要と判断されたのである。頭部の額には6千発／分のバルカン砲2門と、側頭部に2連装バルカン砲2門、口部に出力19.5メガワットのメガ粒子砲(接近戦用に拡散、収束選択可能)を持ち、この頭部の装備だけで充分MSを粉砕することができます。有線サイコミュ式メガアーム砲は、ひとつユニットだけで12.6メガワットの出力を持つおり、オールレンジ攻撃が可能。マニピュレーター状の5本の砲身はそれぞれ独立して標的を狙うことができる。片腕のユニット



Mobile Weapon

機動兵器



NT専用試作型モビルアーマー α ・アジール [NZ-333]

【各部名称】 ①ショルダーアーマー ②前部スカートアーマー ③ECCMユニット ④ロングレンジレーダー ⑤ヘッドカバーブースター ⑥マチセンサー ⑦バルカン砲 ⑧メガ粒子砲 ⑨アポジモーター ⑩ジェネレータユニット ⑪フィールド発生器 ⑫アポジモーター ⑬ランディング・アーム ⑭サブ・ジェネレータユニット ⑮スライドレール ⑯アポジモーター ⑰有線サイコミュ式メガアーム砲 ⑱サブ・ミニビュレータユニット ⑲バーニニア ⑳スツルムナセル・コネクター ㉑ファンネル ㉒バーニア ㉓ファンネル・コンテナ ㉔ランディングアーム ㉕プロペラントタンク (二槽式) ㉖強襲用スツルムスラスター ユニット ㉗メインバーニア ㉘ターレット ㉙メガビーム砲 ㉚メインバーニア ㉛バーニアスラスター ㉜ビーム砲

ター ⑯有線サイコミュ式メガアーム砲 ⑯
サブ・ミニビュレータユニット ⑰バーニニア
ア ⑲スツルムナセル・コネクター ⑲ファン
ネル ㉑バーニア ㉑ファンネル・コンテナ ㉒
ランディングアーム ㉕プロペラントタン
ク (二槽式) ㉖強襲用スツルムスラスター
ユニット ㉗メインバーニア ㉘ターレット
㉙メガビーム砲 ㉚メインバーニア ㉛バ
ニアスラスター ㉜ビーム砲

Mobile Weapon

[MS用語辞典③]

シーツク・バルーン→ヒノトーン社

シーツク・バルーン [Shock Balloon]

ニ MSのコクピット内に大きな衝撃が発生したとき

などに展張し、操縦者を保護する装置。通常の操縦時にベルト式の固定装置ではパイロットの自由度が低下するばかりか、衝撃を受けた場合に危険な拘束帶となつてしまつたため、リニアシートが開発されてからはベルト式の固定装置は廃止されたが、それだけでは不十分だったため、この装置が採用されている。

シーツク・バルーン [Shock Balloon]

ニ MSのコクピット内に大きな衝撃が発生したとき

などに展張し、操縦者を保護する装置。通常の操縦時にベルト式の固定装置ではパイロットの自由度が低下するばかりか、衝撃を受けた場合に危険な拘束帶となつてしまつたため、リニアシートが開発されてからはベルト式の固定装置は廃止されたが、それだけでは不十分だったため、この装置が採用されている。

二

ユーディサイズ [New Decades]

ジヤミトフ・ハイマンとパートが開発されてからはベルト式の固定装置は廃止されたが、それだけでは不十分だったため、この装置が採用されている。

マス・ドライバー [Mass Driver]

一ゴとアナハイム社がティ

ターンズに対抗するため新型MSの開発を目的として発足させた計画。TMSのZガンダムを始めとして

様々な画期的な試作機や高性能機を作ることに成功した。

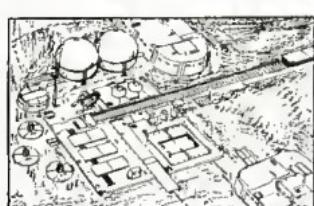
マス・ドライバー [Mass Driver]

リニアモーターの一種で、物資の運搬に使用される。

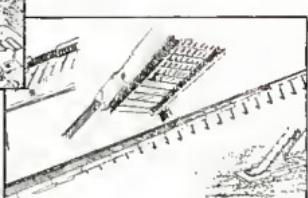
月や地球から軌道上まで物体を打ち上げる場合、ロケットなどでは多量の燃料を消費するが、要は物体を脱出速度まで加速すれば良いだけなので、それをプロペラントではなく、磁力によつておこなう施設。設備としてはかなり大規模なものになつてしまつが、燃料の費用を考えればかなり経済的である。

ヒノトーン・マウス社 [Hinton Mouse Co.] ゼロ気圧作業専用

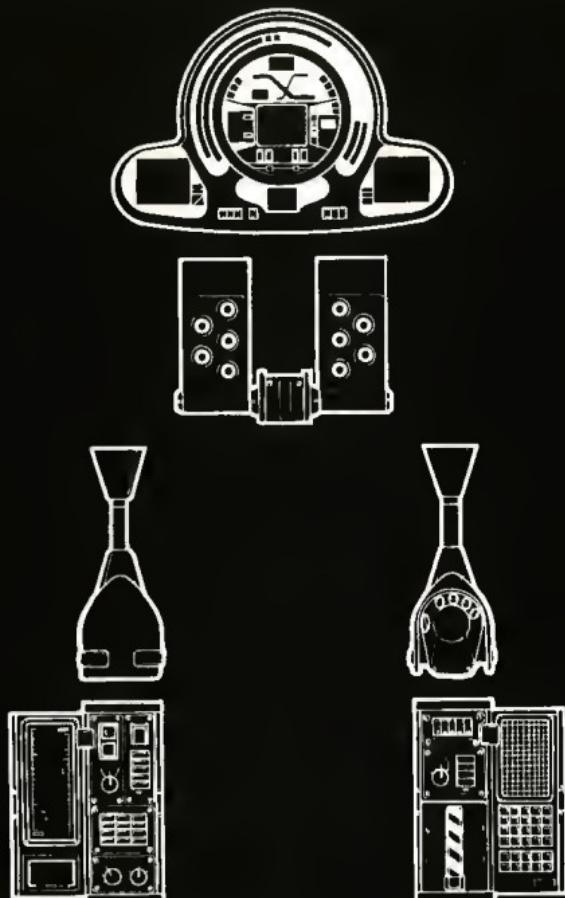
導部隊の一部青年将校が、訓練基地であつた小惑星ベズンで反乱を起こし、エウゴが主導権を握った地球連邦政府に対して反旗を翻しこの名前を標榜した。



フォン・ブラウン市のマス・ドライバー



の建設会社。主に、コロニーの下請けでコロニーの建設、修繕を行なう。開発部へはアナハイム社からスピンドルが流れてくる。旧ナティック調査開発研究所以から独立したもの。



モビルスーツ

MS操縦マニュアル

M.S. Pilot Manual

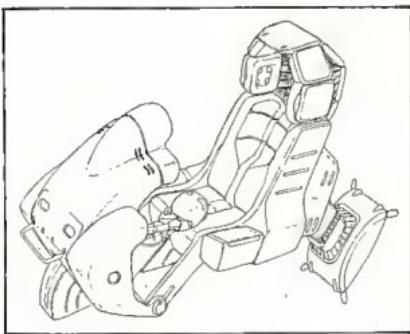
●MSが開発されてから10数年が過ぎた。各種の新技術が矢継ぎ早に開発され、コクピットは単なる操縦席ではなく、マン・マシーンのインターフェイスとなっている。最新MSの概要をお伝えしよう。

Illustration by Shingo Takeba

1. コンソール解説

UC80年代から採用された
リニアシートと全天周囲モニ

タリによってMSの操縦性は飛躍的に向上した。しかし、その技術が成熟するとともにシステム自体がもつ問題点も明らかになってきた。ベルトにより身体を固定する方式ではなく、発生する衝撃自体を吸収するリニアシートのコン



AMX-119ギラ・ドーガのコクピット

のとなつた。急激な衝撃の発生と同時にシート頭部からヘルメットが離れた場合、コントロール内へのバルーン収納は一秒～5秒前後である。さらに、コントロールステイツクのホ

セプトはMSコクピットの概念を一変させる画期的なものであつたが、MSの実際の運用上のデータによれば戦闘時の衝撃は一瞬にせよシートのみによる保護機能を上回るケースがかなりの頻度で起こっていることが明らかになつた。そのため、旧世紀に車両等で採用されていたショット・バルーンをリファインしコンソールに組み込んであり、パイ

操作の煩雜さはほほ解
消され、パイロットは戦闘、
あるいは作業に専念できるよ
うになつた。火器のトリガー
やマニピュレーターの操作、
機体の方位等は手首のボール
部分で行ない、スロットルや
制動等はアームの操作で行な

を採用している。これで、ステイックよりも少ないアクションで同等以上の操作が可能となつた。火器管制や、戦闘、巡航モードをあらかじめ設定しておけば、ほとんどの操作はサイドコンソールをもちいることなく、アームレイカーやステイックのみでおこなうこと

ールド性を向上させるためにアームレイカーを採用している。これで、ステイツクよりも少ないアクションで同等以上の操作が可能となつた。火器管制や、戦闘、巡航モードをあらかじめ設定しておけば、ほとんどの操作はサイドコントロールをもちいることなく、アームレイカー・ステイツクのみでおこなうことができる。これにより、操作の煩雜さはほぼ解消され、パイロットは戦闘あるいは作業に専念できるようになつた。火器のトリガーやマニピュレーターの操作機体の方位等は手首のボーネル部分で行ない、スロットル制動等はアームの操作で行

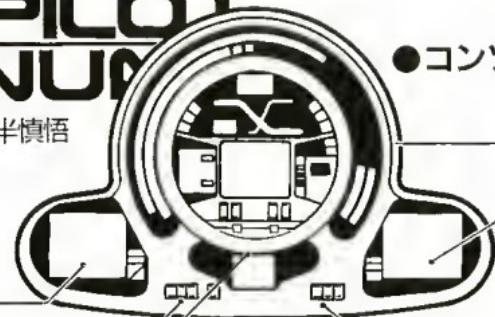
う。手前に引けば加速し、前方に押せば、逆噴射になる。



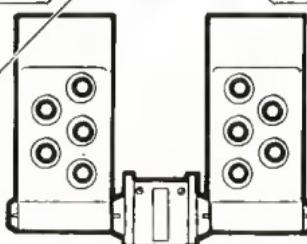
MS.PILOT MANUAL

イラスト／武半慎悟

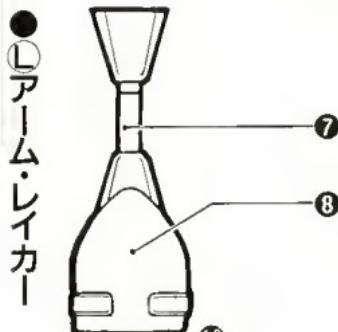
パネル&コンソール展開図



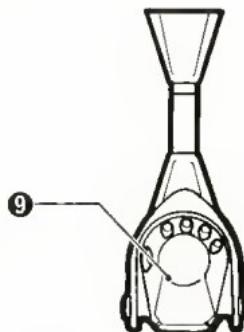
●コンソール



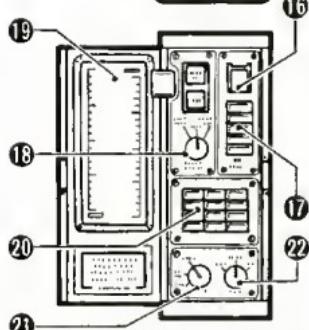
●フットペダル



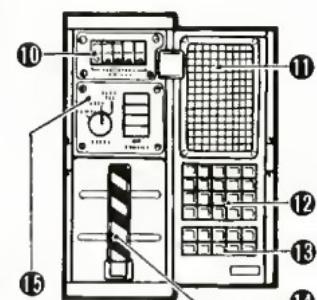
●Lアーム・レイカーラー



●Rアーム・レイカーラー



●サイドコンソール



●サイドコンソール

【コンソール各部名称】①メインマルチディスプレイ②通信用モニター③後方警戒モニター④ショック・バルーン⑤メインディスプレイモードセレクター⑥ディスプレイセレクター⑦コントロールスティック⑧レイカーカバー⑨アームレイカーラー⑩ジェネレーター駆動系コントローラー⑪予備パネル⑫インデックスサブコンソール⑬COMキ

一ボード⑭エマージェンシースティック⑮コクピットコントロール系スイッチ⑯ディスプレイ起動スイッチ⑰外部モニターモードセレクター⑱火器管制スイッチ⑲サブディスプレイ／機体モニター⑳通信コントロールパネル⑪駆動、燃料系モードセレクター⑫センサー／モードセレクター

2. 接近戦闘シーケンス

90年代のMSの操縦に、80年代のものとそう大きな差異はない。例えば、開発当初の自動車は車種ごとに運転方式が異なったが、普及するにしたがって徐々に統一されていったのと同じようなものだ。それでも、付加機能やコンソールのハウジングは機種ごとに違っているので注意が必要だ。しかし、操縦方法自体に大きな変化はないのでそれはどう気にすることはない。この項目では、おもに画面表示の概要と、対艦戦を除いたショートレンジにおける戦闘シーケンスについての説明をする。

このAMS-1119 ギラ・ドーガは、再興したネオ・ジオンの主力量産型MSだ。非常にバランスがよい機体で、

新兵からベテランまで、その技術に応じられ、まるにパイロットの手足となる。戦闘において特に真価を發揮する。MSは開発当初のコンセプト自体が、ミノフスキーライ粒子散布下における有視界戦闘を想定したものであつたので、この機体はMSの開発理念にもつとも忠実につくられたものであるといえる。そのためこの機体は、中・近距離に主眼を置いた武装がほどこされている。

グレネイドは、シールド上にマウントされたランチャーから射出される。モニター上のレティクルの表示に合わせ、トリガーを押す。



MS.PILOT MANUAL

スツルム・ファウストは、グレネイドを上回る破壊力を持っている。直撃をくらえば、ほとんどのM Sは無事では済まない。



しても威力は絶大で、連射で命中させられればほぼ確実に粉砕することができる。

敵の接近を許してしまったら、銃およびシールドに装備されたグレネイド・ランチャード、またはスツルム・ファウストを使用する。どちらも薬による推力のみで射出されるだけなので、ある程度接近してから射つたほうが効果的であり、与える損傷も大きい。無論、その爆発に巻き込まれないよう、回避、防御行動をとることを忘れてはならない。どちらの場合も、サイドコンソール火器盤管制セレクターによって、戦闘の方針を設定していれば、パイロットの判断を必要としない部分はコンピューターが対応してくれる。どちらの戦闘でも、実際の目

で、発見時点でロックオンを完了していれば、敵機が戦闘不能に陥るまではコンピューターが追尾し続ける。ただし、状況によっては（例えば複数の援護が戦闘域内に侵入してきた場合など）モニター内に優先順位まで表示されるので、常に自機の状態を把握しておかなければならない。現在の戦闘を続けながら、参入していく敵機の走査データを検討する必要があるからだ。僚機が同じ領域にいる場合、援護が期待できるかどうかも重要な要素だ。追撃するかキャンセルするかは、パイロットの判断だが、自機の状態によってはコンピューターが中断か戦闘続行かを指示することもある。外から見なければ判らない損傷もある。即座に判断せよ。

3. 白兵戦闘シーケンス

白兵戦闘は、すべての戦闘

行動のうちで、

最もパイロッ

トの技能が問

われるものだ。

今まで説明

してきた戦闘

行動は初步の

技術のうちに

交通事故を起

こさずに自動

車を運転でき

ると言ふ程度

のものだ。こ

れから説明す

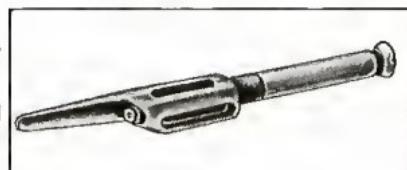
る白兵戦闘

ビームピックでジエガンの頭部を粉砕するギラ・ドーガ。敵がビームライフルで武装していても、僕に入りこめばこちらが有利になる。

は、まさにレースに参加するような心構えが必要になつてくる。しかもこのレースは、MSのパイロットなら、いつか必ず、しかも否応なく参加させられてしまう闘いであるということを覚えていて欲しい。

この闘いで重要なことは、必ず機先を制することだ。白兵戦闘で使用されている武装は有効半径が狭い分だけ威力が凄まじく、装甲に特別な装備や処理（いわゆるIFI-ルド等）をほどこしていいのかぎり、致命的な損傷をこうむることになる。遅れをとるということは絶対に避けなければならぬ事態だ。

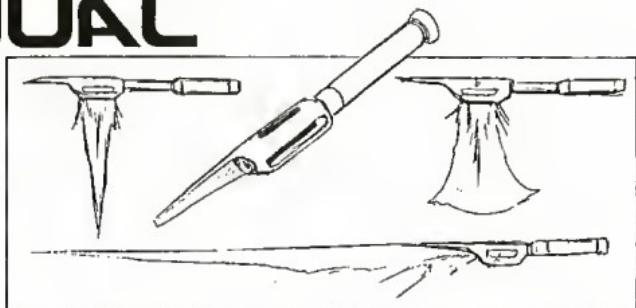
腕一本であつても、ビームサーベルのひと振りで全てが決まってしまう。戦闘空域が混戦状態のときは、敵機とのニアミスは日常茶飯事である。ニアミスだけならまだいいが、そのときに相手がビームサーベルを構えていたら、次の瞬間、機体はすでに真っ二つになつている。相手が白兵装備をしているかどうかは以前までコンピューターが判断してくれたものだが、近年のビーム兵器は、作動状況を



3種類のビーム刃を形成するビームソードアッカス。白兵戦闘時の使い勝手を考慮してある。

MS.PILOT MANUAL

ビームソードアックスのビーム刃の形状パターン。ソード(剣)アックス(オノ)ピック(ソルハシ)の3種類がある。ピックの時はレーザートーチとして使用可能。



間欠的に調整できるようになつており、走査しにくくなっている。ビーム兵器の有効線に物体があるときだけビームを発生させることができるもの機構が開発されたからだ。しかし、実際の戦闘になれば、その判断は瞬時にしなければならない。だがこのAMS-119であれば、充実した白兵能力を持っているので極端に不安を持つこともない。白兵戦闘になつたとしても、腕部からビームサーベルユニットまでの長さと、敵機までの距離や行動予測によって、最適な接触時点を算出したコンピューターが、敵機のウインクポイントとタイミングをレティカルとその他の表示で指示してくれる。とりわけ、この機体に標準装備の白兵戦闘用ビーム兵器ユニットは、ソ

ード、アックス、ピックと、3種類のビーム刃を形成できるため、状況に応じた選択ができる。すべて自動というわけにはいかないが、ビームソードアックスがどのビーム刃を展開すればベストであるかもコンピューターが判断してくれる。しかし、それはあくまでパイロットの判断と操作が確実でなければ効を奏さないことはいうまでもない。

ビームサーベル同士の戦いであれば、討ちあつた瞬間に、互いのレーザー発振器が作りだす超強磁界同士の反発作用により、それ以上押すことができなくなる。ここで引くタイミングを誤ることがあってはならない。いつまでも押し合つたままだと、ビームサーベルのユニットどころか機体

を来たす恐れがある。離れるタイミングをつかめない時は、他の四肢を使って相手との距離を取り直すことができる。簡単にいえば、ケリをかませばよい。だが、特に宇宙の無重力空間でのMSの四肢は、AMBACシステムのユニットとしても機能しているので注意しなければならない。追撃するときと離脱するときは、とらなければならない操作が異なるからだ。追撃時は腕を振り下ろした反対のベクトルで、離脱するときは慣性に従つて極力ロスタイルを少なくする。

敵の戦力を奪つたならば、爆発の可能性もあるので即座に離脱する。対応が遅れると、巻きこまれてしまふことがあるからだ。

4. 戰域離脱シーケンス

マニピュレーターの甲から射出されるバルーン・ダミー。
敵機の目前で展開させ、視野を奪う手もある。



武装を消耗し、MS本体のみの戦闘におちいった場合、マニピュレーターをダメにする覚悟があるなら、両腕を使用して直接、敵機に打撃を与える手段もある。動力パイプやモニター、カメラなどを破壊する戦法も効果的だ。

自機が損傷し、脱出ボッドを作動させるまでの間ではないにせよ戦闘不能となつた場合、あるいは敵の援軍が接近してきた場合、相手との戦力差が認められた場合は、即座にその戦闘空域から離脱する方が賢明である。緊急用のCM-Pが残っているうちに、戦闘モードになつていてるディスプレイのオーダーを切り替え、最も確実な転進路を検索、設定する。当然、その間に相手の攻撃の回避行動をとりながら、離脱コースを確定して

も、敵機に後ろを見せれば狙い撃ちにされてしまうため、80年代以降のMSは、非常に有効な欺瞞装置を持つている。マニピュレーターから射出されるバルーン・ダミーがそれで、チャフ効果と錯視作用があり、敵のセンサーやコンピューターおよびパイラットを攪乱することができる。

以上、簡単ではあるが、中距離の戦闘を紹介した。MSの運用全般について疑問があれば、既刊を参照されたい。



グリップ部分にはダミー、信号弾、トリモチ弾等が装備されている。



モビルスーツ

MS設定資料集

M.S. Design collection

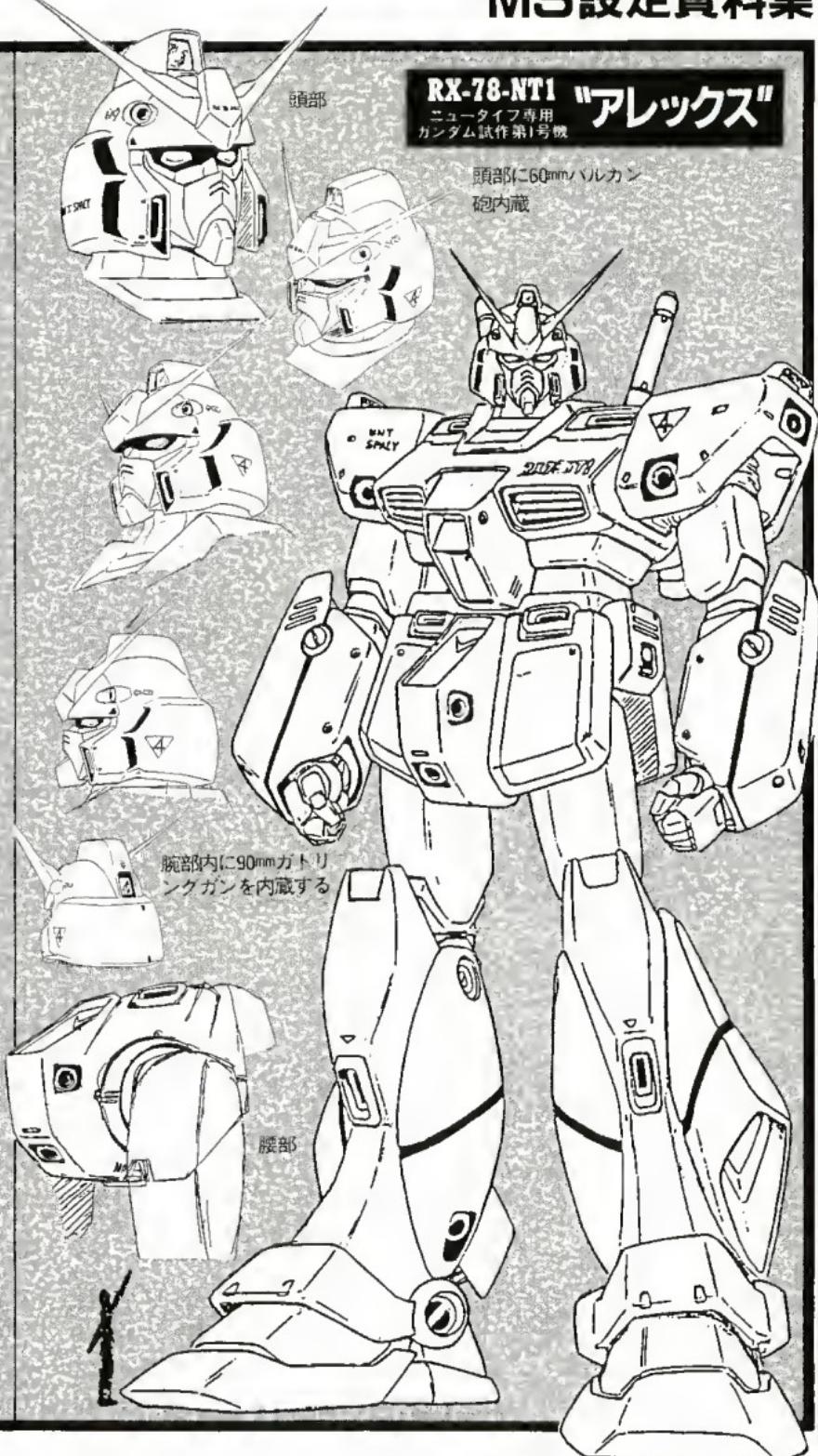
●「機動戦士ガンダム0080～ポケットの中の戦争～」「ガンダム・センチネル」「ダブル・フェイク」「機動戦士ガンダム 逆襲のシャア」「CCA（逆襲のシャア）MSV」に登場するMS、M Aのデザイン画を解説付きで紹介する。

「ガンダム・センチネル」は、月刊モデル・グラフィックス誌上に掲載されたもの。「ダブルフェイク」はM J誌上に'88.7～'89.4に連載されたサイドストーリーです。「～ポケットの中の戦争～」は、大図鑑にて収録できなかったMSを掲載しています。

RX-78-NT1 "アレックス"

ニュータイプ専用
ガンダム試作第1号機

頭部に60mmバルカン
砲内蔵



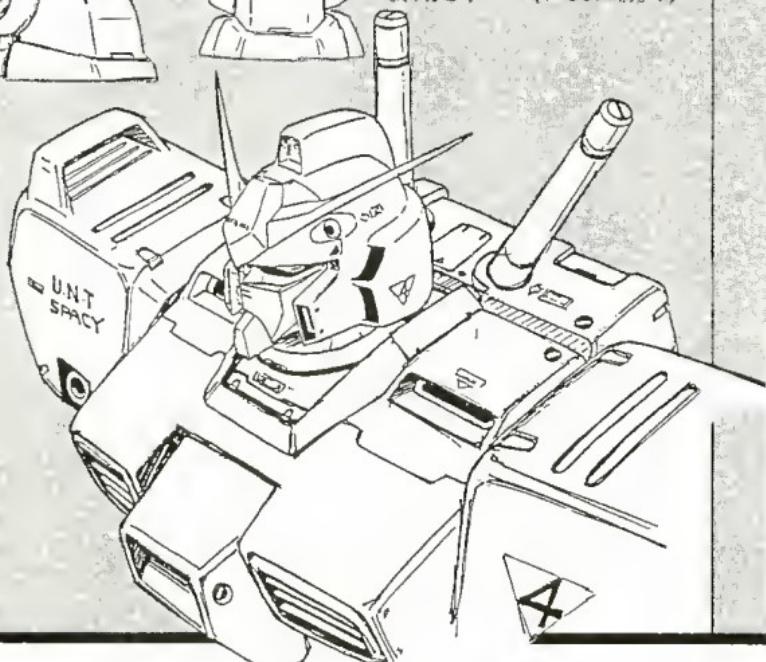
ガンダムNT1 "アレックス"

ガンダムNT1アレックス



RX-78NT1は、一年戦争時に連邦軍が開発した4機目の“ガンダム”である。N-Tとうわざされていたホワイトベース部隊のアムロ・レイ少尉専用機として再設計された機体であることから、NT1という型式番号が与えられた。とはいっても公国軍のサイココミュニケーターのような技術ではなく、後世のNT専用機とは異なる。

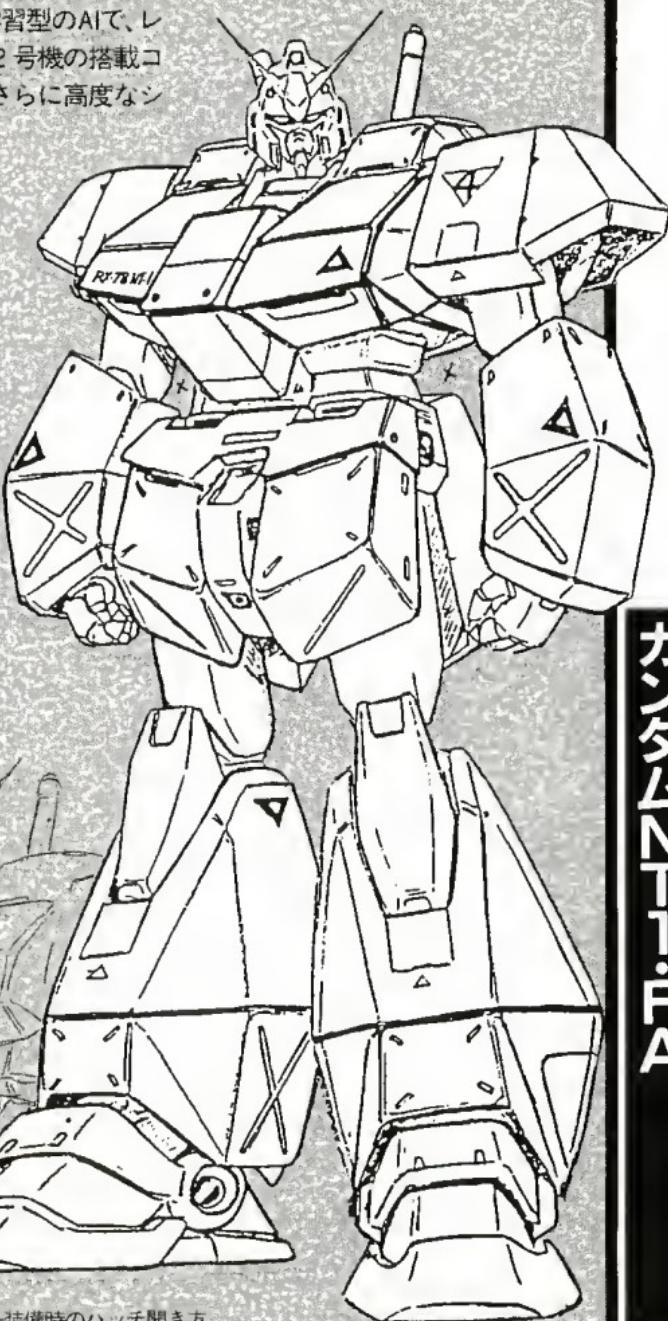
NT1の特徴は、第一に機体の追従性が非常に高いことで、最新のマグネットコーティング（駆動系の摩擦抵抗を軽減する磁気被膜処理）技術、アポジモーターの増設及び推力向上、それに加え、全周囲モニターを採用し、（P86に続く）



(前ページから) さらにそれらを統括する高速大容量コンピュータを搭載していた。このコンピュータは、やはり自己学習型のAIで、レイ少尉が使用する2号機の搭載コンピュータより、さらに高度なシステムである。

また、NT1はかねてより計画が進められていたフルアーマー・オペレーションによりチョバムアーマー(複合装甲=ハイブリッドアーマーと一般的に呼ばれる)製の増加装甲が試作された。これによって全備重量は95tにはね上がり、運動性は極度に低下した。

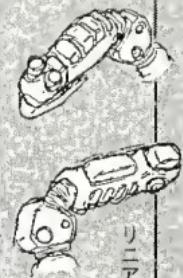
RX-78-NT1-FA ガンダムNT1・FA



チョバムアーマー装備時のハッチ開き方

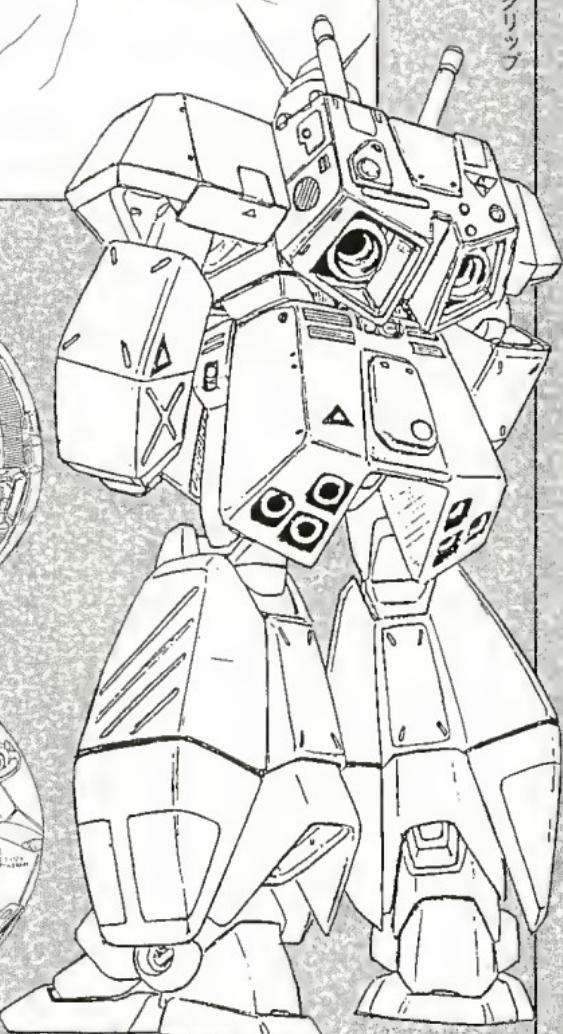
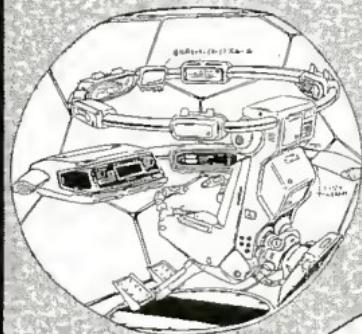
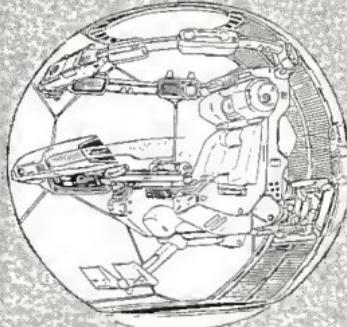
ガンダムNT1・FA

コクピットハッチオープンパターン



リニアシートクリップ

アレックス試作リニアシート

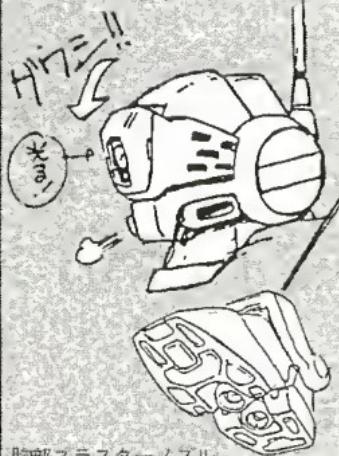


RGM-79SP ジム・スナイパーII

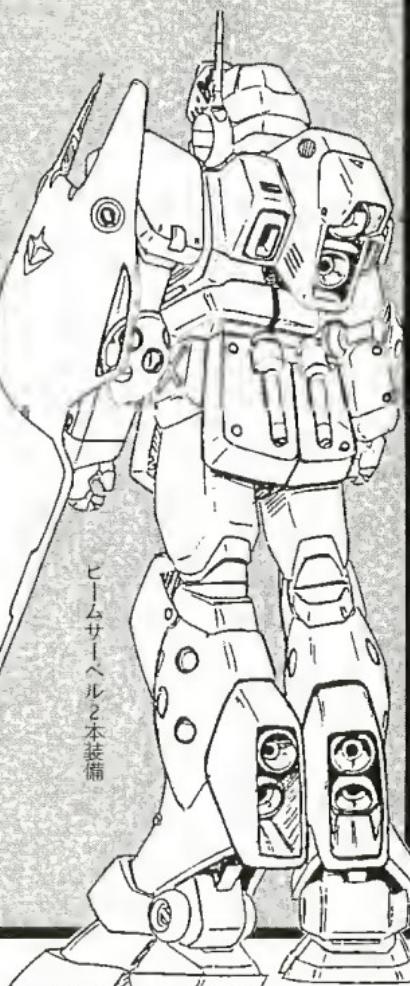
廉価版MSの代表格といわれるジム・シリーズだが、少數ながらも高性能バージョンが存在する。それがSP型である。推力を増強させ、部分的に装甲の強化も行っている。バックパックの形状もののMSA-003ネモに近い。頭部のバイザーには射撃用レーザーセンサーと電子光学式高倍率カメラが装備されており、遠距離狙撃の際に使用する。

ジム・スナイパーII

メインカメラ用シールド



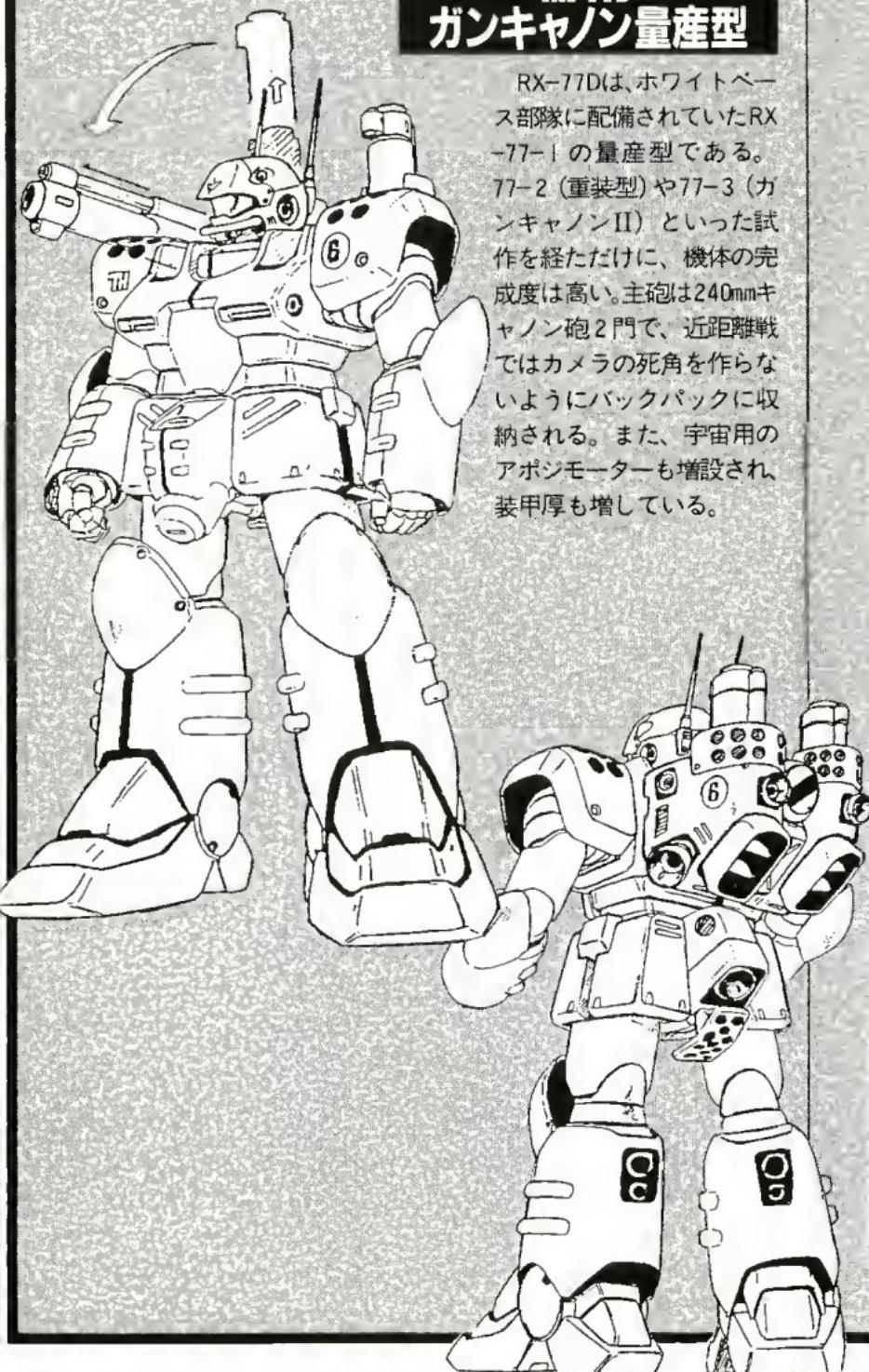
胸部スラスター／ズル



ヒームサーべル2本装備

RX-77D ガンキャノン量産型

RX-77Dは、ホワイトペース部隊に配備されていたRX-77-1の量産型である。77-2(重装型)や77-3(ガンキャノンII)といった試作を経ただけに、機体の完成度は高い。主砲は240mmキャノン砲2門で、近距離戦ではカメラの死角を作らないようにバックパックに収納される。また、宇宙用のアポジモーターも増設され、装甲厚も増している。



MS-18E

ケンプファー



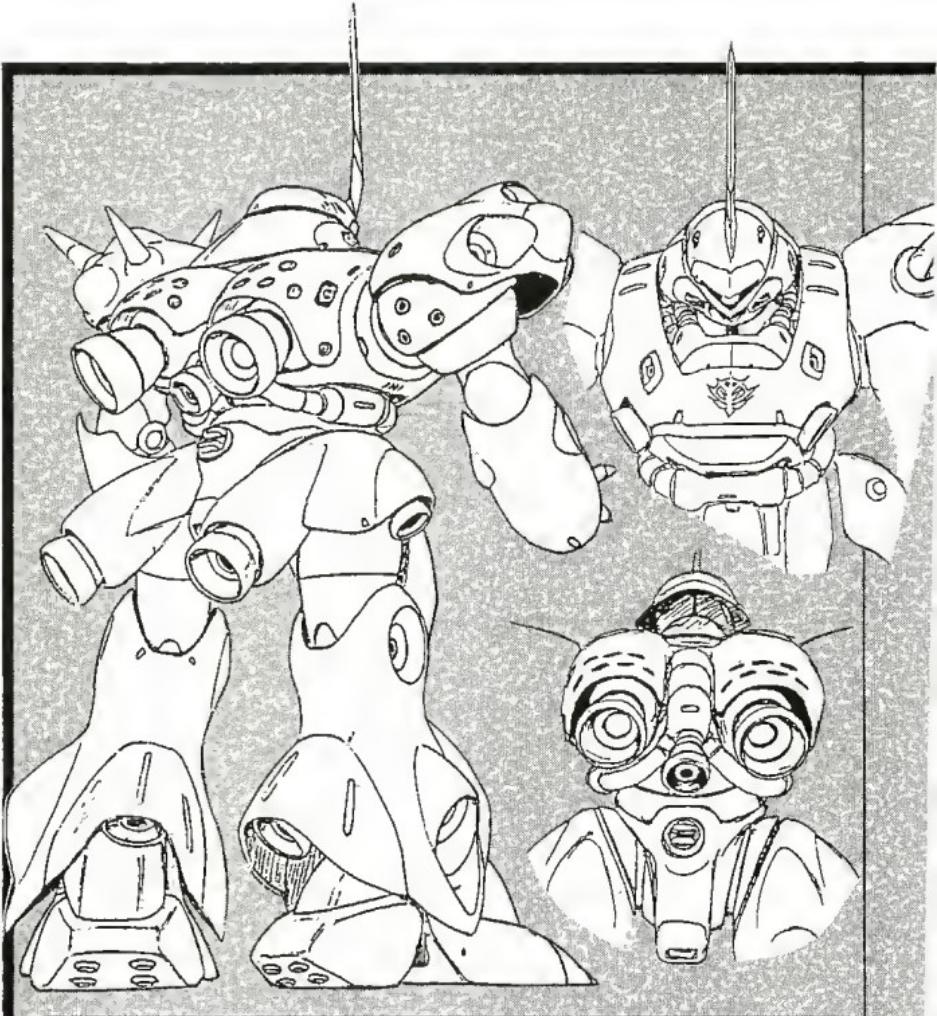
MS-18Eは、公国軍の最終モビルスーツである。(むろんMSN-02ジオングを除いた場合だ) 機体名称のケンプファーは、独語で「騎士」という意味があり、これまでの汎用機とは違った作戦目的のために開発された機体だ。

MS-18Eは、今日強襲用と分類される特殊機で、姿勢制御用のアボシモーターと共に大推力のスラスターを全身に配置している。そのおかげで、従来のモビルスーツ

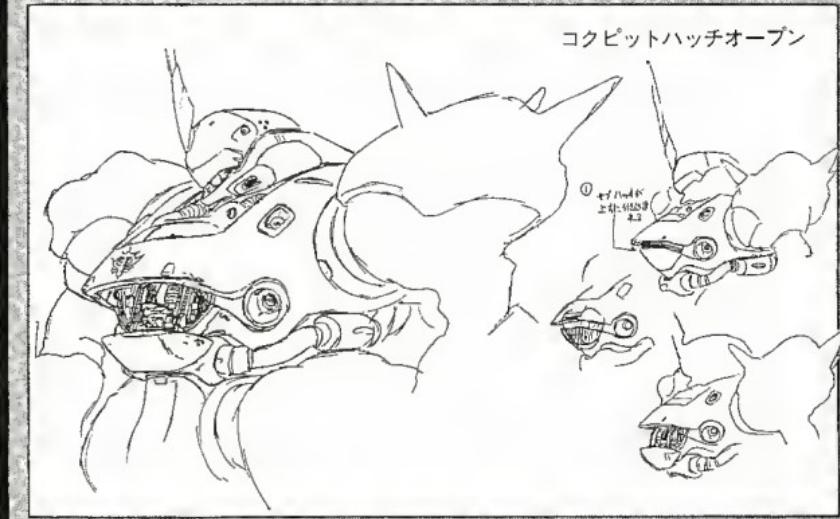
からは想像もできないような、高運動性が実現された。ただし、熱核ロケットエンジンを使用しているものの推進剤の消費量は激しく、戦闘持続時間は短い。強襲用といわれるのは、そのためで、全身に装備した火器(シェネレータの出力が下がり、推進力を低下させるため、ビーム兵器は少ない)を撃ちまくり、即座に戦場から離れる一撃離脱戦法を得意とする。

→ (P 93に続く)

ケンプファー



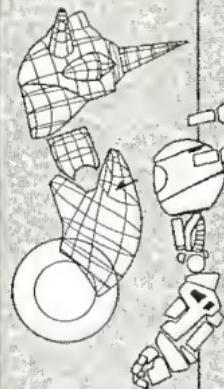
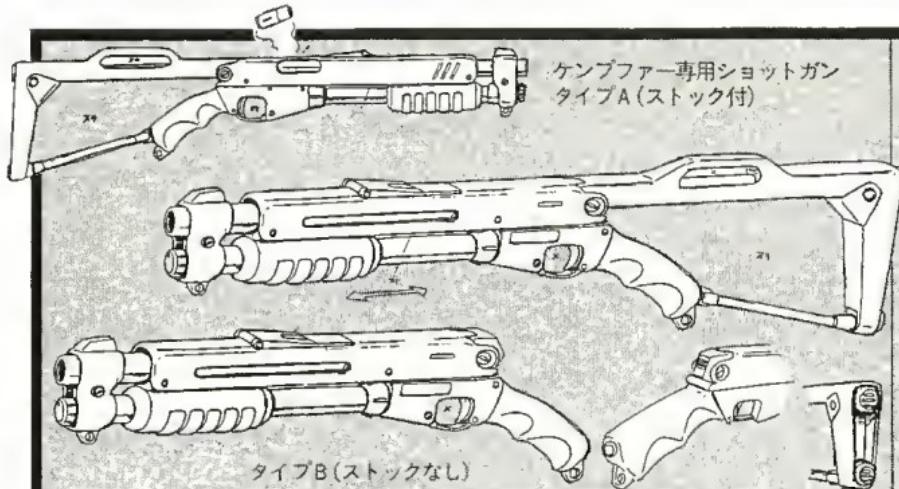
ケンプフラー



MS-18E ケンプファー(フル武装状態)



ケンプファー(フル武装状態)



(P.90より続き) したがって火器も予備マガジンなどは携帯せず、弾が切れたら銃もデッドウェイトにならないように捨ててしまう。武器を機体に固定するラッチも使用時に外れて捨てるというように徹底されている。

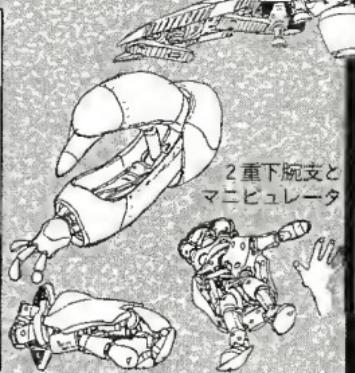
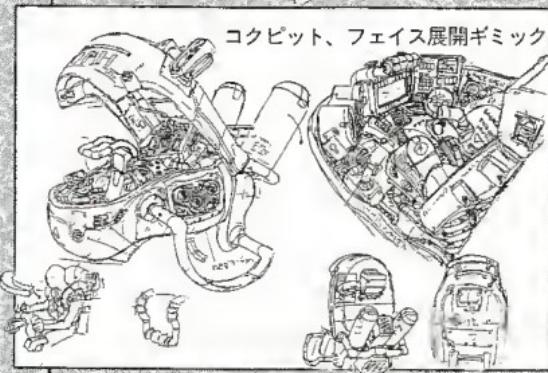
MS-18Eは、極めて優れた機体であったが、特殊性がわざわいし、

脚光を浴びなかった機体である。(試作機が破壊されたことと、すぐに終戦を迎えたせいで、存在そのものか一部にしか知られていない) だが、0093年にNZ-333α・アジールの登場により、再び、強襲用モビルスーツを見直す風潮が起きている。

RH-35E リア35 ドラケンE

連邦軍サイド6駐留部隊、通称“リア軍”が保有していたミドル・モビルスーツ。ポストマンという愛称がある。マニピュレータは2重下腕支で、限界まで小型化したビームサーベルを持つことができる。(直徑122センチメートルのものまでつかめる)

リア35 ドラケンE



スペリオール MSA-0011
Sガンダム

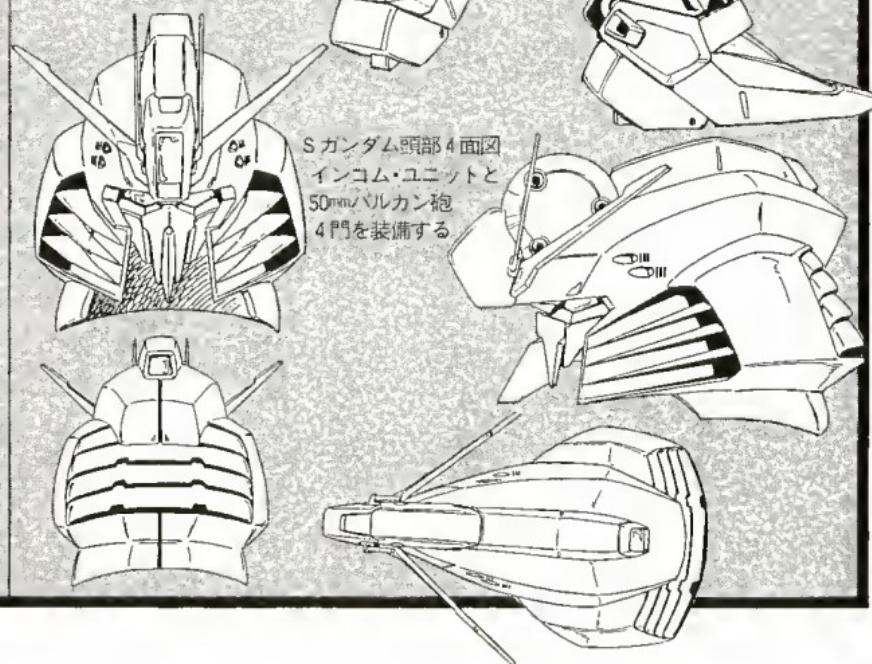
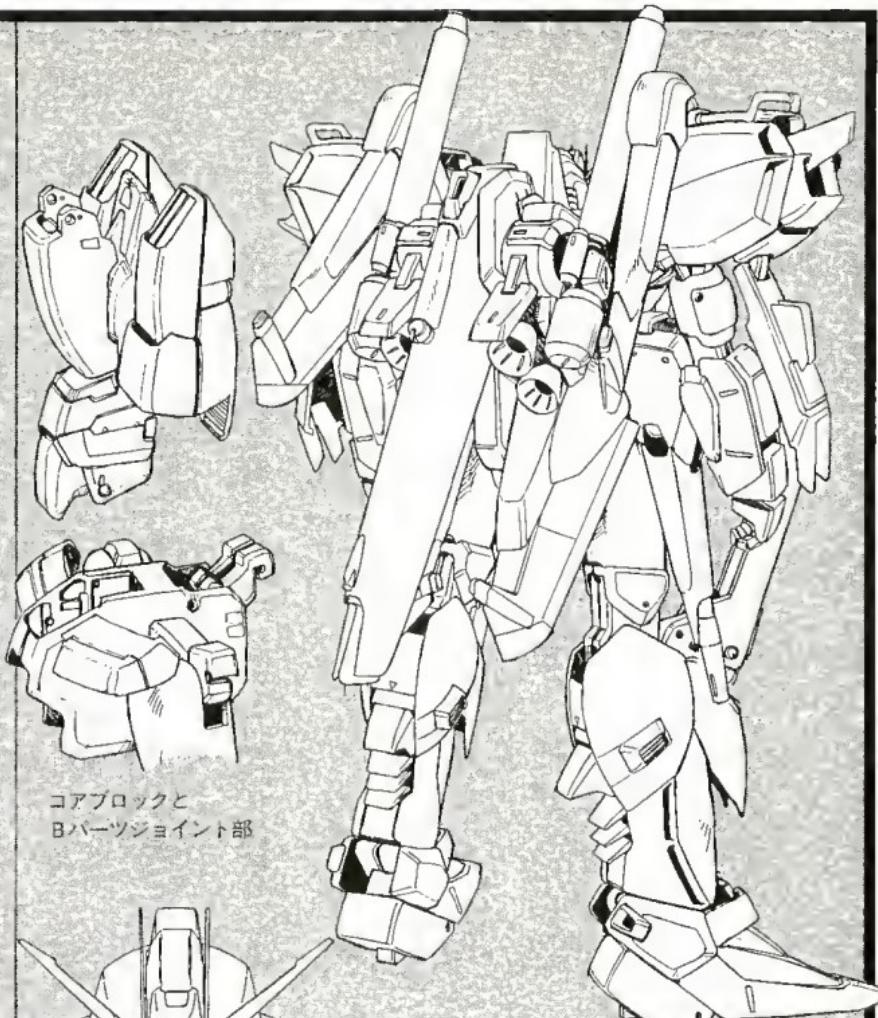


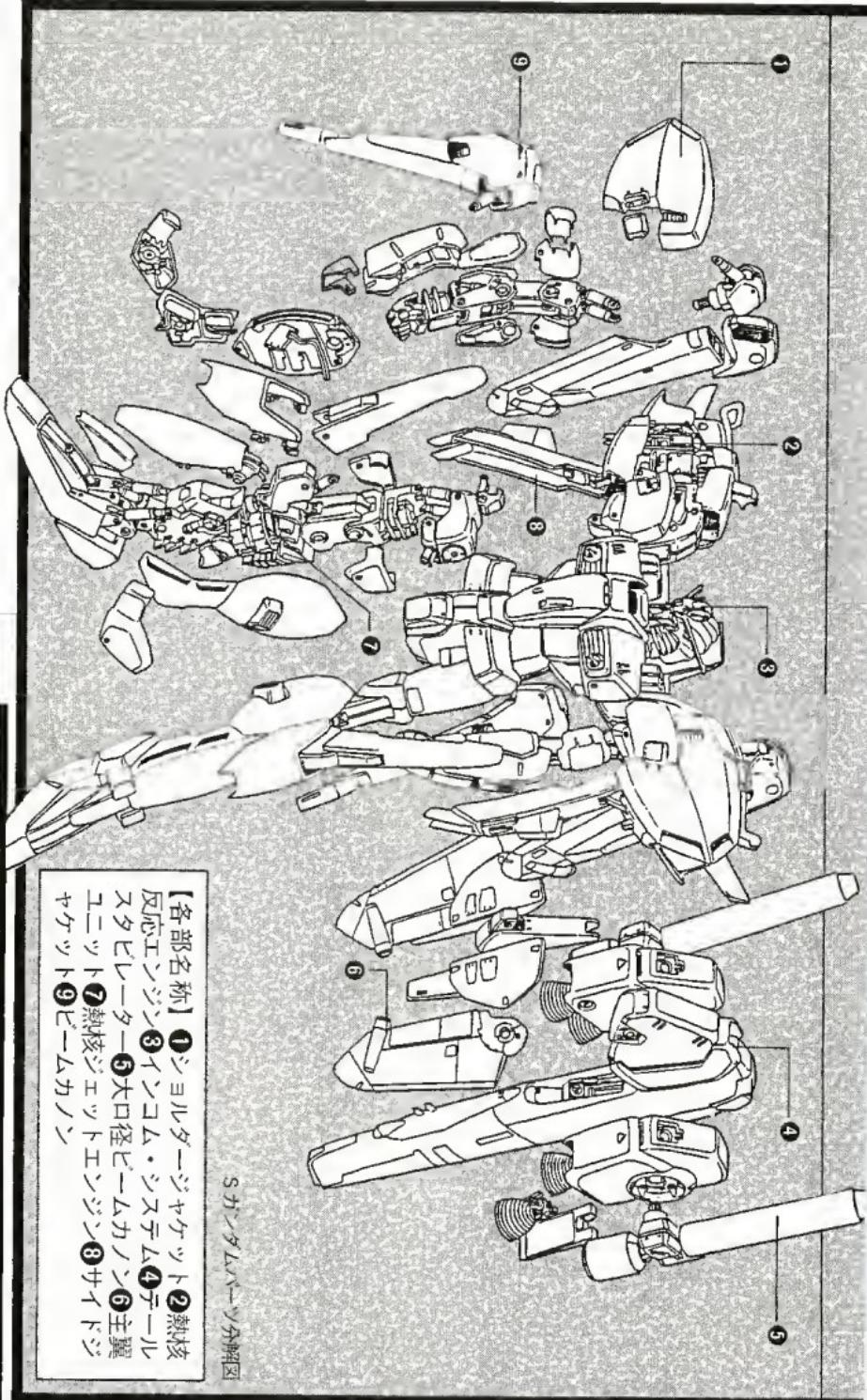
Sガンダム

MSA-0011は、アナハイム社が開発した6番目のガンダムであり、"I"というコードネームが与えられていた。機体はいうまでもなくMSZ-010ZZガンダムを再設計

し、さらに強化改良を加えたものである。

Sガンダム

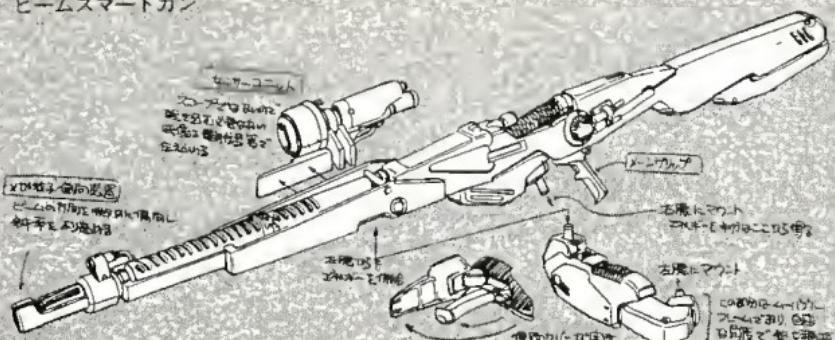




【各部名称】①ショルダージャケット②熱核
反応エンジン③インコム・システム④テール
スタビライター⑤大口径ビームカノン⑥主翼
ユニット⑦熱核ジェットエンジン⑧サイドジ
ヤケット⑨ビームカノン

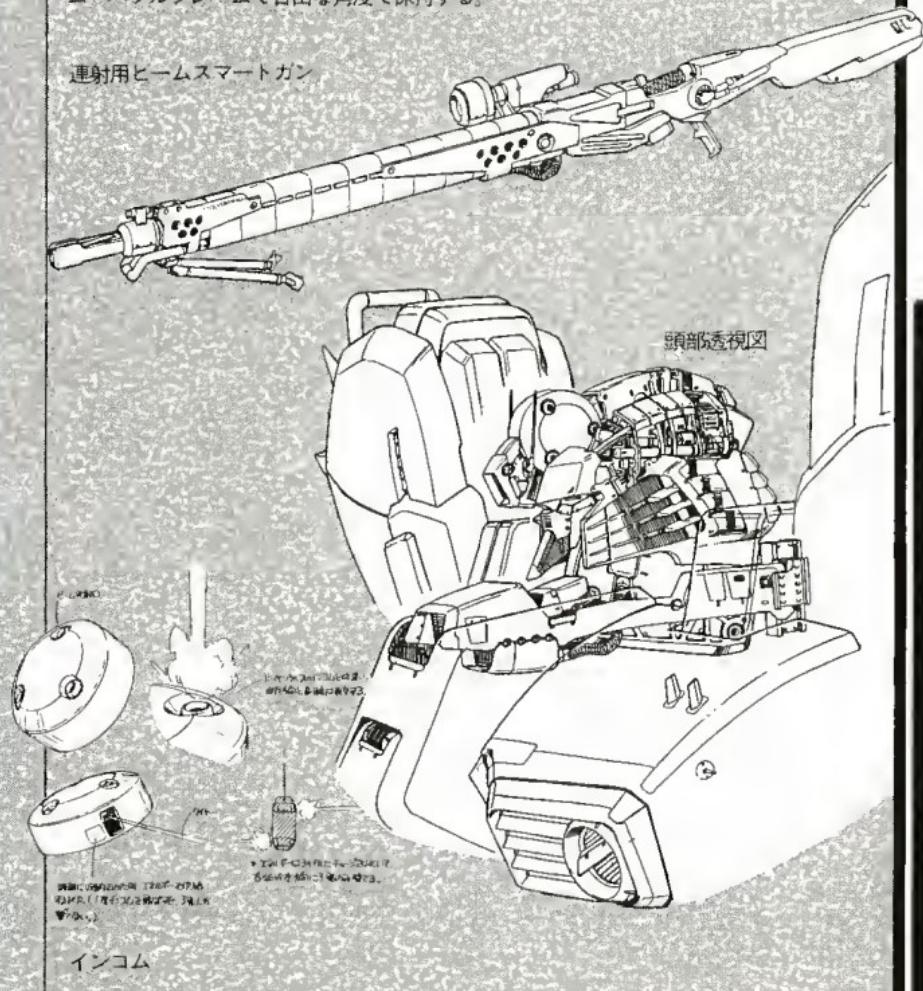
SGガンダムハーベン分解図

ビームスマートガン



Sガンダムの腰ハーツにマウントする、
ムーバブルフレームで自由な角度で保持する

連射用ヒームスマートガン

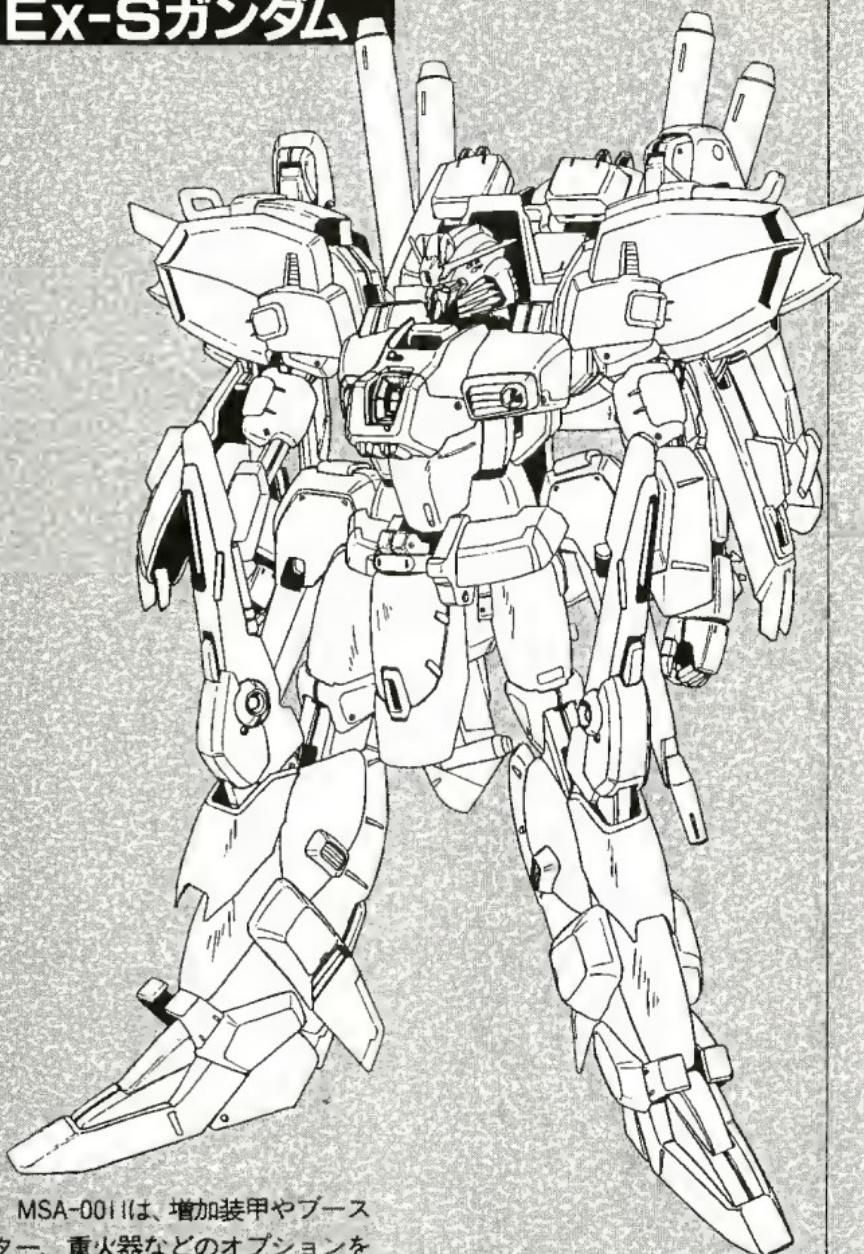


イニコム

Sガンダム

EX-Sガンダム

イクシス MSA-0011EX Ex-Sガンダム

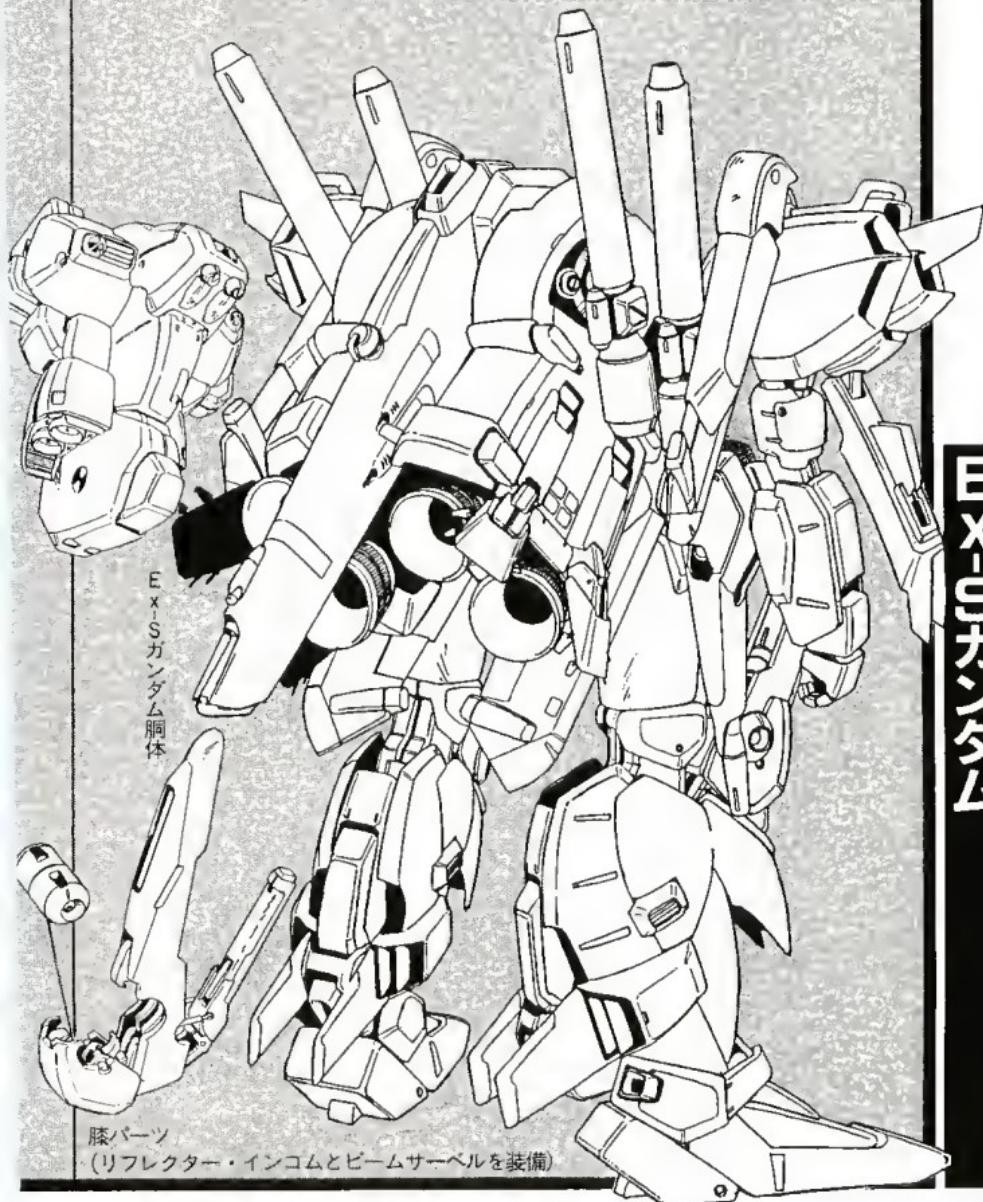


MSA-0011は、増加装甲やブースター、重火器などのオプションを最初から機体設計に組み込んでいた。そのため、追加装備した場合でもそのバランスが崩れることはない。Ex-Sはノーマルに1フィー

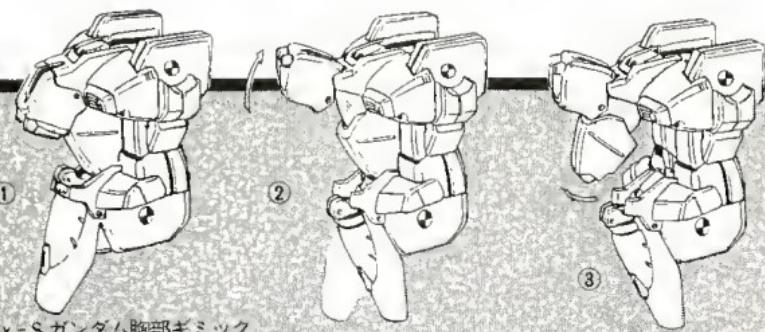
ルド発生器、リフレクターインコム、強化型ブースターパックなどを加えた重装型である。

胸部パーツに内蔵されたIフィールドシェネレータは、コクピット周辺にビーム偏向フィールドを形成し、パイロット保護を果たす。また、膝パーツにはリフレクターインコムとビームサーベルが装備されている。リフレクターインコ

ムはやはりIフィールド発生器が内蔵され、自機が撃ったビームの射線を反射させる。敵にとっては思いかけぬ方向からビームが向かってくるわけである。だが、防御用には使えない。



EX-S ガンダム

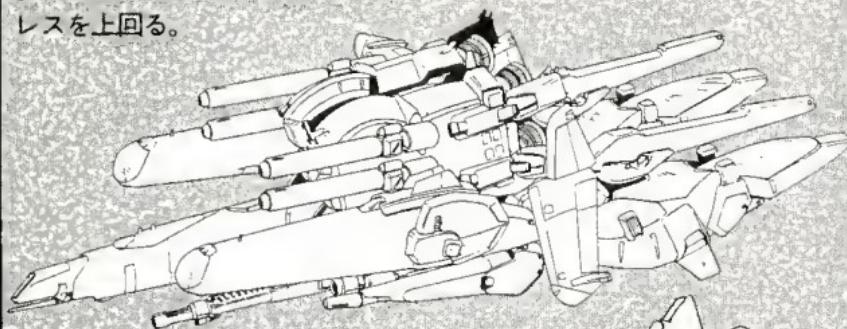


Ex-S ガンダム 胸部ギミック

イクスイス

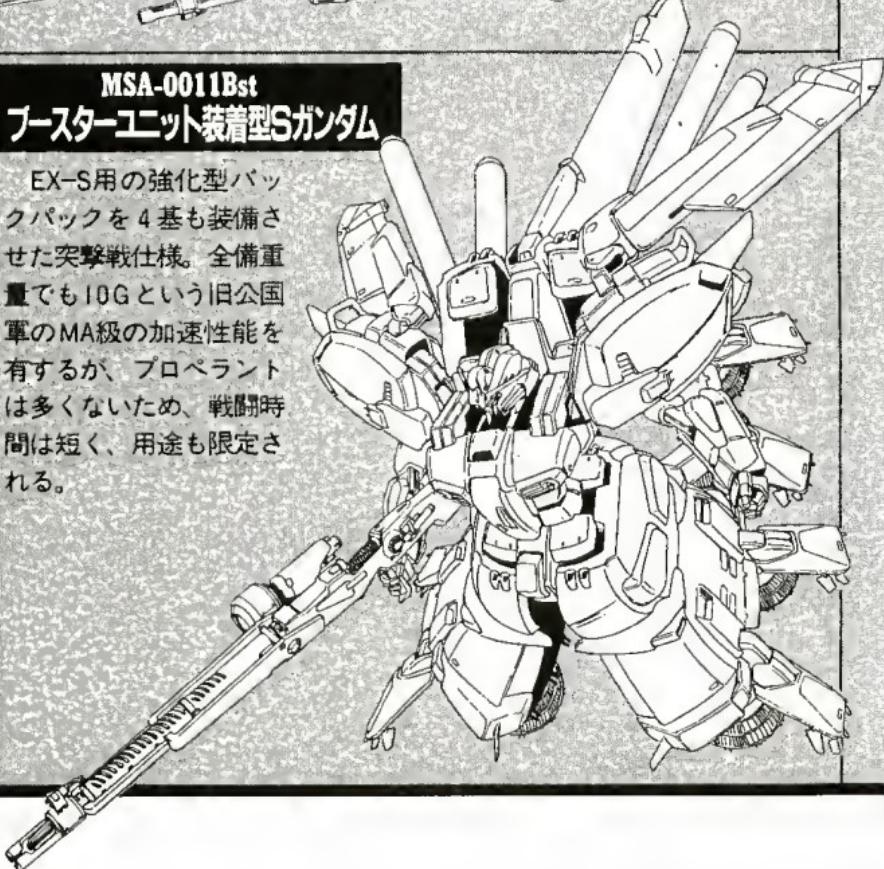
ノーマル、EX-Sは共にGクラー
ザー形態への変形が可能である。
多くの面でMSZ-010のGフォート
レスを上回る。

Ex-S ガンダム Gクラーザーモード



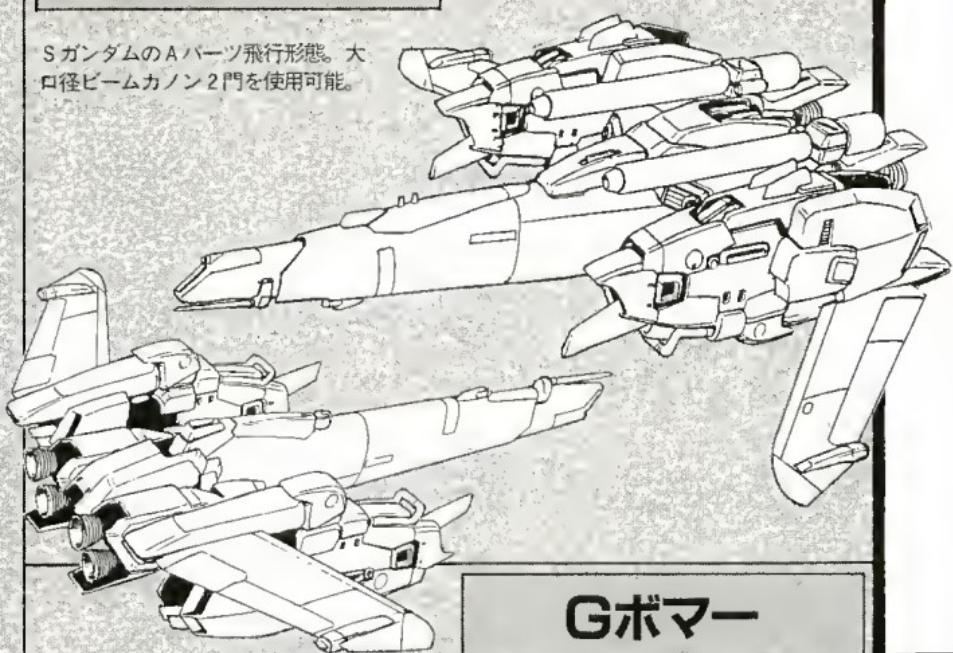
MSA-0011Bst ブースターユニット装着型Sガンダム

Ex-S用の強化型バッ
クパックを4基も装備さ
せた突撃戦仕様。全備重
量でも10Gという旧公国
軍のMA級の加速性能を
有するが、プロペラント
は多くないため、戦闘時
間は短く、用途も限定さ
れる。



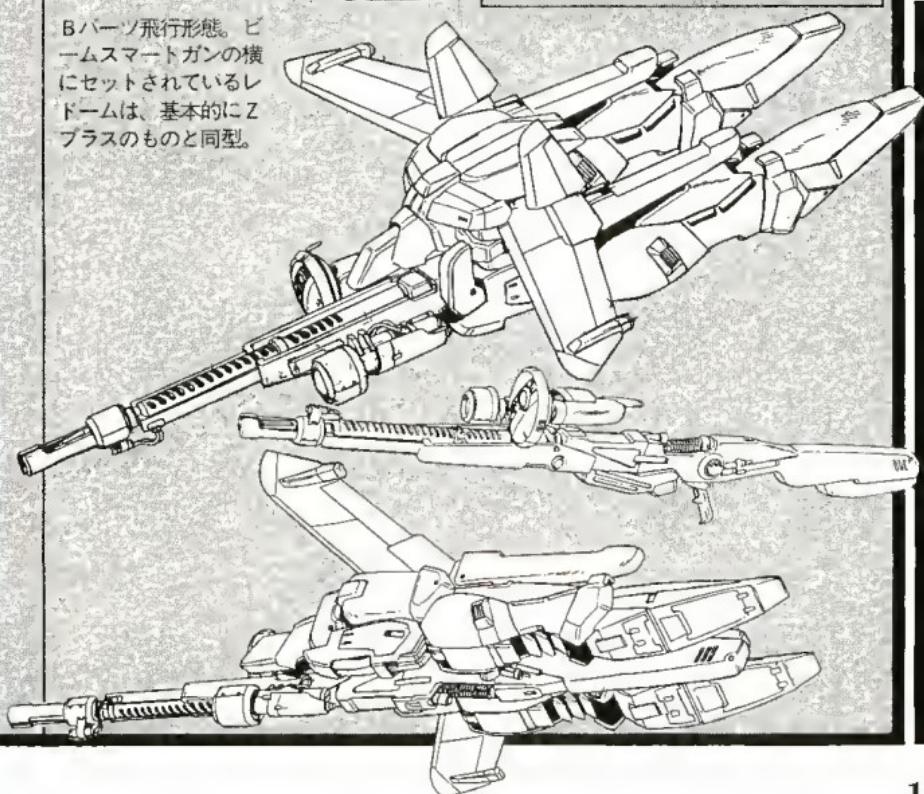
Gアッカーハー

S ガンダムの A パーツ 飛行形態。大口径ビームカノン 2 門を使用可能。



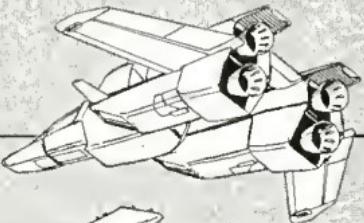
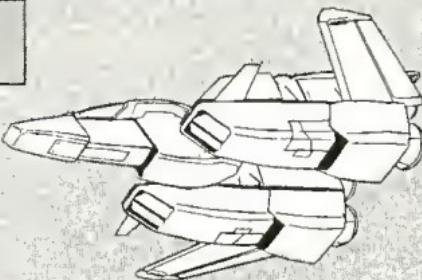
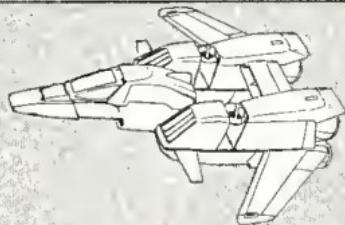
Gボマー

B パーツ 飛行形態。ビームスマートガンの横にセットされているレドームは、基本的に Z プラスのものと同型。



Gアッカーハー／Gボマー

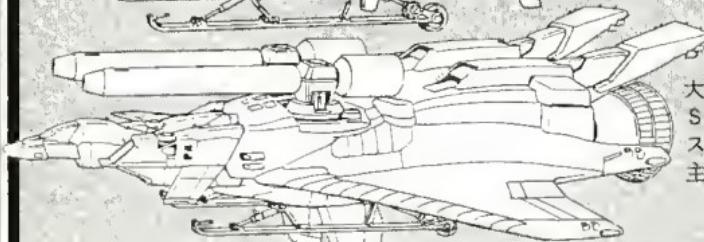
**FXA-08GB
Gコア**



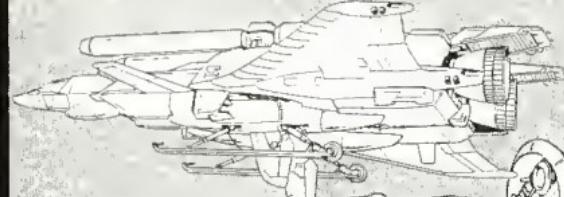
**FXA-08GB-Bst
コア・ブースター**



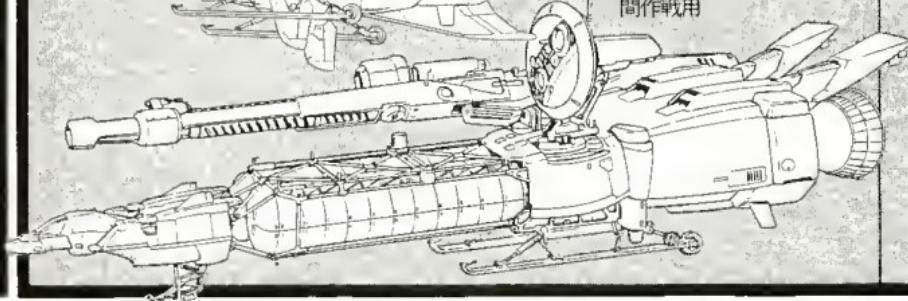
大気圏外にその使用を限定し、主翼を取り外したタイプ。スラスターを数ヶ所増設している。



大気圏内外両用型。
Sガンダム用ブースターユニットに主翼を付けている。



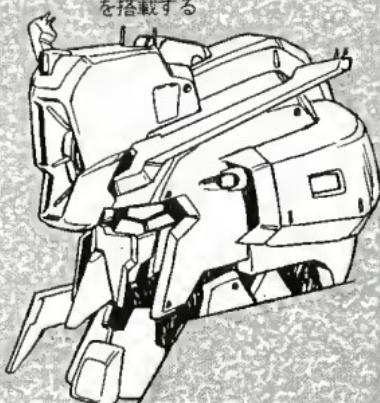
アダプターユニットのタンクを延ばし、プロペラント容積を増したタイプ。長時間作戦用



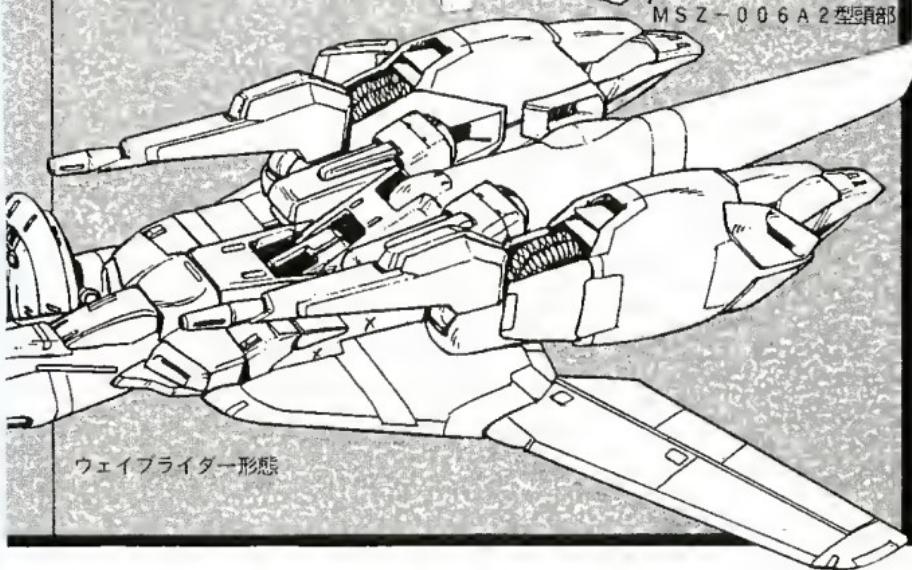
MSZ-006CI Ζプラス (C型)

試作型であったMSZ-006を量産機として再設計した機体である。まず、大気圏内専用機としてA1型が作られ、ついで宇宙用のCI型が再々設計された。CI型でも大気圏再突入が可能だ。ウェイブライダー形態では、ビームスマートガンを機体底部にマウントする。また、大腿部のビームカノンは変形時にも使用できる。

頭部にメガ・カノン
を搭載する



MSZ-006 A2型頭部



ウェイブライダー形態

Ζ.
プラス

標準型サブ・ユニット

Zプラス

MSZ-006AI Zプラス (A型)

大気圏内専用機であるAI型は、その用途を限定したこと、試作機(Zガンダム)以上の飛行性能とハイ・コストパフォーマンスを実現した機体である。なお、A2型は額にメガ・カノンを装備した派生型である。



FA-010-B
FAZZ (ファツツ)



バックパック及びハイパー・メガカノン

“FAZZ”とはフルアーマーZZガンダムの略称で、これは第1次ネオ・ジオン抗争において限定的に投用されたものの先行試作機にあたる。完成機と違い、頭部と腹部のメカ砲がダミーで対ビームコーティングが施されていない。また、バックパックに装着されたハイパー・メガ・キャノンは現行のMSが携行できる武器として最大の火力を誇る。

FAZZ (ファツツ)

MSA-007

ネロ

“ガンダム”系超高性能機の開発の成果として生まれた“ジム”系量産機。その基本的ポテンシャルは高く設定されている。



MSA-007T

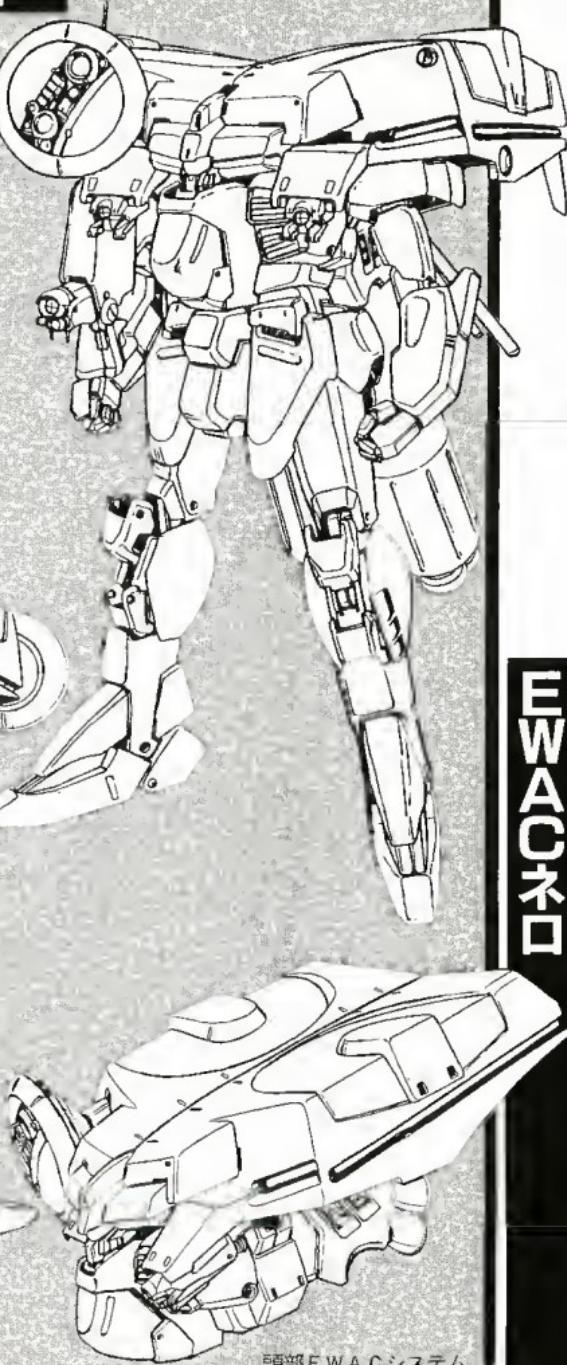
ネロ・トレーナータイプ

バックパックはAMBAC機能と推進器を兼ねたバンダードを装着したタイプ。一般機に比べ機動性が高い。パイロット訓練用に使用される。



MSA-007E EWACネロ

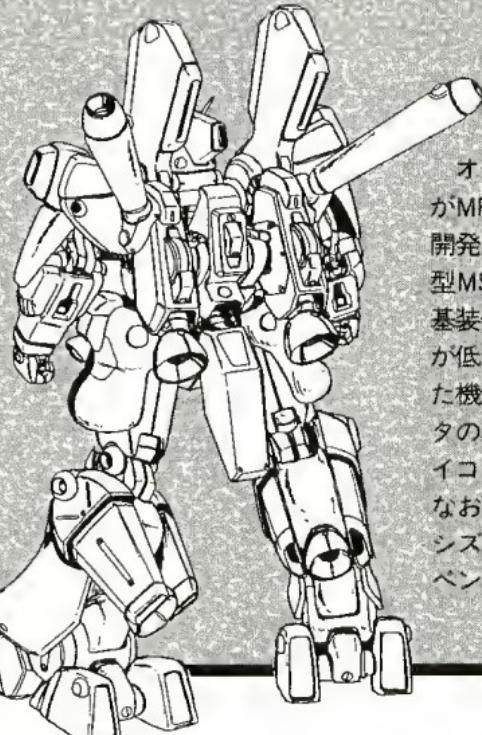
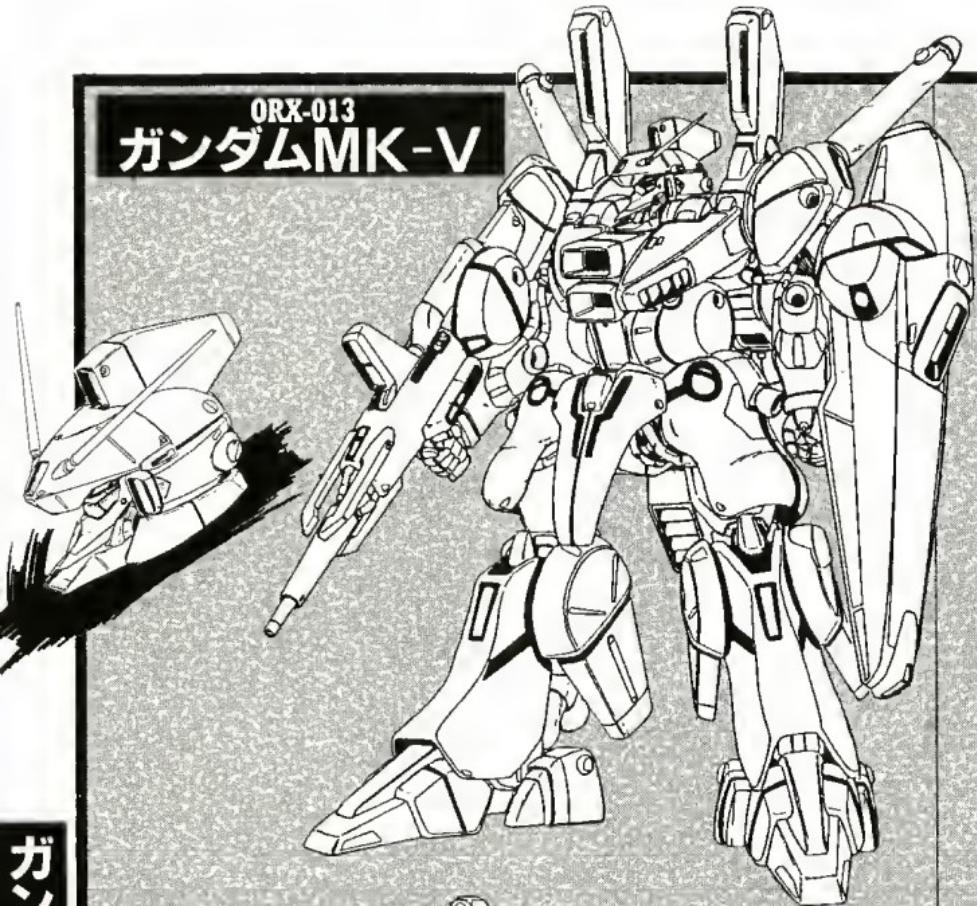
MSA-007をベースに開発された早期警戒機。レーダーアンテナが巨大な頭の中に収納され、データプロセッサーや通信装置をバックパック内に装備している。また、RPV(無人探査機)や有線山越えカメラなど、多彩な情報収集活動が可能。また、任務の性質上、作戦行動時間を延長するため増加プロペラントタンクを2基追加されている。



EWACネロ

頭部EWACシステム

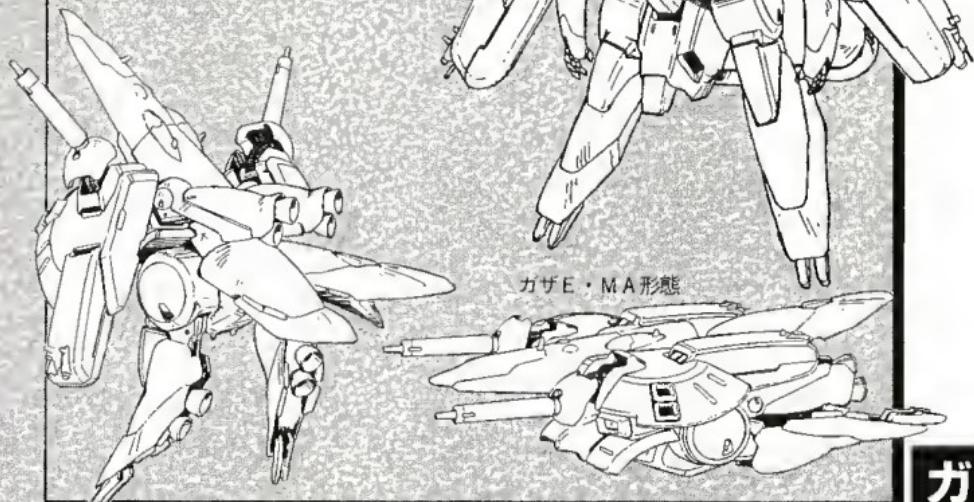
ORX-013
ガンダムMK-V



ニュータイプ
オーガスタ NT 研究所
がMRX-009の小型版として
開発した準サイコミュ搭載
型MS。両肩にインコムが2
基装備されている。NT能力
が低い一般人の使用を考え
た機体であり、コンピュー
タのバックアップによりサ
イコミュ兵器を起動させる。
なお、試作機の一機がアク
シスに流れ、AMX-014ドー
ベンウルフの原型となつた。

MMT-2(AMX-007) ガザE

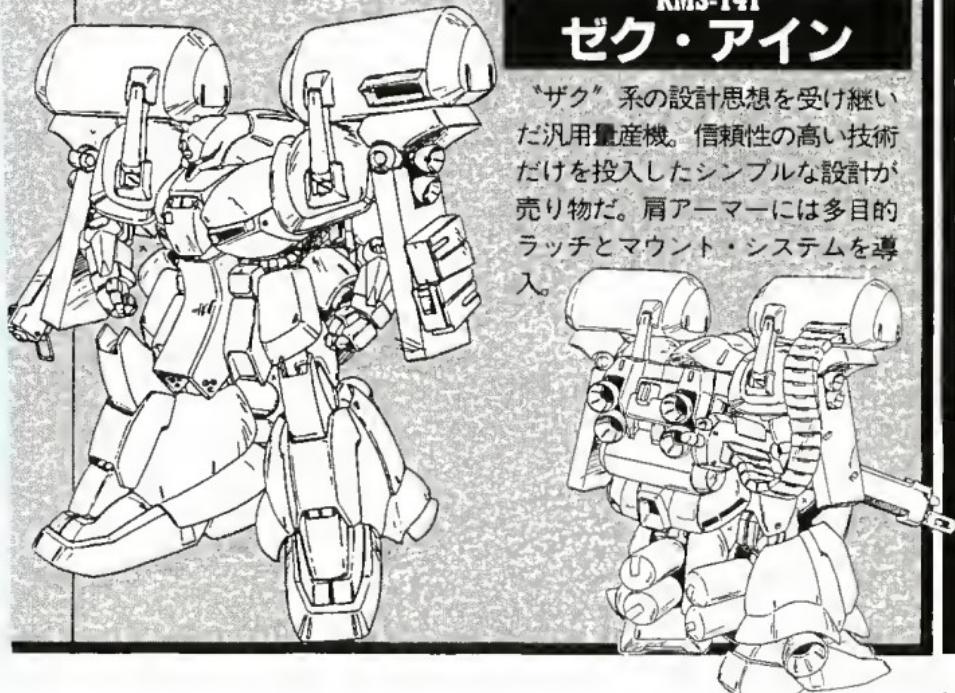
飛行性能を重視した“ガザ”系可変MSの1機。MA形態はサブ・フライ特・システムとして、他のMSを乗せて大気圏内飛行が可能である。



ガザE・MA形態

RMS-141 ゼク・айн

“ザク”系の設計思想を受け継いだ汎用量産機。信頼性の高い技術だけを投入したシンプルな設計が売り物だ。肩アーマーには多目的ラッチとマウント・システムを導入。



ガザ／ゼク・айн

RMS-142

ゼク・ツヴァイ



ゼク・ツヴァイ
全備重量が150トンを
越す超重MSでありなが
ら、その大推力スラスター
やアポジモーターによ
って運動性は高い。腕に
は単純なサブアームが2
本ずつ装備されている。
これは武器の支持や機体
を含めたメインアームの
サポート用である。

MWS-19051G

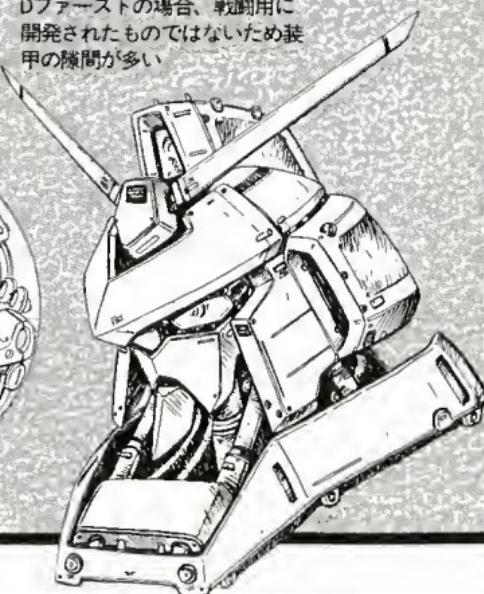
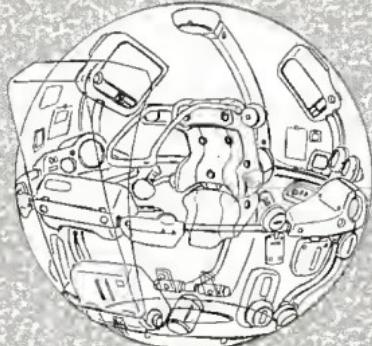
ロガンドムファースト

Dファーストはモノトー・マウス社がジャンクMSを集めて作った作業用MSである。外装はハイロットであるダリーの趣味で“ガンダム”デザインとなった。

ワーカーではあるが、ムーバブルフレームやジェネレータは、ネオ・ジオン抗争時の一線級のMSから流用しているため、基本性能は異常に高い。だが、戦闘用ではなく、“7つ道具”を武器として使用する。

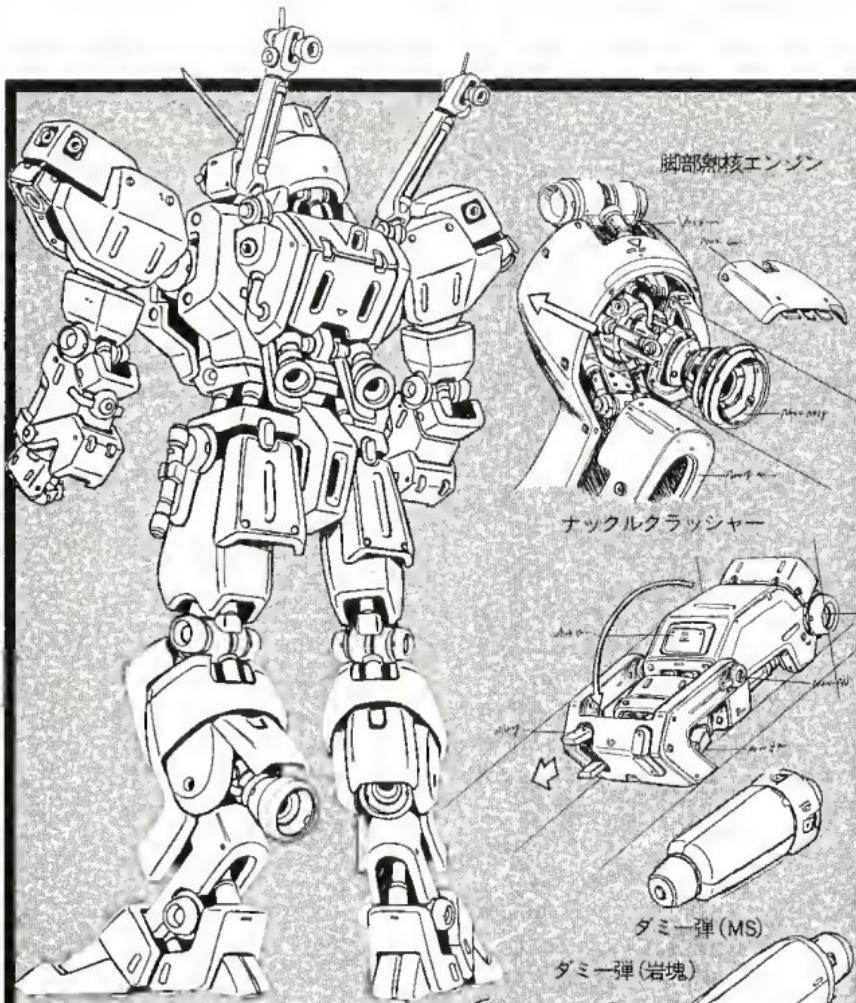
Dファーストの場合、戦闘用に開発されたものではないため装甲の隙間が多い

Dファースト・セカンド用コクピット。気密ブロックである

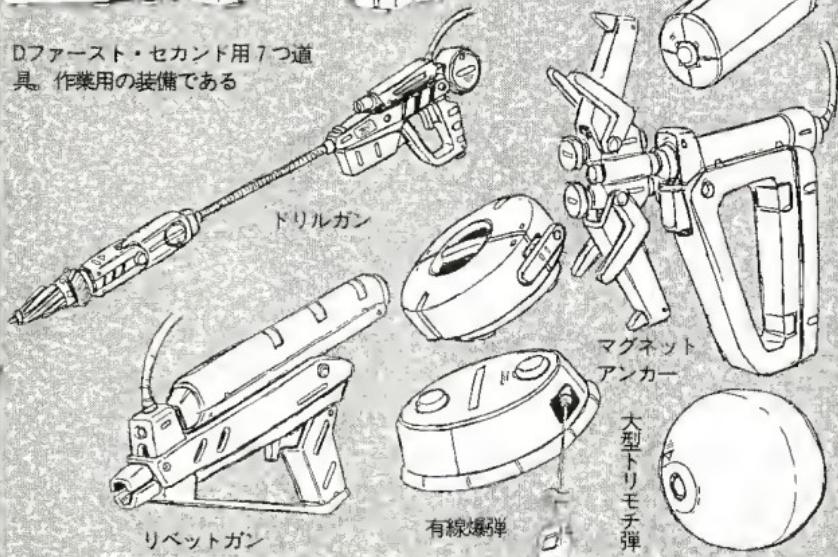


Dファースト

Dファースト



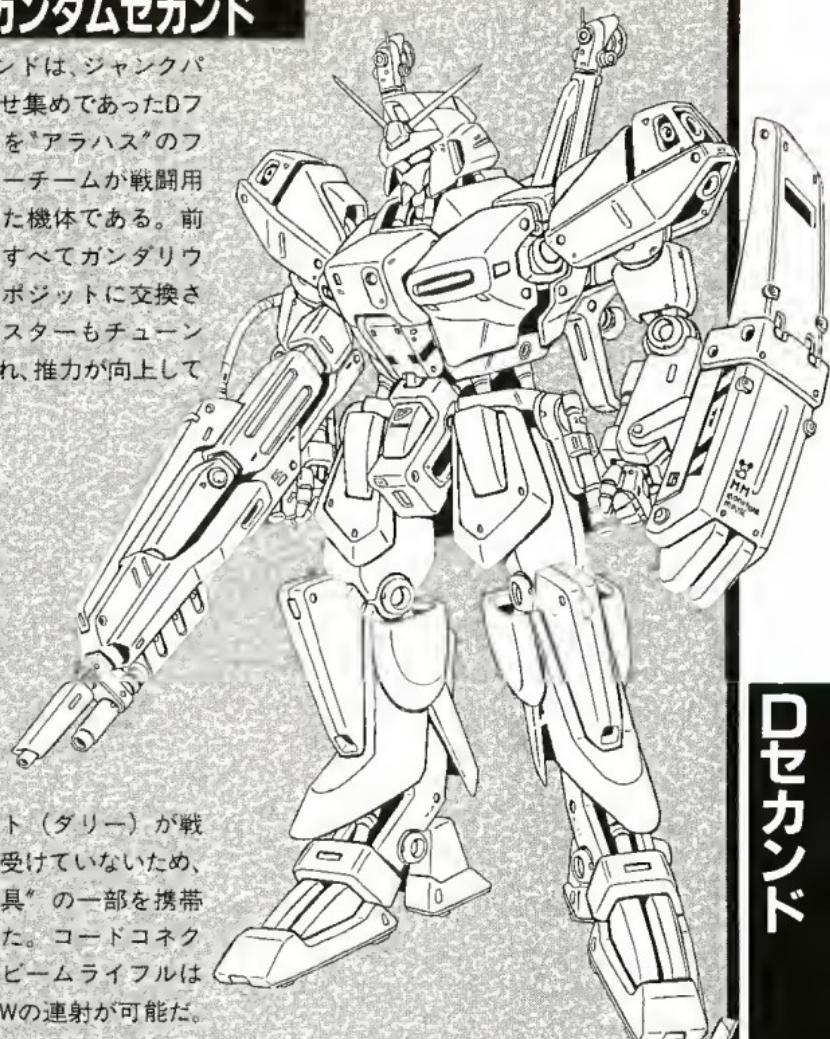
Dファースト・セカンド用7つ道具。作業用の装備である。



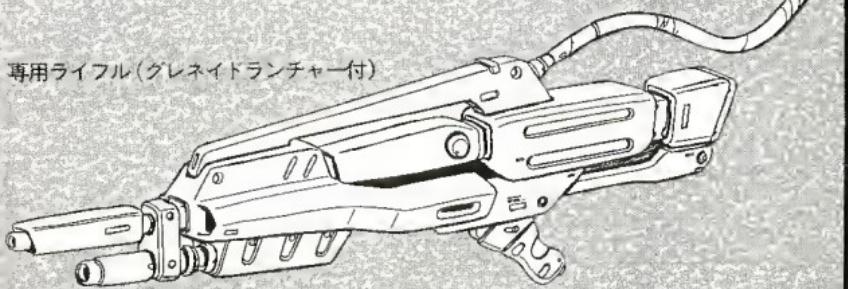
MWS-19051G-2 Dガンダムセカンド

Dセカンドは、シャンクパーツの寄せ集めであったDファーストを“アラハス”的なファクトリーチームが戦闘用に改造した機体である。前面装甲はすべてガンダリウム・コンポジットに交換され、スラスターもチューンアップされ、推力が向上している。バックパックはメインノズルが収納式で、全開時のみ露出する。武器も一新されているが、

パイロット（ダリー）が戦闘訓練を受けていないため、“7つ道具”的一部を携帯させていた。コードコネクテッド・ビームライフルは出力3.8kWの連射が可能だ。



専用ライフル（グレネイドランチャー付）



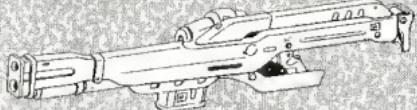
Dセカンド

Dセカンド

Dファースト用ヒームショットガン



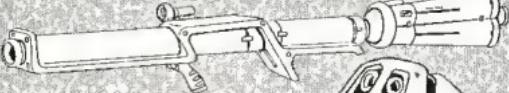
Dサード用バスター・ショット



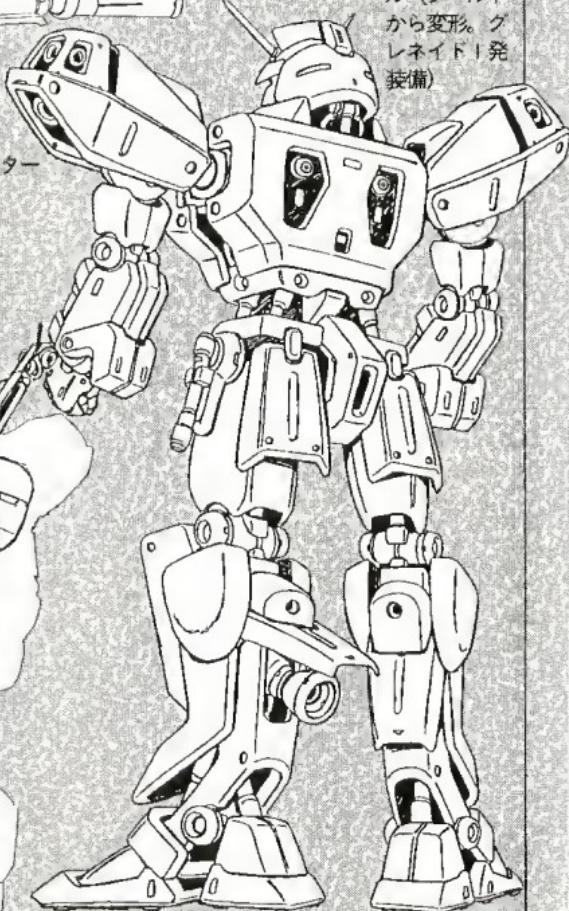
Dセカンド用バズーカ(5発装填可)



Dサード用バズーカ(8発装填可)



Dサード用シールドライフル(シールドから変形、グレネイド1発装備)



バズーカ

RGX-D3 ロガンダムサード

DサードはやはりDセカンドを改造した機体であるが、Dファーストからの部品が3割以下となり、さらにはこれまでの実戦データからグラナダの連邦軍兵器開発局が作成したプランに従って作られたため、RGX-D3として連邦軍に承認された。(Dセカンドの段階で、軍がモノトーン・マウス社から機体を買い上げている)

装甲は全て
ガンダリウム
合金製に換装



Dサード準備稿

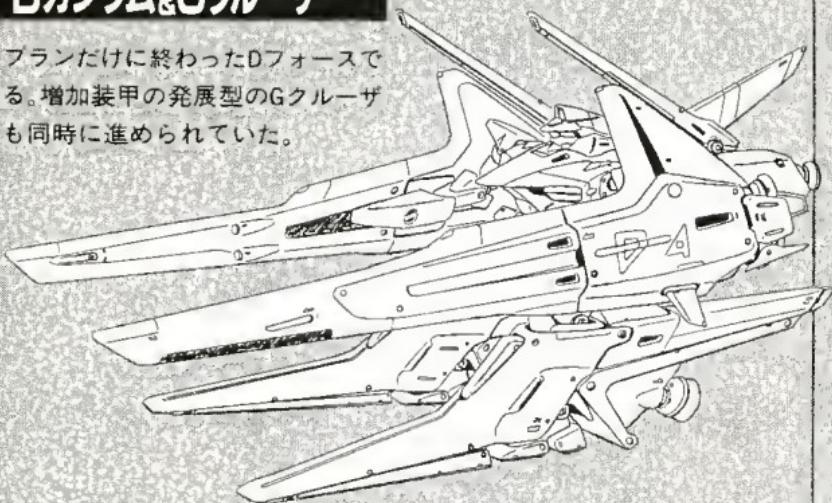


され、ジェネレータやスラスターなどの駆動系や、ムーバブルフレームのアビオニクスも最新のものに交換された。主な武装はバスター・ショットとシールドガンで、90年代のビーム兵器技術の向上を示している。また、Dファースト以来のナックルも改良され、電磁粉碎方式のGプラストナックルとなつた。

D
サード

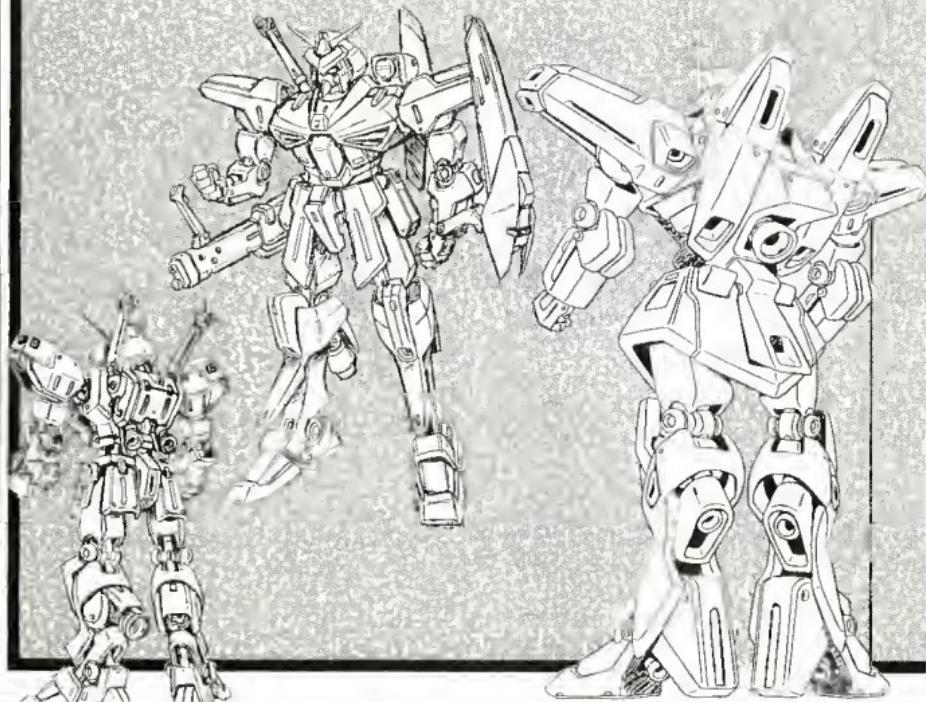
RGX-D4 Dガンダム&Gクルーザー

プランだけに終わったDフォースである。増加装甲の発展型のGクルーザーも同時に進められていた。



Jガンダム

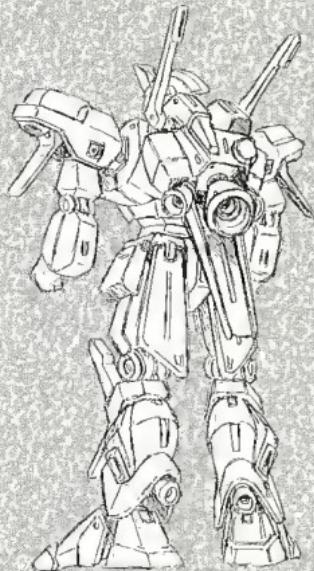
Dガンダムの原形“Jガンダム”
百式改の発展型とジェガンのバー
ジョンアップ版としてデザインさ
れたが、設定変更により、もっと
ボロイメカとされた。



RGM-89B ジェガン改

“アラハス”のファクトリーチームが開発したジェガンの高性能版。MSN-100(百式)の設計を再検討し、量産機に導入できるよう試験的に採用した実験機である。

ベース機とは比較にならないほど性能向上が見られる。



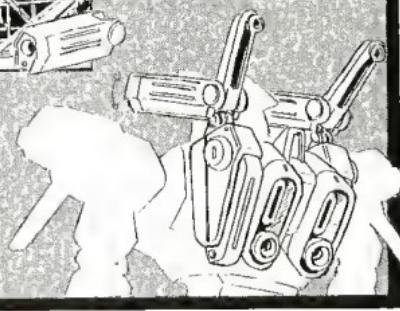
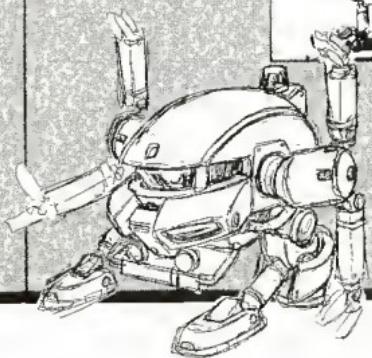
ジェガン改専用シート



ザクヘッド
モノトーン・マウス社が製造した作業用小型モビルスーツ。一年戦争直後、慢性的な物資不足により破壊されたザクの頭部を流用したのが始まりだ。



オプション・バックパック
(ロケット弾9発×2)



ジエガン改

AMX-102C ズサ・カスタム

旧ネオ・ジオンのAMX-102の改修機。ミサイルの搭載量を減らし、その分ビーム砲を増やした。それでもベース機より軽く、運動性や格闘戦性能は高い。攻撃用バックは他の仕様も存在する。

ブースター装備時

ズサ・カスタム本体

ガン・スピア(速射式ビーム砲。腕に直接マウントする)

ブースター(ミサイル12発×2内蔵)

ズサ→ズサ・ダイン

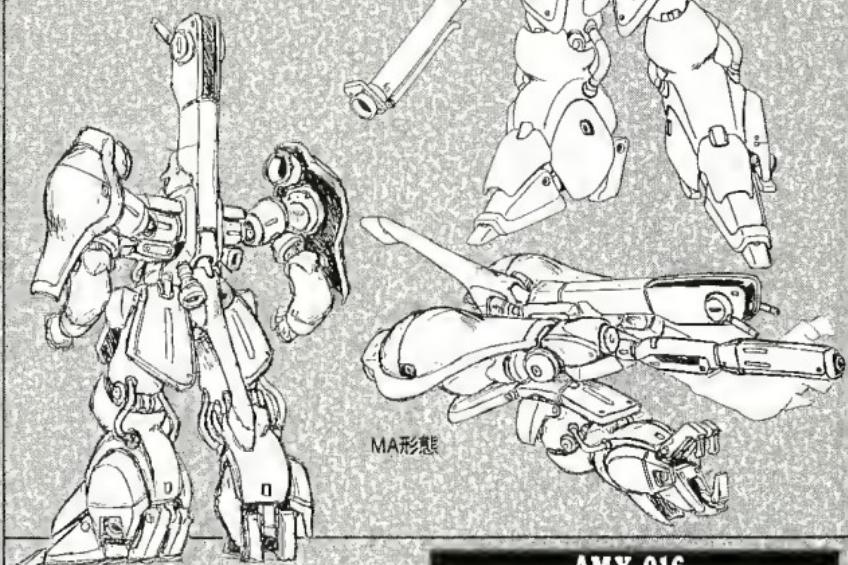
AMX-013 ズサ・ダイン

“ズサ”系の設計グループが格闘戦性能を強化した汎用MSとして開発した機体。両肩のスパイクアーマー内にはミサイルランチャーが内蔵されている。



AMX-003S ガザC改

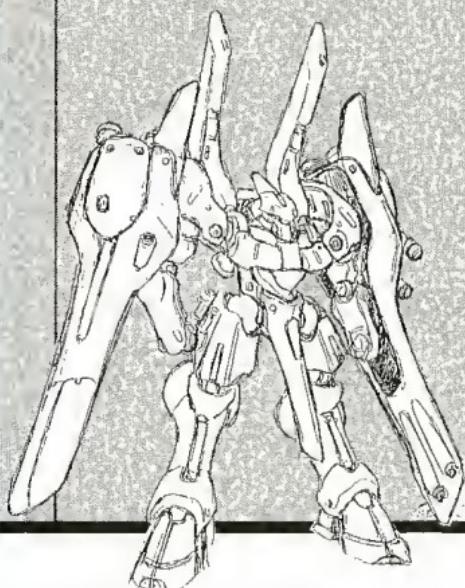
旧ネオ・ジオンのAMX-003ガザCの改良型。MA形態時の操縦性向上を考え、コクピットが機首部分にある。基本武装に変更はないが、格闘戦の対応力を増すため、各所に改良が見られる。



MA形態

AMX-016 ガザW

“ガザ”系の最終型といわれる可変重MS。シールド・バインダー内の熱核ジェット/ロケット・エンジンによって大気圏内飛行も可能。股間のユニットは対地レーダーシステム。

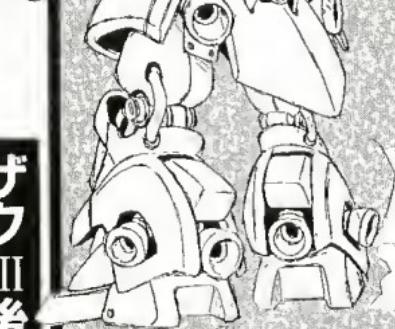
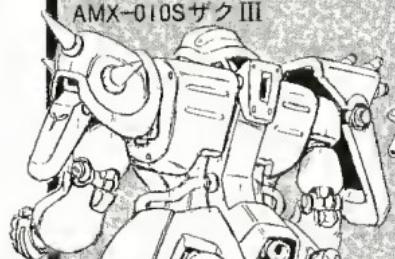


「ダブルフェイク」
より（デザインは
異なる）

ガザC改 → ガザW

AMX-011C ザクIII後期型

旧ネオ・ジオンが第1次ネオ・ジオン抗争時に汎用量産機の主力として考えていたAMX-110の発展型。戦後、連邦軍から隠しおおせた開発基地において、改良が続けられ、AMX-010SザクIII。



ザクIII後期型陸戦仕様

通常作戦用
バックパック

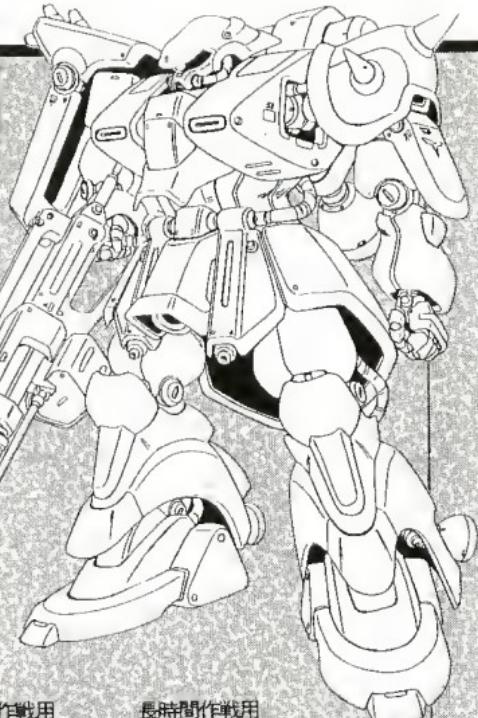
長時間作戦用
バックパック

ザクIII用バスター(装填数4発)



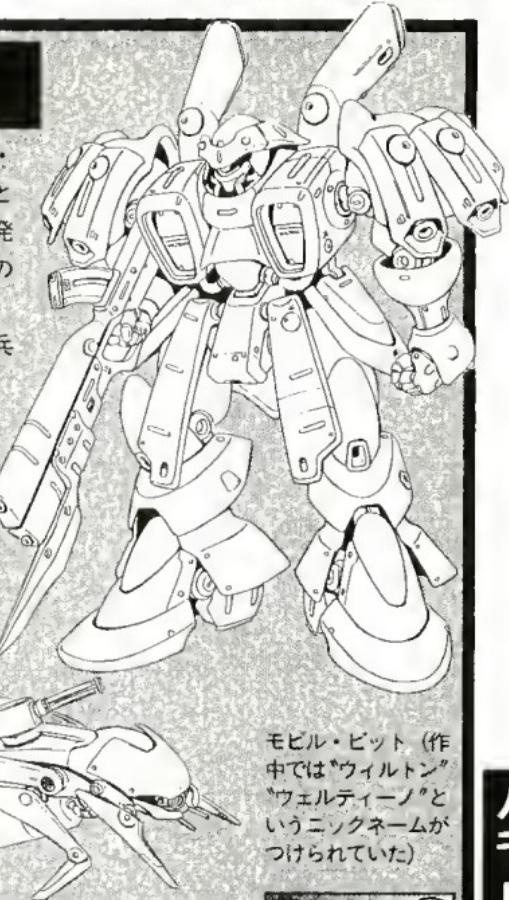
後期型として小数ながら製造された。大推力、重武装が売り物であったザクIIIをさらに性能強化し、“ドーガ”系に移行する新ネオ・ジオンMSの試金石的機体となった。

左の機体は陸戦仕様のもので、スマートディスクチャージャーや増加装甲、砂中用スコープなどを追加装備している。



MSN-X4 バギ・ドーガ

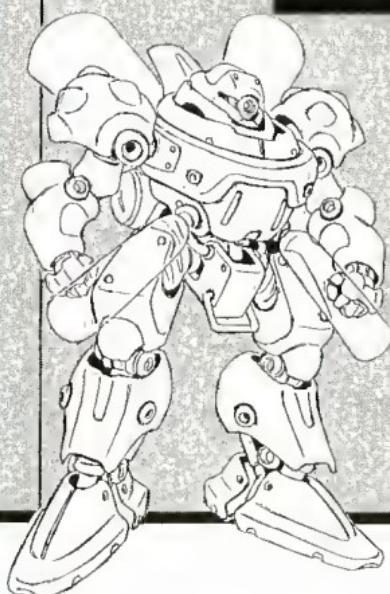
新ネオ、ジオンのAMS-119ギラ・ドーガとMSN-003ヤクト・ドーガとの中間的なNT用実験機。開発にあたっては、フラナガン機関の流れをくむNT研が参加している。モビルビットというサイコミュ兵器を搭載する。



モビル・ビット（作中では“ウィルトン”“ウェルティーノ”というニックネームがつけられていた）

クォータースーツ

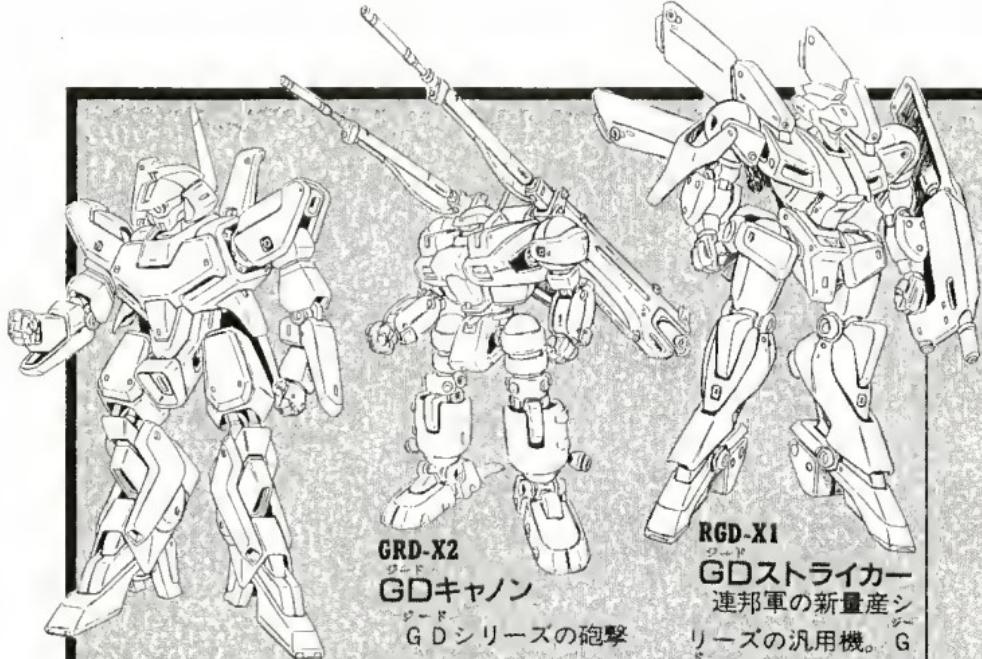
一種のパワードスーツ。作中ではネオ・ジオンのNT、タウが使用する。武器は20mmマシンガン。



「ダブルフェイク」より。モビル・ビットの収納口

「ダブルフェイク」より。人物との対比に注目

バギ・ドーガ／クォータースーツ



MSA-008(RGM-87)

バーゼム

エゥーゴ仕様として製作されたバーザムの発展型。

GRD-X2

GDキャノン

GDシリーズの砲撃戦専用機。

RGD-X1

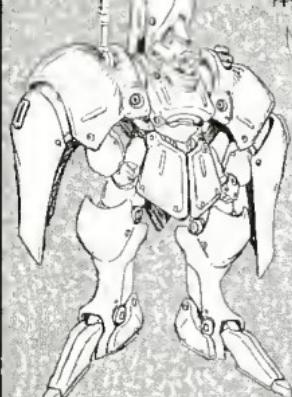
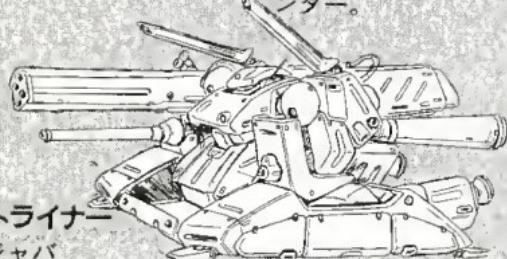
GDストライカー

連邦軍の新量産シリーズの汎用機。GD = ガン・ディフェンダー。

RGD-X3

GDバストライナー

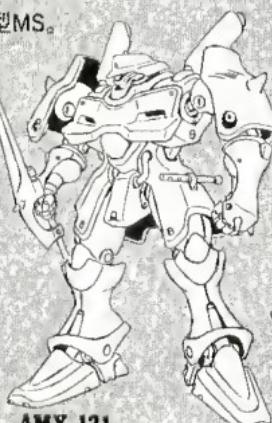
ベースジャバ
一体型MS。



AMX-002

ガザB

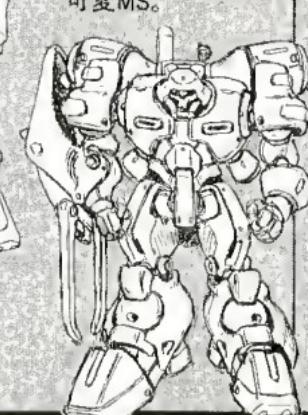
ギラ・ドーガの前段階の機体。



AMX-121

ケル・ドーガ

前大戦時の“ザ
ク”系重MSのバリ
エーション。



AMX-012

グザ

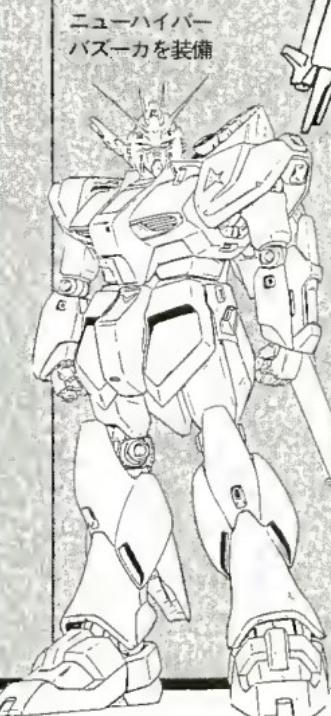
作業用MSであった可変MS。

**RX-93
ニューガンダム**

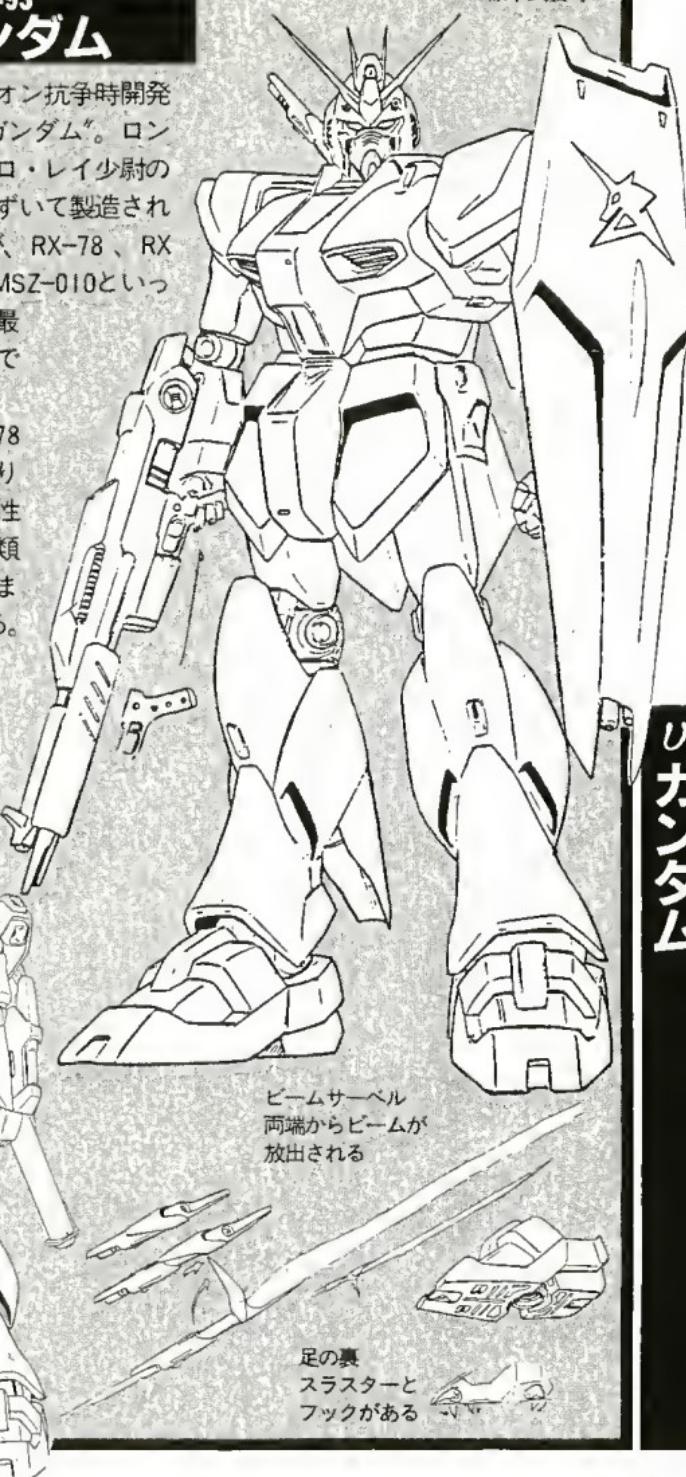
標準武装時

第2次ネオ・ジオン抗争時開発された最新型の“ガンダム”。ロンド・ベル隊のアムロ・レイ少尉の設計プランにもとづいて製造された。偶然であるが、RX-78、RX-178、MSZ-006、MSZ-010といった歴代ガンダムの最大公約数的な設計であった。

基本武装はRX-78当時のものと変わりないが、その信頼性は高い。また、種類も豊富で、さまざまな作戦に対応できる。



ニューハイバーバズーカを装備

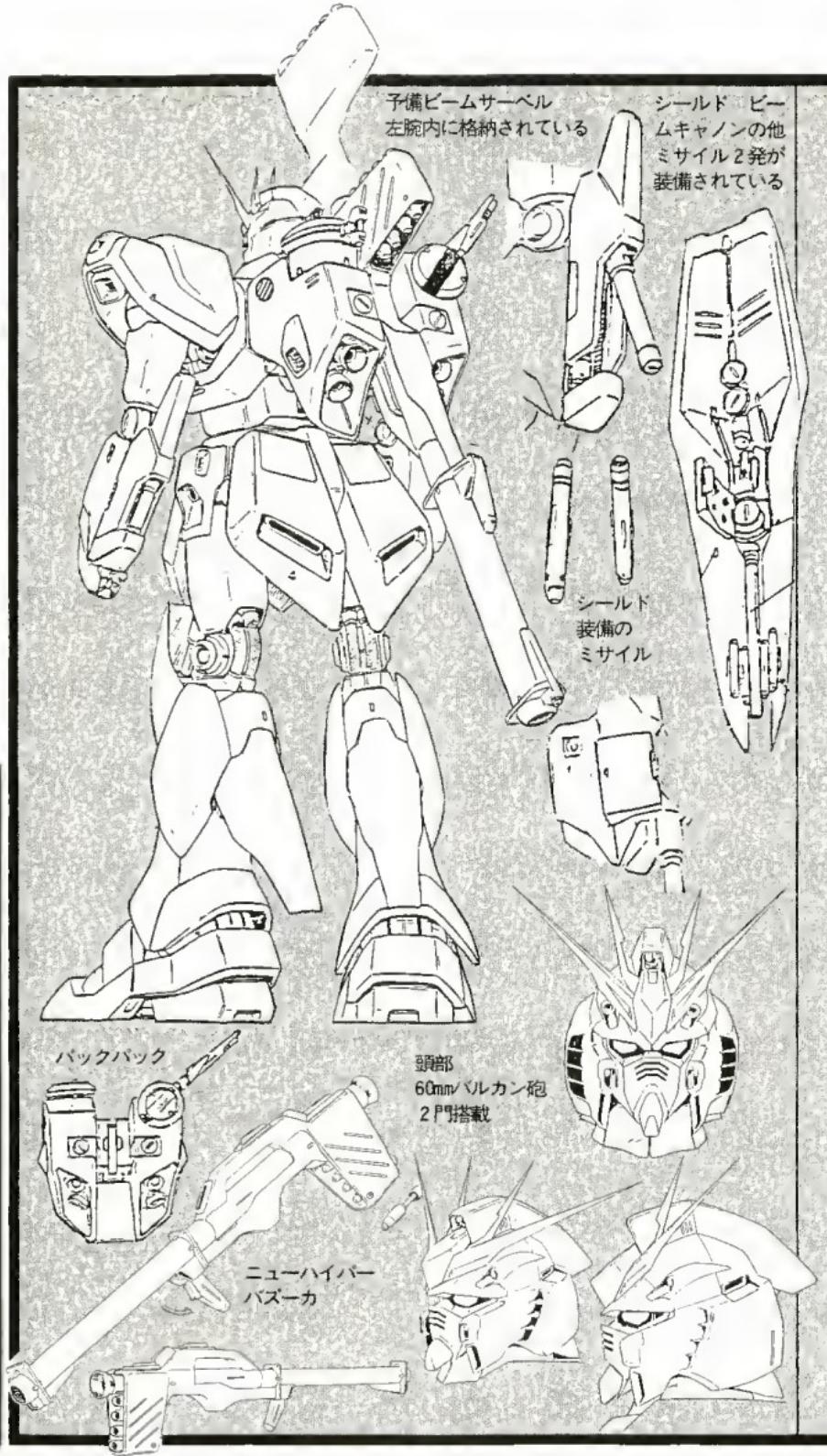


ビームサーベル
両端からビームが
放出される

足の裏
スラスターと
フックがある

り
ガ
ン
ダ
ム

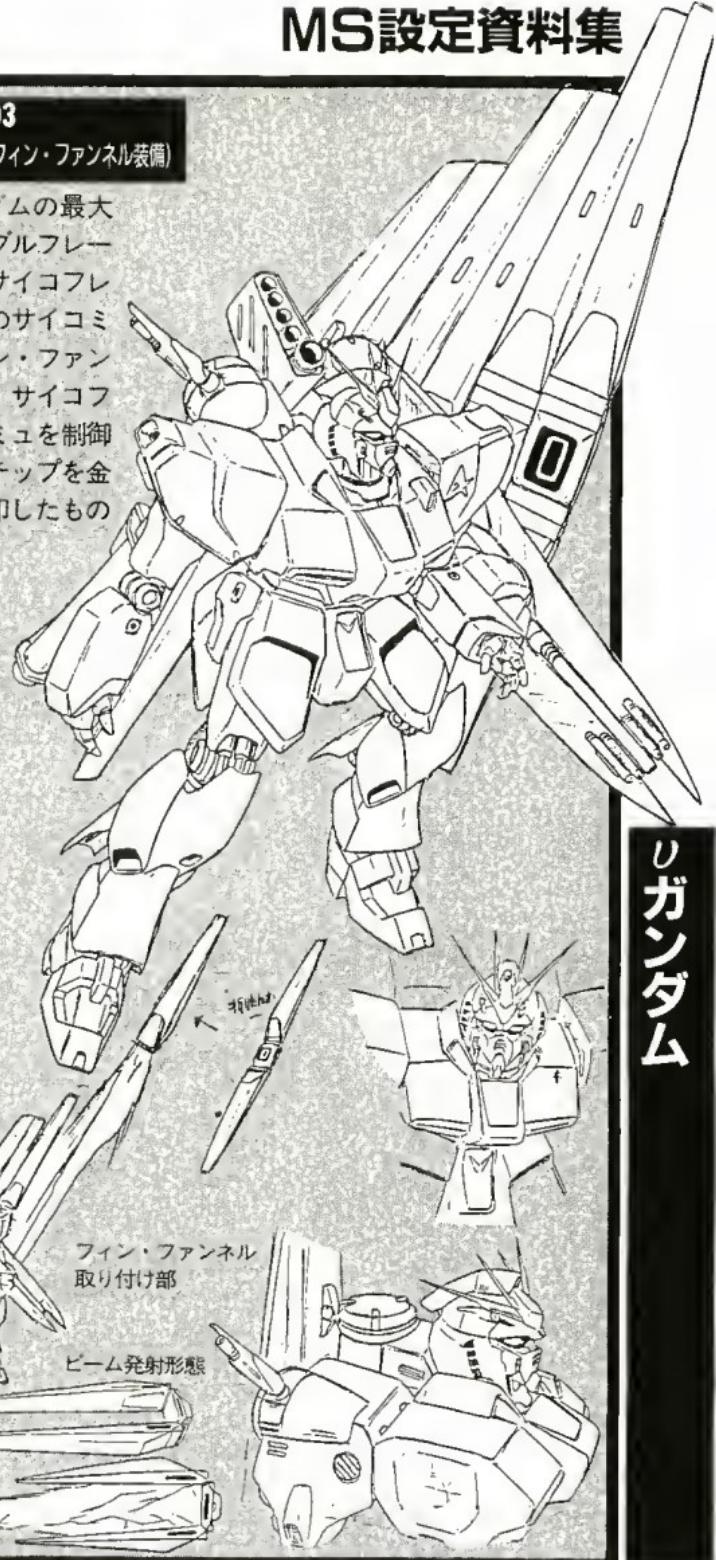
りガンダム



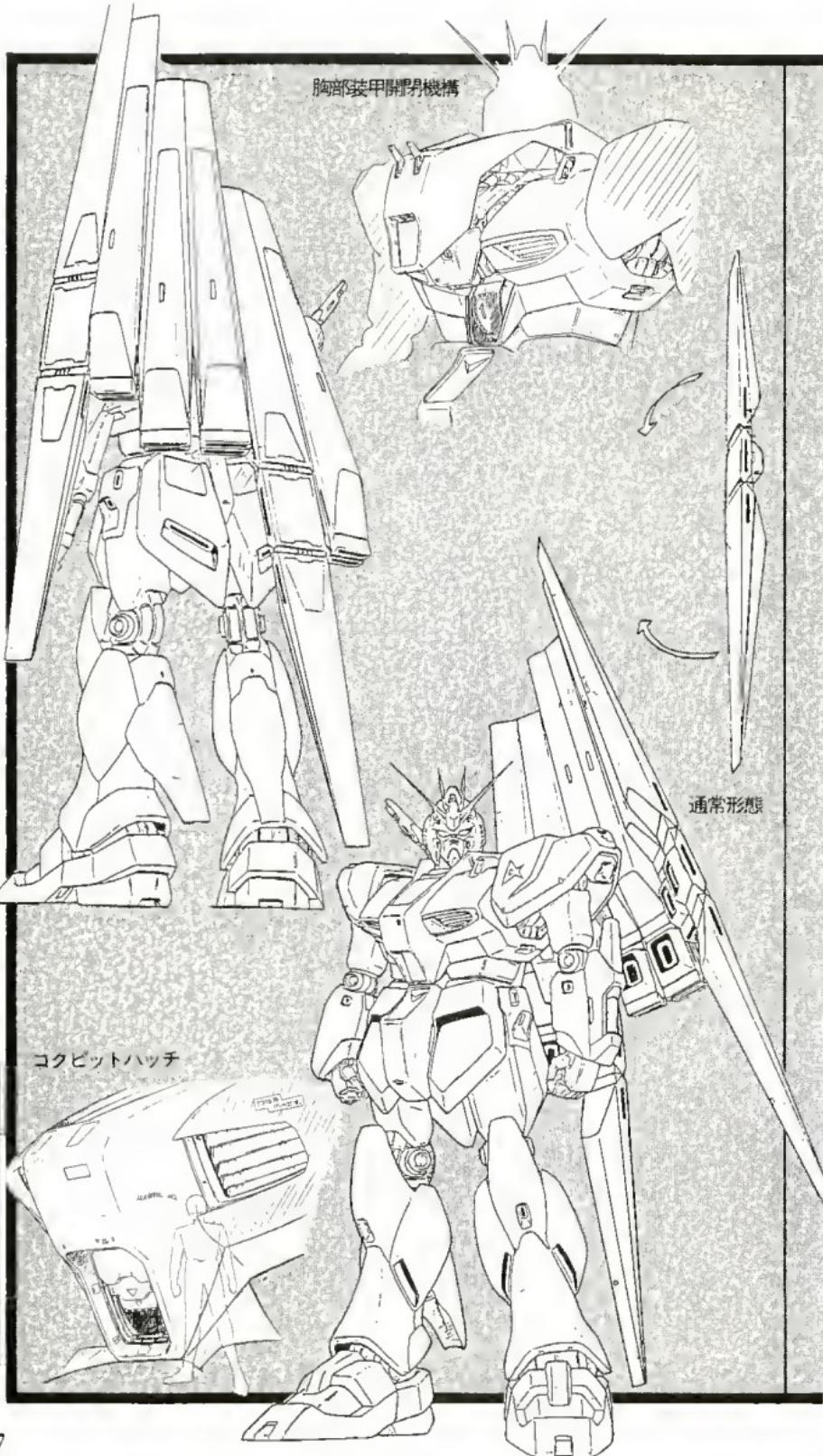
RX-93

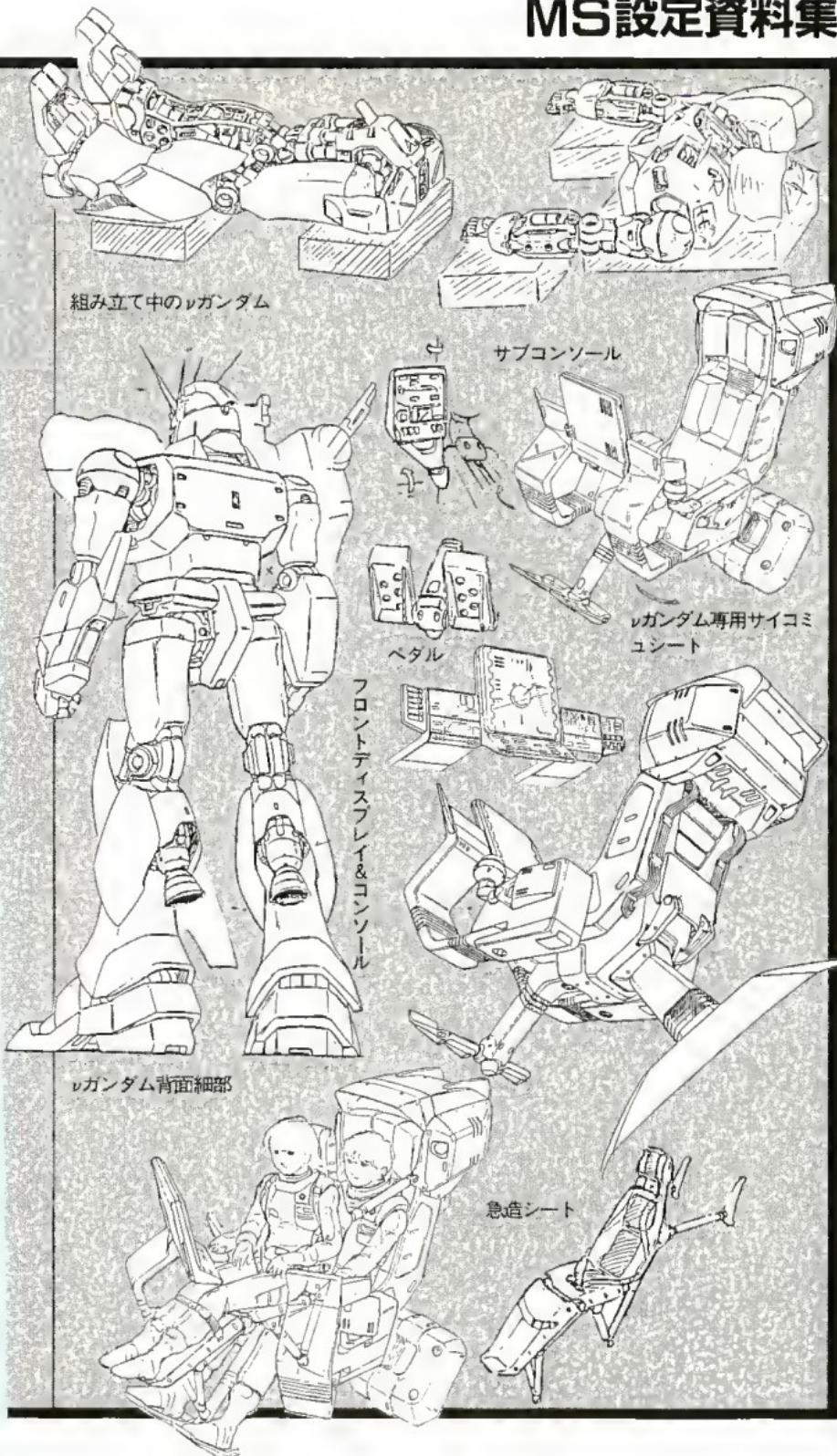
リガンダム(フィン・ファンネル装備)

RX-93 リガンダムの最大の特徴は、ムーバブルフレーム内に組み込んだサイコフレームの採用と究極のサイコミュ誘導兵器、フィン・ファンネルの搭載である。サイコフレームは、サイコミュを制御するコンピュータチップを金属粒子レベルで封印したもので、コクピット周辺のフレームに使われている。このシステムの導入によって機体の追従性が大幅に向上了した。また、フィン・フィールドを発生させ、対ビームバリアを形成する攻撃と防御が一体となった最強のサイコミュ兵器だ。



リガンダム

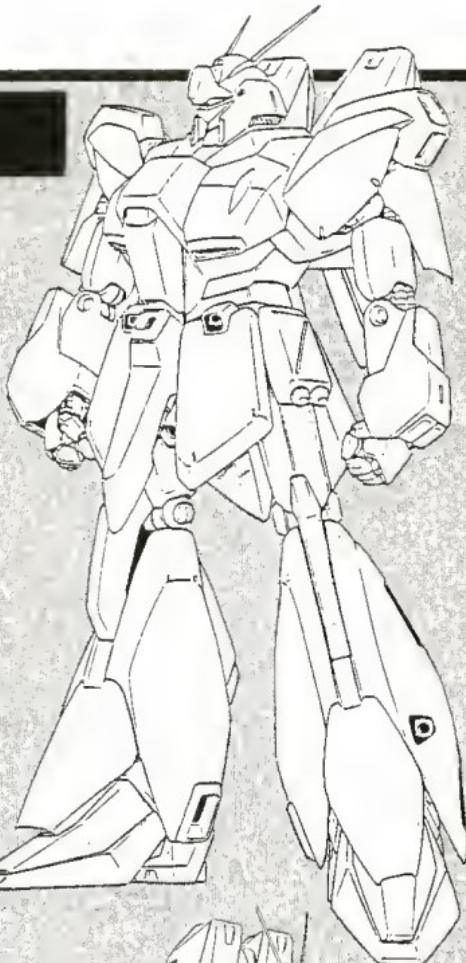




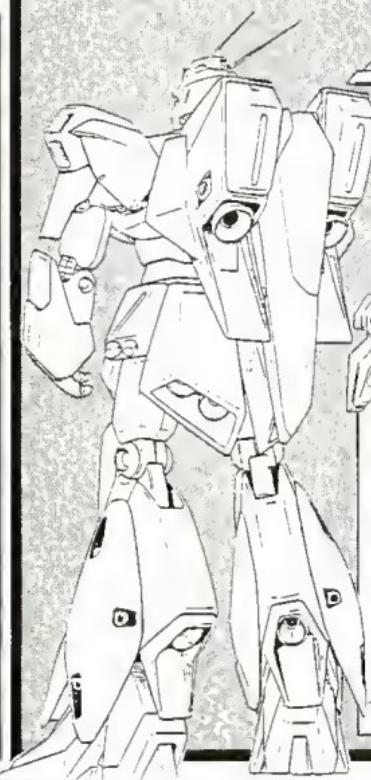
リ
ガ
ン
ダ
ム

RGZ-91 リ・ガズイ

RGZ-91リ・ガズイは、MSZ-006Zガンダムを再設計した機体で、小数生産されたZプラス以上に量産のための低コスト化を狙ったものだ。そのため、機体本体の変形機構を排除し、バックパックウェポンシステムに全て依存している。ただし、ファイター形態からMS形態への移行時にシステムを除装するため、逆の移行はできない。簡易可変MSの実験機としては良好な結果を得たが、量産化は見送られている。



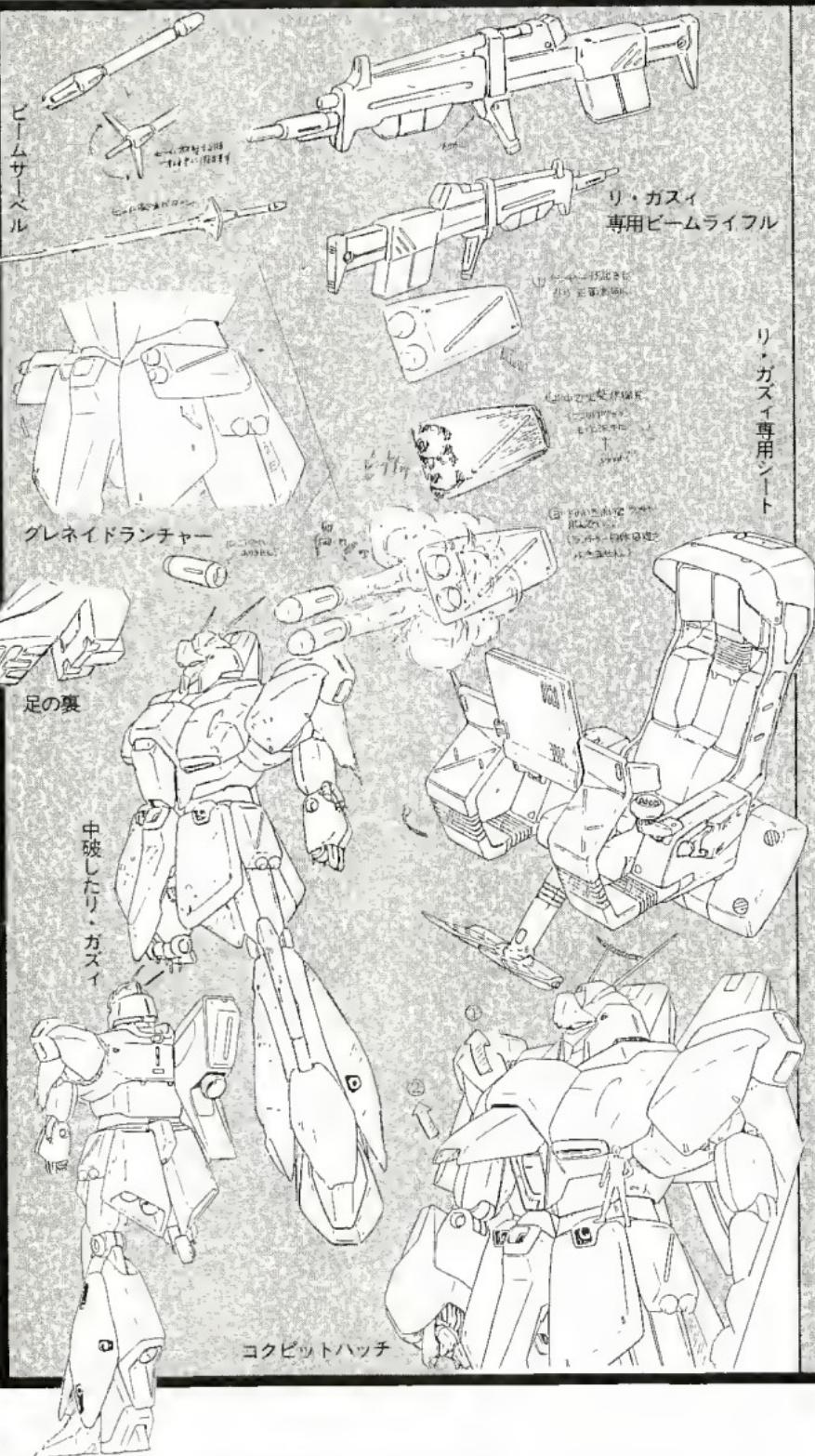
頭部 60
mmバルカン
砲を2門装
備している。
センサー性
能は MSZ
-006より高
い



バックウェポンシステムによる
戦闘機形態 機首に大口径ビーム
キャノン1門、機体両脇にビーム
キャノン2門搭載する。MS
時の武器はシールド内に
固定する。主翼にはプロペ
ラントタンクを装備する

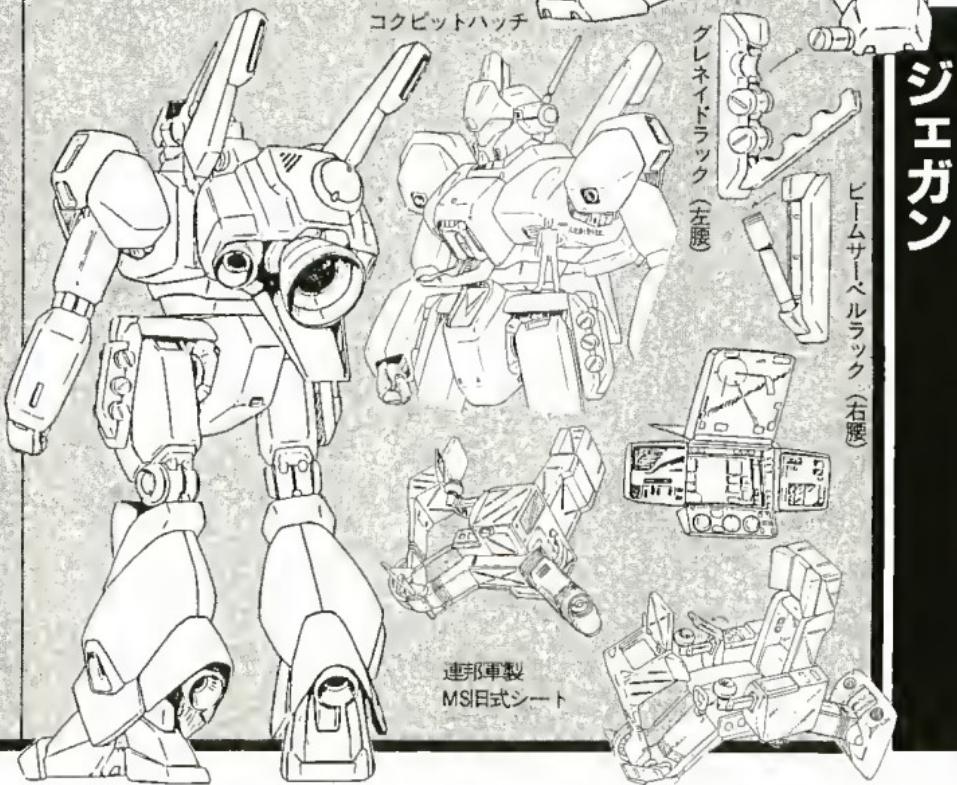
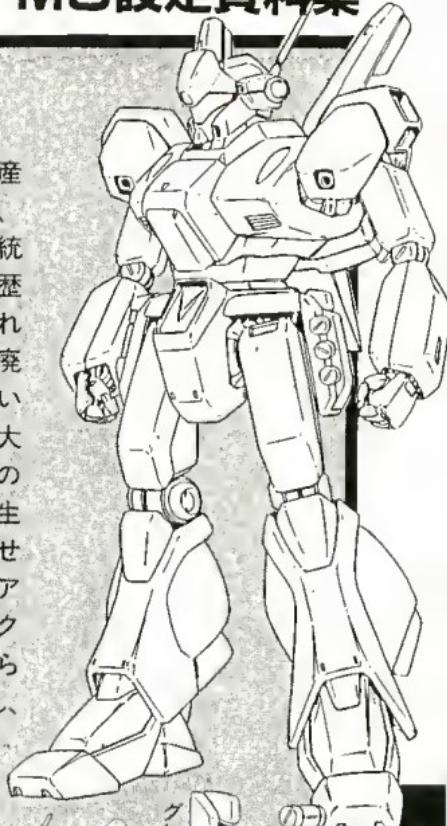
バックウェポン
システム切り離し過程

リ・ガズイ

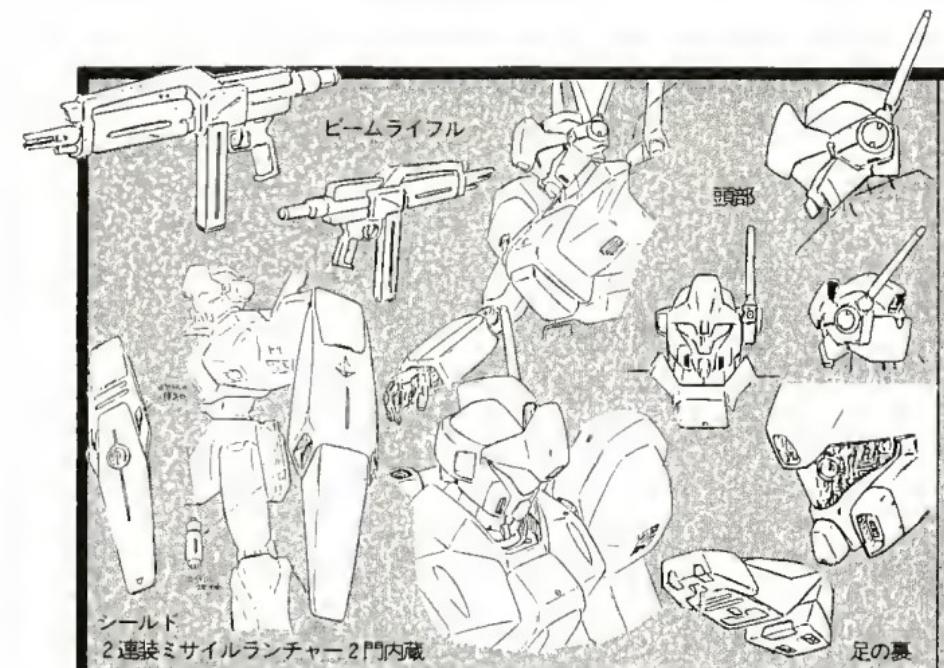


RGM-89 ジェガン

RGM-89は、連邦軍の主力MSで、開発生産をアナハイム社が行なっている。そのため、“ジム”系と“ネモ（ネロ系も含む）”系が統合された設計となっている。改良を重ねた歴史あるシリーズ機と比較すると、まず胸の廃熱ダクトが小型化され、耐弾性が向上している。また、腰アーマーをなくし、代わりに大腿部の全面に増加装甲を施している。股間の関節がむき出しになるが、脚部の駆動時に生じる抵抗がなくなることと、軽量化が果たせるというふたつの利点がある。腰のサイドアーマーの代わりには、ピームサーベルラックとグレネイドランチャーが装備されている。さらにバックパックには大型スラスターを搭載し、量産機としては高機動を誇る。

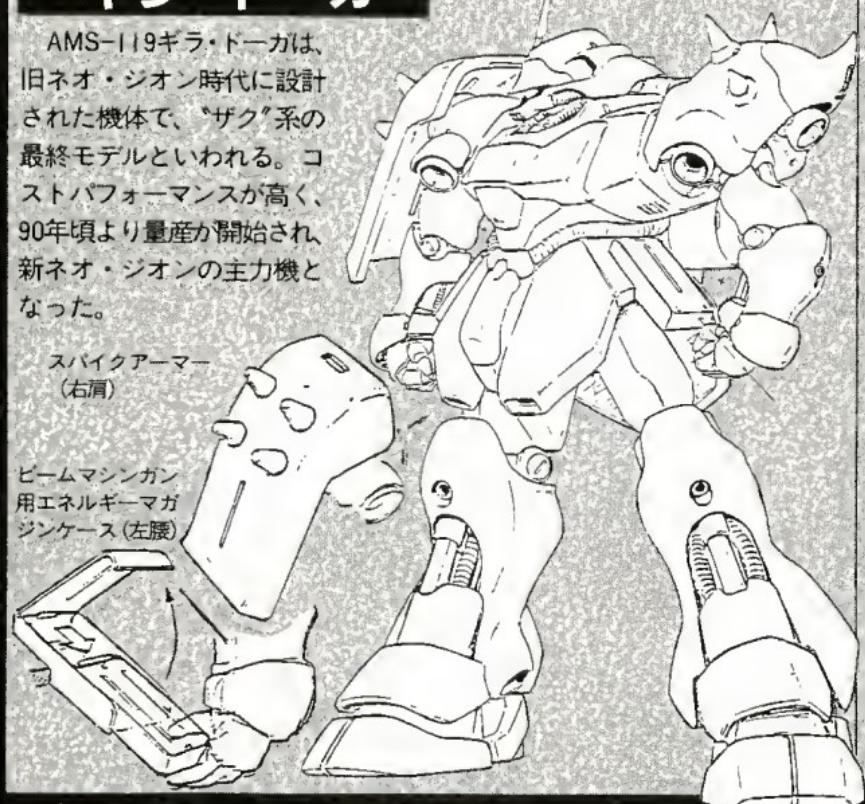


ジェガン



AMS-119 ギラ・ドーガ

AMS-119ギラ・ドーガは、旧ネオ・ジオン時代に設計された機体で、“ザク”系の最終モデルといわれる。コストパフォーマンスが高く、90年頃より量産が開始され、新ネオ・ジオンの主力機となつた。



シールド左腕のラッチで固定する。裏側にはスツルムファスト4本、グレネイドランチャー2連装2基が装備されている



ネオ・ジオン軍
旧式シート

頭部



ネオ・ジオン軍MS共通マニピュレーター3連装ダミーランチャーが内蔵

ギラ・ドーガ

小隊長クラス用
ビームマシンガン

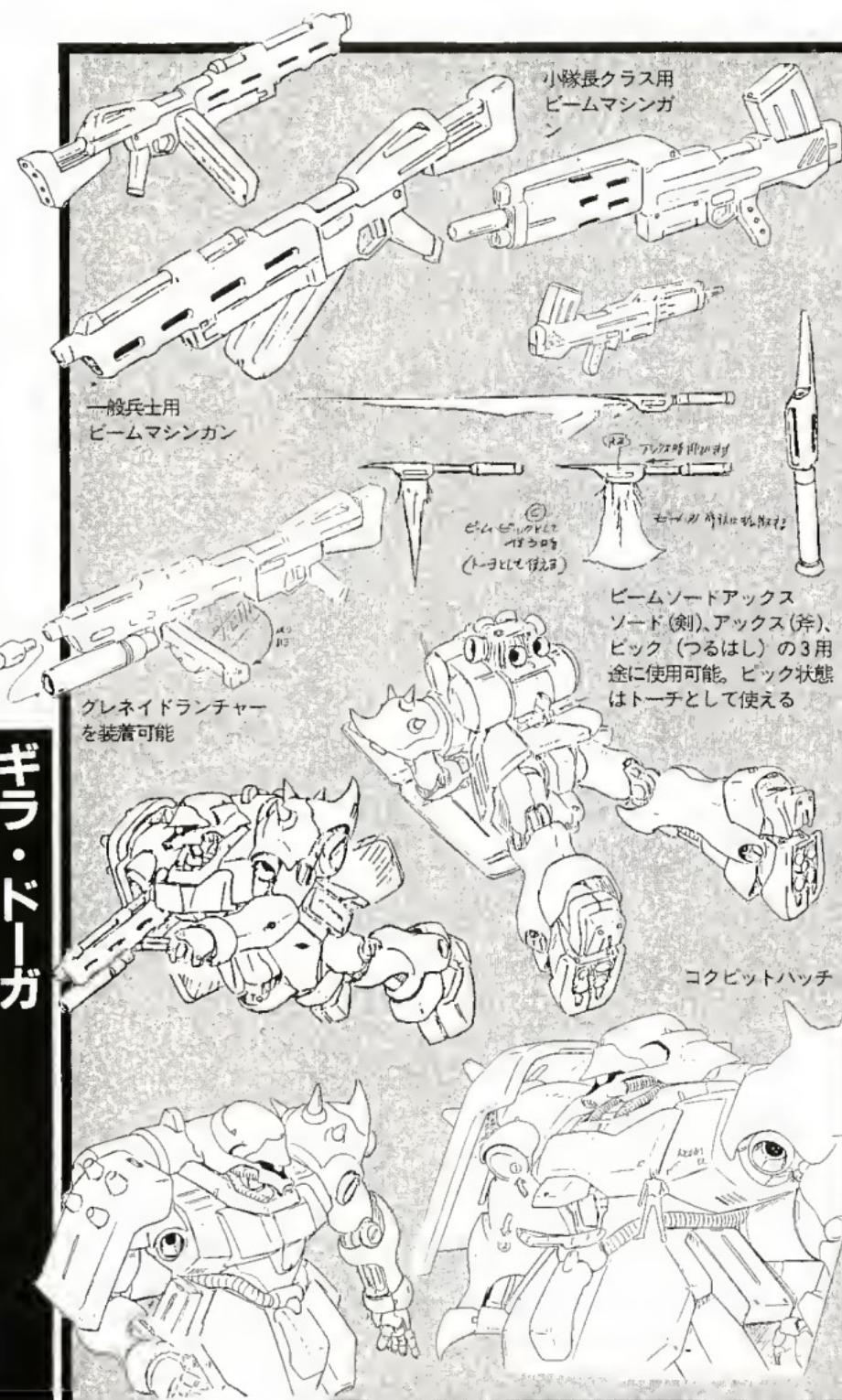
一般兵士用
ビームマシンガン

ビームソードアックス
ソード(剣)、アックス(斧)、
ピック(つるはし)の3用途に使用可能。ピック状態
はトーチとして使える

グレネイドランチャー
を装着可能

コクヒットハッチ

ギラ・ドーガ



MSN-03

ヤクト・ドーガ (ギュネイ専用)

MSN-03ヤクト・ドーガ
は、N-T専用機として開発されたMSである。サイコミュを装備し、6基のファンネルを搭載している。2機製造された試作機のうち、青い機体がギュネイの、赤い機体がクエスの専用機となった。また、機体色の他に、頭部形状や武装の一部が異なっている。

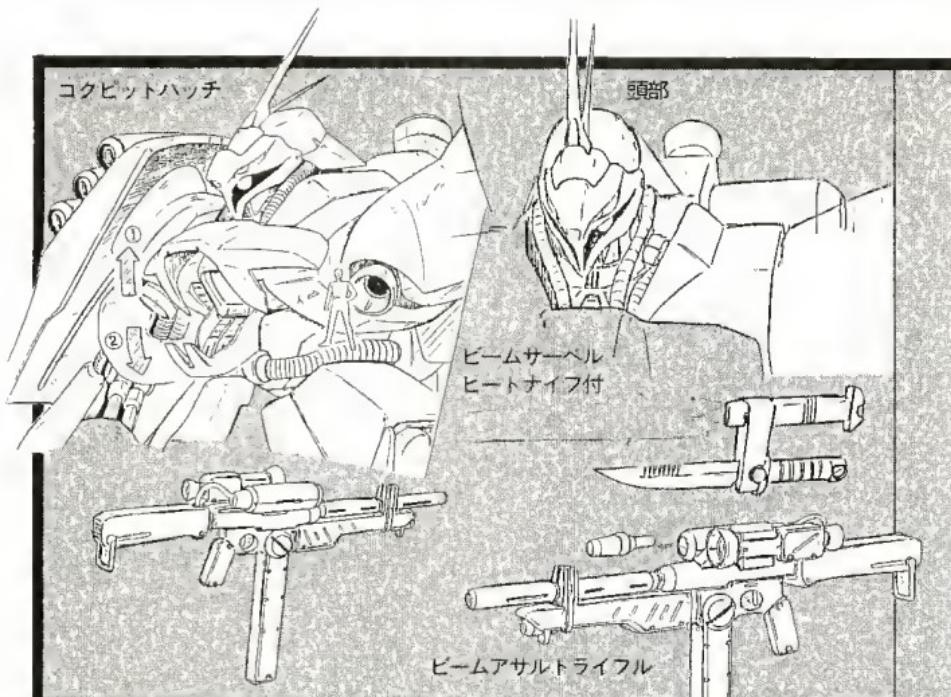


シールドの裏
メカ粒子砲4基を内蔵

標準装備

シールドの裏に小型
ミサイル3発×2

ヤクト・ドーガ



MSN-03 ヤクト・ドーガ (クエス専用)

2機の試作機は、外観上の差はあっても、その性能に差はない。武装の差もメインアームズに限定され、それもパイロット好みで選択されただけだ。



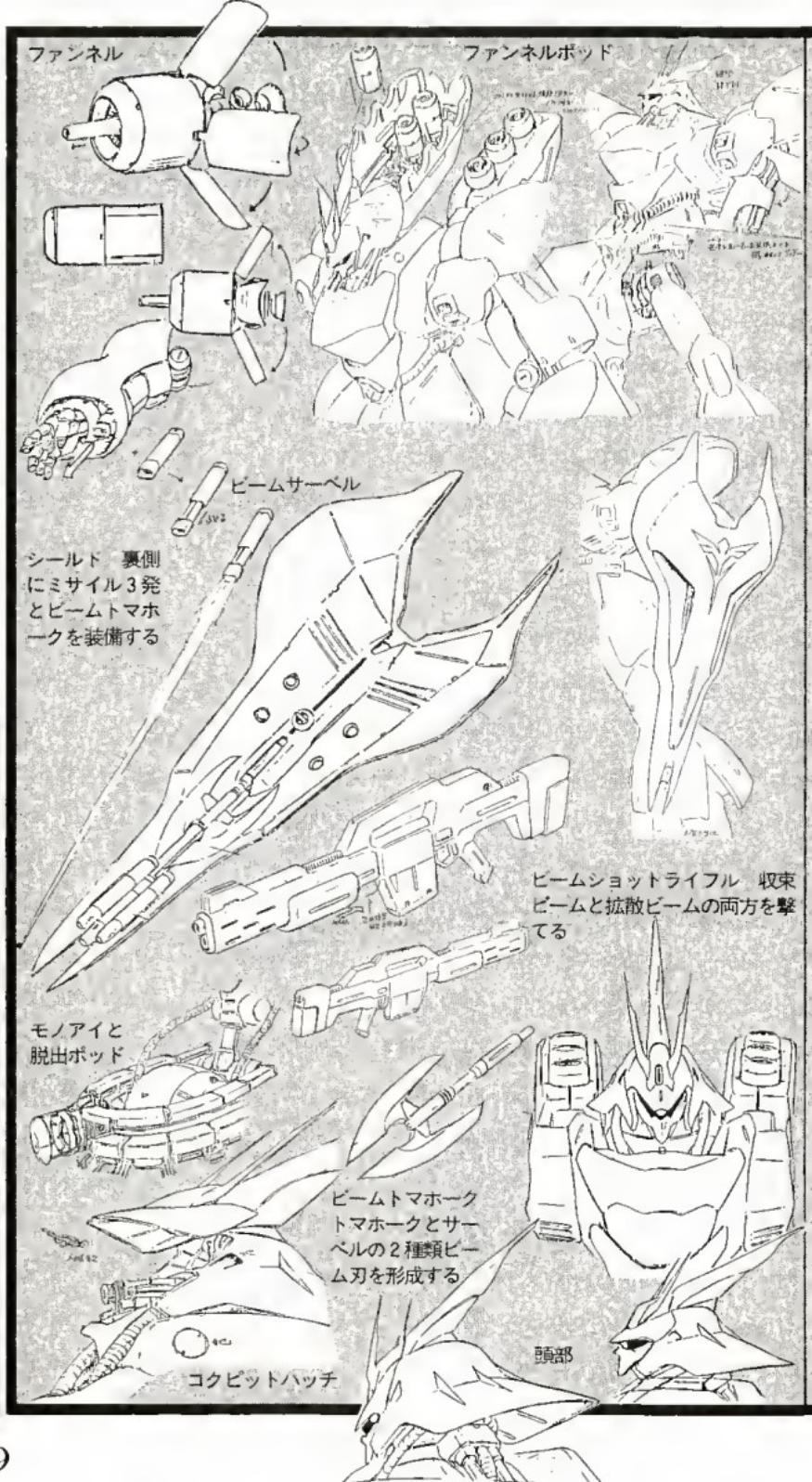
MSN-04 サザビー

MSN-04サザビーは、ヤクト・ドーガと共に設計=ネオ・ジオン、開発・製造=アナハイムという経由で作られたNT専用機である。完成度はヤクト・ドーガを上回り、攻撃力、防御力、機動性などあらゆる面で優れた性能を示す機体となった。また、かつて“赤い彗星”といわれたシャア・アズナブルの専用機となることが決まっていたため、機体色を真紅とした。



スカートの裏側

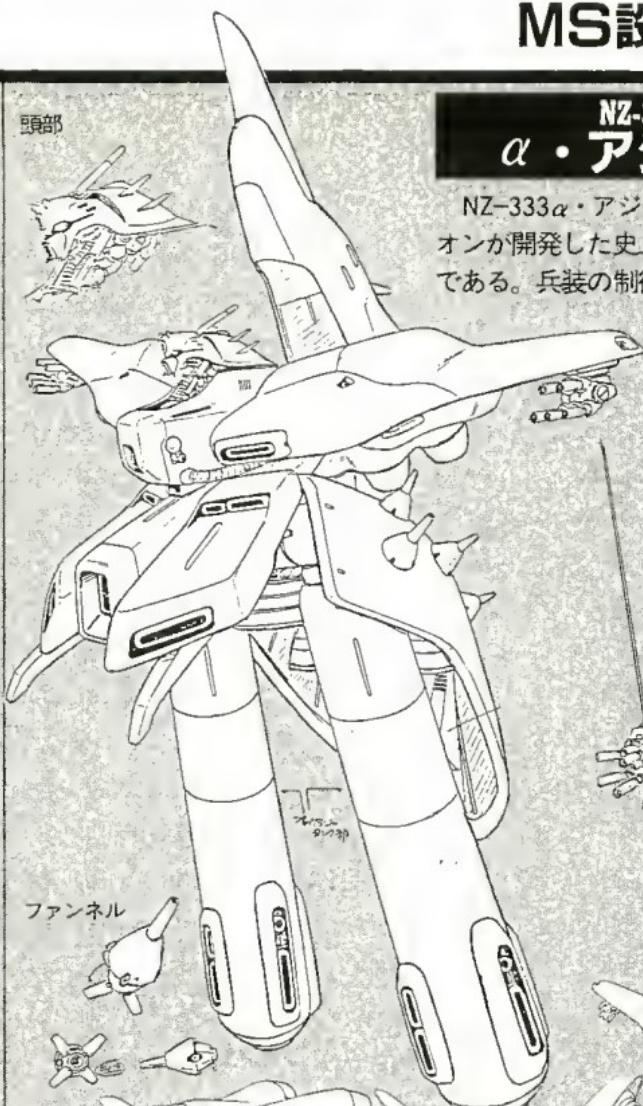
サザビー



NZ-333
α・アジール

NZ-333α・アジールは、ネオ・ジオンが開発した史上最大の機動兵器である。兵装の制御はサイコミュによって行われ、9基の大型ファンセルと2基の5連装有線式メガーム砲、さらに頭部の2種類の砲を同時に使用することが可能だ。下部のブースターは、使用後、切り離されてしまう。

頭部

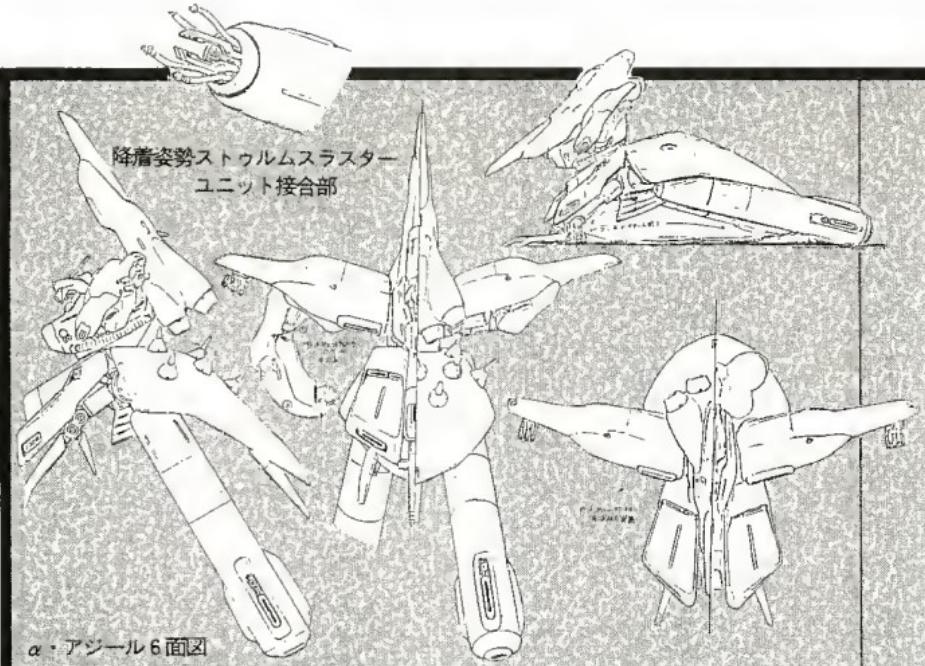


ファンセル

輸送形態

頭部正面
額は2連装
バルカン砲
口はメガビーム砲

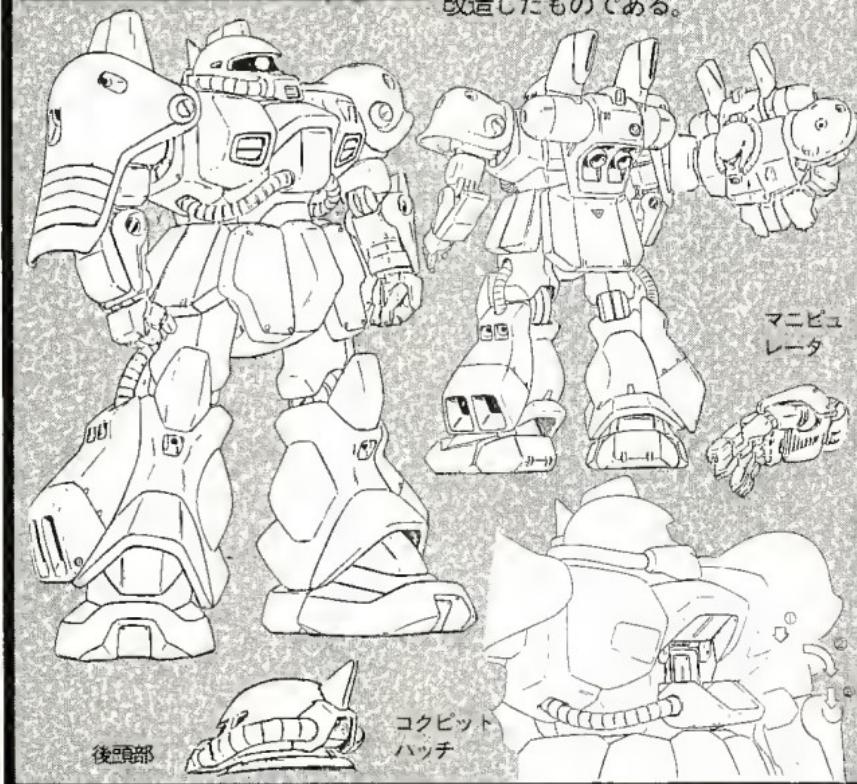
α・アジール



α ・アジール 6面図

ホビー・ハイザック

民間のホビー用MS、軍払い下げの機体（兵装は取り除かれている）を改造したものである。



シャクルズ	62→大図鑑②
ジュピトリス	31→大図鑑②
ショック・バルーン	74、76
スウィートウォーター	63
Zプロジェクト	60、74
ズック	60
タ行	
チベ	26→大図鑑①
チベ改	31→大図鑑②
ドゴス・ギア	31→大図鑑②
トロイホース	28
ドロス	26→大図鑑①
ナ行	
ニューディサイズ	38、74
ネエル・アーガマ	32→大図鑑②
ネオ・ジオン	62→大図鑑②
ハ行	
パゾク	27→大図鑑①
パプア	27→大図鑑①
フィフス(5ht)・ルナ	63
フィン・ファンヘル	66
ベースジャバ一改	60
ペズン	36
ホワイト・ベース	25→大図鑑①
マ行	
マス・ドライバー	74
ムサイ	26→大図鑑①
ムサイ改	30→大図鑑②
ムサカ	34、62
メガライダー	33→大図鑑②
メッド	61
モノトーン・マウス社	68、74
ラ行	
ラー・カイラム	34、60
ラー・ギエム	34、60
ラー・ザイム	34、60
ラー・チャター	34
レウルーラ	34、62
ロンデニオン	61
ロンド・ベル	60
ロンバルディア	32

アクシズ	63→大図鑑②
アラハス	46
ALICE(アリス)	46
α任務部隊(タスクフォース・アルファ)	37、46
アレキサンドラ	30→大図鑑②
AMBAC	46
エアーズ市	38、54
エイノー艦隊	38、54
エグム	54、56
NSP	54、57
エンドラ	33→大図鑑②
カ行	
核パルス・エンジン	54
カラード	54、57
クラップ	60
グワジン	26→大図鑑①
グワダジ	31→大図鑑②
グワンパン	32→大図鑑②
グラーフ・ツェッペリン	29
コア・ファイター(FF-X7)	27→大図鑑①
コア・ファイター(FXA-07GB)	33→大図鑑②
コア・ブースター	28→大図鑑①
コア・ブースター(FXA-08GB-Bst)	103
コロンブス	25→大図鑑①
サ行	
サイコ・フレーム	42、54
サイド・レーザー砲	61
サダラーン	33→大図鑑②
サチワヌ	30→大図鑑②
S・F・S(サブライトシステム)	61→大図鑑②
サラミス	25→大図鑑①
ザンジバル	27→大図鑑①
Gアーマー	28→大図鑑①
Gアタッカー	102
ジーク・フリート	29
Gクルーザー	101
Gコア(FXA-08GB)	103
Gスカイ・イージー	28→大図鑑①
Gフライヤー	32→大図鑑②
Gボマー	102

MSN-03	ヤクト・ドーガ(ギュネイ用)	21、43、53、68、136
MSN-03	ヤクト・ドーガ(クエス用)	22、137
MSN-04	ザザビー	21、43、53、68、138
MSN-X4	バギ・ドーガ	19、41、51、122
MSZ-006A1	ゼータ・プラスA型	105
MSZ-006C1	ゼータ・プラスC型	16、37、104
MSZ-010-B	FAZZ(ファツツ)	37、106
MWS-19051G	Dガンダムファースト	18、41、50、112
MWS-19051G-2	Dガンダムセカンド	18、114
NZ-222	サイコ・ドーガ	24
NZ-333	αアジール	22、43、72、140
ORX-013	ガンダムMk-V(G-V)	17、39、48、109
RGC-90	ジェガン重装型	23
RGM-78SP	ジム・スナイパー-II	15、88
RGM-89	ジェガン	21、43、52、132
RGM-89B	ジェガン改	18、41、50、118
RGM-89S	スターク・ジェガン	23
RGX-D3	Dガンダムサード	18、41、50、116
RGX-D4	Dガンダムフォース	117
RGZ-91	リ・ガズィ	21、43、52、64、129
RGZ-91B	リ・ガズィ・カスタム	23
RH-35H	リーア35ドラケンE	94
RMS-141	ゼク・アイン	17、39、49、110
RMS-142	ゼク・ツヴァイ	17、39、111
RX-77D	ガンキャノン量産型	15、89
RX-78NT1	NT専用ガンダム試作第1号機“アレックス”	15、84
RX-78NT1-FA	ガンダムNT1-FA	15、86
RX-93	νガンダム	20、43、52、66、124
RX-93	νガンダムフィンファンネル装備型	20、126
RX-93HWS	νガンダムヘビー・ウェポン・システム装着型	20
MS-18E	ケンプファー	16、90
	ホビーハイザック	23、141

兵器&用語

ア行

アーガマ	29→大図鑑②
アームレイカー	46、76
I フィールド	46
アイリッシュ	30→大図鑑②

MS大図鑑PART. 3 「アクシズ戦争編」

索引

INDEX

●「機動戦士ガンダム0080～ポケットの中の戦争～」「機動戦士ガンダム」「機動戦士Ζガンダム」「機動戦士ΖΖ」「ガンダム・センチネル」「サイドストーリーオブガンダム ダブルフェイク」「機動戦士ガンダム 逆襲のシャア」「CCA-MSV」に登場した主要MS、MA、兵器、用語をアルファベット、50

音順にまとめました。見出しの単語を選び、記されているページ数を見て下さい。その単語が解説され、関連する事項がわかるようになっています。なお、MS、MAに関しては、制式番号をアルファベット順に検索できるようになっています。

MS&MA

AMS-119	ギラ・ドーガ(一般兵用)	22、43、53、133
AMS-119	ギラ・ドーガ(レズン用)	22、134
AMS-119	ギラ・ドーガ重武装仕様	24
AMS-119S	ギラ・ドーガ改	24
AMS-120	ギラ・ドーガ サイコミュ試験タイプ	24
AMX-002	ガザB	123
AMX-003S	ガザC改	19、41、51、120
AMX-007	ガザE	17、39、49、110
AMX-012	グザ	123
AMX-013	ズサ・ダイン	119
AMX-016	カザW	120
AMX-102C	ズサ・カスタム(アニー専用)	19、41、51、119
AMX-011C	ザクIII後期型	19、41、121
AMX-121	クエル・ドーガ	123
MSA-007	ネロ	16、37、48、107
MSA-007E	EWACネロ	37、48、108
MSA-007T	ネロトレーナー	107
MSA-008	バージム	123
MSA-0011	Sガンダム	16、37、49、95
MSA-0011Ex-S	Ex-Sガンダム	99
MSA-0011Bet	ブースターユニット装着型Sガンダム	37、101

機動戦士ガンダム MS大図鑑 PART.3

三 次

CONTENTS

「アクシズ戦争編」

MS戦史	M,S, War History	4
MS名鑑	M,S, Catalog	15
宇宙艦、戦闘機名鑑	Star Ship & Star Fighter	25
MS開発史	M,S, Development History	35
MS性能比較	An ability symmetry of M,S,	47
ガンダム・オフィシャル・レポート	GUNDAM Official Report	
		55
1.歴史	History	56
2.通常兵器	Weapon	60
3.機動兵器	Mobile Weapon	64
MS操縦マニュアル	M,S, Pilot Manual	75
MS設定資料集	M,S, Design collection	83
MS用語事典	M,S, Glossary	46 54 74
索引	Index	145

■発行日 1989年6月20日初刷
■発行人 山科 誠
■編集人 加藤 智
■発行 株式会社バンダイ
〒111 東京都台東区駒込2-5-4
(営業) 東京都新宿区新宿1-26-6
加藤ビル6F (営業TEL) 03-5379-1911

1990年3月30日六刷
■印刷・製本 共同印刷株式会社
■編集・構成 伸童舎
渡辺利浩 千葉 晓
■デザイン シバミツヲ
■協力 サンライズ
月刊モデル・グラフィックス SUPREME UNIT
定価はカバーに表示しております。